

HCL Z Data Tools
ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス (CICS 用)
バージョン 1.1.2



注

本書をご使用になる前に、[特記事項 ページ cxlii](#)に記載されている一般情報をお読みください。

本書に関する注意事項

本書(2023年7月発行)は、HCL Z Data Tools のバージョン 1 リリース 1 モディフィケーション・レベル 2 (プログラム番号 HCL190P1220) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

目次

本書について.....	vii	リソースの属性の変更.....	51
本書の対象読者.....	vii	表示リストからの項目の選択.....	51
構文図の見方.....	vii	表示リストからの ZDT/CICS Browse エディター・セッションの開始.....	52
第 1 部. ZDT/CICS での作業.....	11	CICS 選択リストのソート.....	52
第 1 章. ZDT/CICS の概要.....	12	第 8 章. CICS エンキューの操作.....	54
第 2 章. Z Data ToolsCICS® のシステム要件.....	13	呼び出しと実行.....	54
第 3 章. ZDT/CICS 入門.....	14	追加の CICS 属性の表示.....	55
ZDT/CICS の使用を開始.....	14	CICS タスクのページ.....	55
ご使用の ZDT/CICS バージョンの検査.....	17	第 9 章. メッセージ.....	57
接続されている CICS システムのレベルの確認.....	18	番号付きメッセージの形式.....	57
ZDT/CICS の終了.....	19	Z Data Tools メッセージ.....	58
ZDT/CICS インターフェースの使用.....	20	ZDT/CICS ログオンおよびメッセージ・ログのメッセージ.....	59
パネルからパネルへの移動.....	20	HFMCA000.....	59
パネルに表示しきれていない情報の表示.....	20	HFMCA001.....	60
ロング・ネーム用のスクロール可能入力および表示フィールド.....	21	HFMCA002.....	60
コマンドの発行.....	22	HFMCA003.....	60
リソース名の指定.....	23	HFMCA004.....	60
データ・セットおよびメンバー名の指定.....	24	HFMCA005.....	60
引用符で囲まれたストリングの指定.....	28	HFMCA006.....	60
ZDT/CICS での 16 進値の使用.....	29	HFMCA007.....	61
ヘルプの使用.....	30	HFMCA008.....	61
フィールド・ヘルプ情報の表示.....	30	HFMCA009.....	61
チュートリアル用ヘルプへのアクセス.....	31	HFMCA010.....	61
エラー・メッセージの表示.....	33	HFMCA011.....	61
ZDT/CICS セッションのカスタマイズ.....	33	HFMCA012.....	61
PF キー説明の表示または非表示.....	33	HFMCA013.....	62
端末特性の変更.....	34	HFMCA014.....	62
デフォルト処理オプションの設定.....	36	HFMCA015.....	62
CICS リソースに対する Z Data Tools Base 機能の実行.....	38	HFMCA016.....	62
ZDT/CICS での Z Data Tools IMS コンポーネントの実行.....	39	HFMCA017.....	62
ZDT/CICS の下での Z Data Tools Db2 コンポーネントの実行.....	39	HFMCA018.....	63
第 4 章. CICS リソースの表示および変更.....	40	HFMCA019.....	63
CICS ファイルの編集.....	42	HFMCA020.....	63
一時ストレージの編集.....	43	HFMCA021.....	63
一時データ・キューの編集.....	44	HFMCA022.....	63
CICS リソースのロック.....	45	HFMCA023.....	64
第 5 章. ZDT/CICS ユーティリティーの処理.....	47	HFMCA024.....	64
第 6 章. CICS リソースの印刷.....	48	HFMCA025.....	64
第 7 章. CICS リソースのリストの操作.....	49	HFMCA026.....	64
選択リストの中のストリングの検索.....	49	HFMCA027.....	64
現在の基本ソート順序列の検索.....	50	HFMCA028.....	65
印刷不能文字のあるキュー名の表示.....	50	HFMCA029.....	65
現在の選択リストの最新表示.....	51	HFMCA030.....	65
		HFMCA031.....	65

HFMCA032.....	65	「CICS Temporary Storage Selection List (CICS 一時ストレージ選択リスト)」パネル.....	94
HFMCA033.....	65	「CICS Transient Data Queue Selection List (CICS 一時データ・キュー選択リスト)」パネル.....	96
HFMCA034.....	66	「Edit Entry (編集項目の入力)」パネル.....	99
HFMCA035.....	66	「Extrapartition Queue (区画外キュー)」パネル.....	103
HFMCA036.....	66	「File Information (ファイル情報)」パネル.....	106
HFMCA037.....	66	「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネル.....	111
HFMCA038.....	66	「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネル.....	114
HFMCA039.....	66	「Intrapartition Queue (区画内キュー)」パネル.....	116
HFMCA040.....	67	ZCC 「設定」パネル.....	119
HFMCA041.....	67	「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネル.....	120
HFMCA042.....	67	「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネル.....	122
HFMCA043.....	67	「Print Entry (印刷項目の入力)」パネル.....	125
HFMCA065.....	67	「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル.....	131
HFMCA999.....	68	「Utility Functions (ユーティリティ機能)」パネル.....	133
HFMCA060.....	68	「View Entry (ビュー項目の入力)」パネル.....	135
HFMCA061.....	68	特記事項.....	cxlii
HFMCA062.....	68	プログラミング・インターフェース情報.....	cxliii
HFMCA063.....	68	索引.....	144
HFMCA064.....	69		
第 II 部. ZDT/CICS 参照.....	70		
第 10 章. ZDT/CICS 基本コマンド.....	71		
一般基本コマンド.....	71		
CUAATTR 基本コマンド.....	71		
DX 基本コマンド.....	71		
KEYS 基本コマンド.....	72		
PFSHOW 基本コマンド.....	72		
SETTINGS 基本コマンド.....	73		
VER 基本コマンド.....	73		
VERCICS 基本コマンド.....	74		
XD 基本コマンド.....	74		
選択リスト基本コマンド.....	74		
FIND 基本コマンド.....	74		
HEX 基本コマンド.....	75		
LOCATE 基本コマンド.....	76		
REFRESH 基本コマンド.....	76		
RFIND 基本コマンド.....	77		
SELECT 基本コマンド.....	77		
SORT 基本コマンド.....	77		
第 11 章. ZDT/CICS パネルおよびフィールド.....	79		
「Browse Entry (ブラウザ項目の入力)」パネル.....	79		
「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネル.....	85		
「CICS Enqueue Resource (CICS エンキュー・リソース)」パネル.....	86		
「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネル.....	89		
「CICS File Selection List (CICS ファイル選択リスト)」パネル.....	91		

ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス (CICS® 用)

本書では、Z Data Tools CICS® コンポーネント (ZDT/CICS) ユーザーのためのガイドと参照情報を提供します。

本書について

本書は、Z Data Tools for CICS Component (ZDT/CICS) のユーザーのためのガイドと参照情報を提供します。

Z Data Tools には、さまざまな環境で作業するために、またはさまざまなデータ形式を処理するために 4 つの「種類」の Z Data Tools が含まれています。

- CICS® リソースを処理する **ZDT/CICS**
- **Z Data Tools “Base”** は、QSAM データ・セット、VSAM データ・セット、または PDS メンバーを処理します。
- Db2® データを処理する **Db2 Component**
- IMS™ データを処理する **IMS Component**

さらに、HCL Z Common Components サーバー (ZCC server) に対する参照も行います。

本書に記載されている情報は、主に、ZDT/CICS と Z Data Tools との間のコンポーネントの違いに焦点を当てています。本書は「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」と併せてお読みください。

本書は以下の 3 部に分かれています。

第 I 部 ZDT/CICS の操作

主要な ZDT/CICS の概念とタスクについて説明します。

第 II 部 ZDT/CICS の解説

ZDT/CICS のパネル、フィールド、コマンドを検索するための参照が記載されています。

Z Data Tools “Base”、ZDT/Db2、ZDT/IMS のコンポーネントについては、以下の資料を参照してください。

- Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス
- Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス (DB2 データ用)
- Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス (IMS データ用)

本書の対象読者

本書は、以下の 3 種類の Z Data Tools ユーザーを対象としています。

- プログラムをテストおよびデバッグする必要がある、アプリケーション・プログラマー
- 問題を分析および修正する必要がある、サービス・サポート担当員
- 大量データを移動するなどのルーチン作業を行う必要のある、システム管理者およびシステム・オペレーター

本書の読者は CICS の使用に精通しているものと想定しています。

構文図の見方

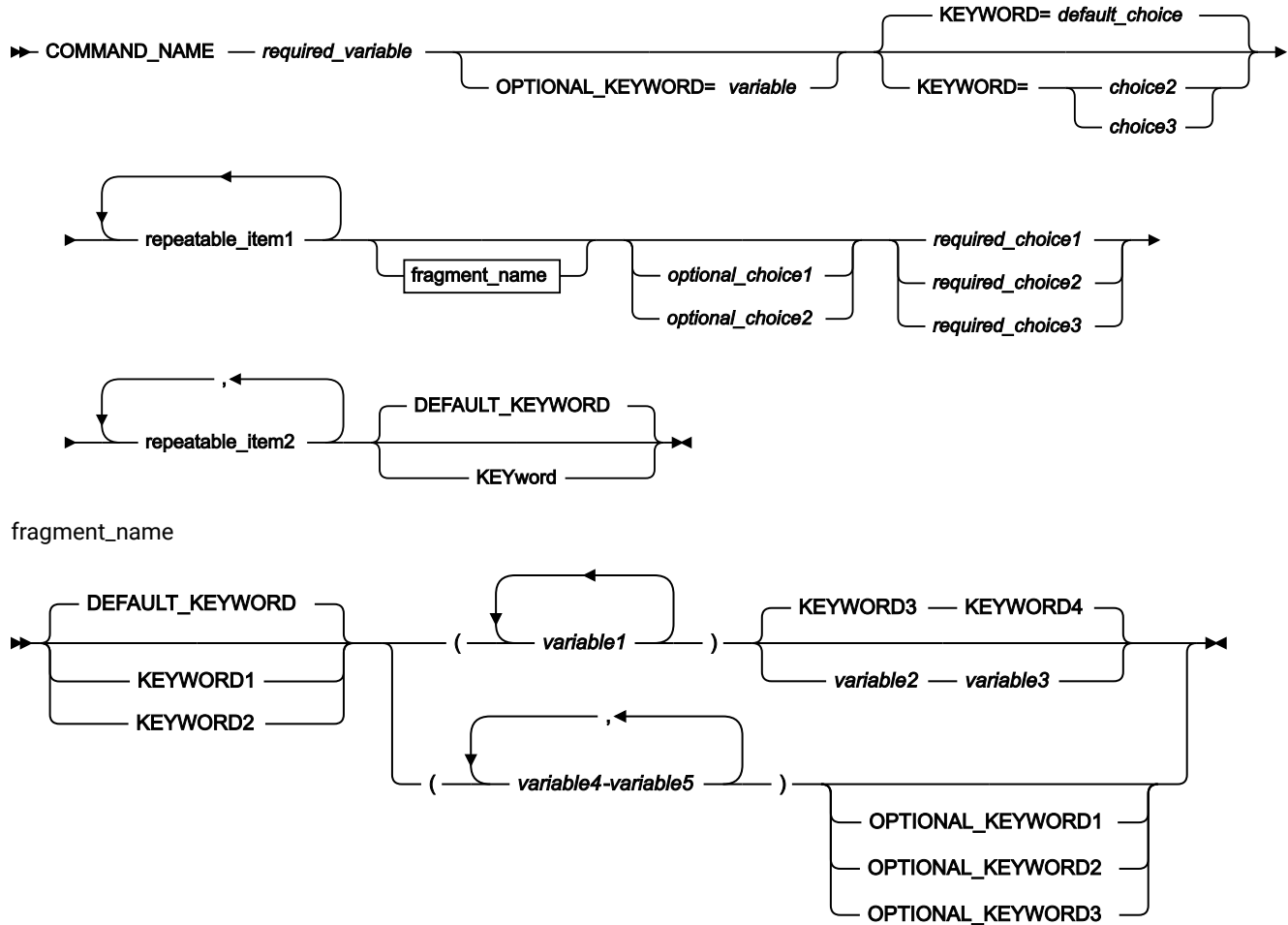
本書で説明するコマンドの構文構造は、構文図で示されています。

図 1: 構文図 ページ viii に、次のような項目を示すさまざまな表記が含まれた構文図の例を示します。

- 項目がキーワードであるか、変数であるか。
- 項目が必須であるか、オプションであるか。
- 選択が可能であるかどうか。
- 値を指定しない場合、デフォルトを適用するかどうか。
- 項目の反復が可能であるかどうか。

図 1. 構文図

図 1. Syntax



構文図を読んで理解するためのヒントをいくつか示します。

読む順序

構文図は、直線のパスをたどって左から右、上から下に読みます。

▶— 記号は、ステートメントの開始を示しています。

—▶ 記号は、ステートメントが次の行に継続していることを示しています。

▶— 記号は、ステートメントが前の行から継続していることを示しています。

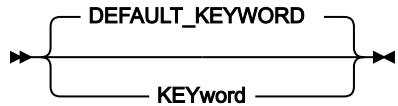
—▶記号は、ステートメントの終了を示しています。

キーワード

キーワードは、大文字で示します。

▶▶ **COMMAND_NAME** ▶▶

キーワードの最初の数文字を入力するだけでよいことがあります。この場合、キーワードの必須部分は大文字で示します。



この例では、「KEY」、「KEYW」、「KEYWO」、「KEYWOR」または「KEYWORD」と入力できます。

短縮したキーワードまたはキーワード全体を入力する場合、示されたとおりに正確に入力する必要があります。

変数

変数は、小文字で示します。変数はユーザーが指定する名前または値を表します。

▶▶ *required_variable* ▶▶

必須項目

必須項目は、水平線 (メインパス) 上に示されます。

▶▶ **COMMAND_NAME** — *required_variable* ▶▶

オプション項目

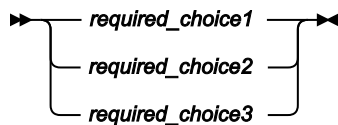
オプション項目は、メインパスの下に示されます。



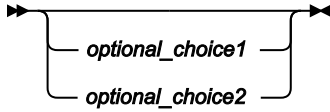
項目の選択

複数の項目から選択可能な場合、これらの項目は縦方向に重ねて示されます。

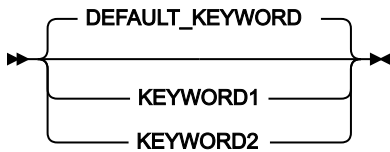
複数の項目から1項目を選択する必要がある場合には、項目のいずれかがメインパス上に表示されます。



複数の項目から任意で1項目を選択する場合は、縦にスタックされた選択項目全体がメインパスの線よりも下に表示されます。

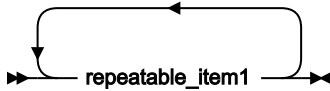


いずれの項目も選択しなかったときにデフォルト値が適用される場合は、デフォルト値をメインパスの上方に示します。

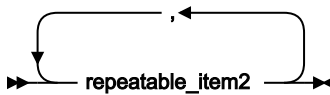


反復可能な項目

メインパスの上にある左向きの矢印は、繰り返し可能な項目を示します。

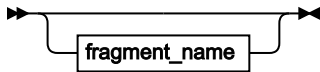


反復可能な項目の間に分離文字 (コンマなど) を指定する必要がある場合は、左に戻る矢印付きの線の中で、指定する必要がある分離文字を示します。

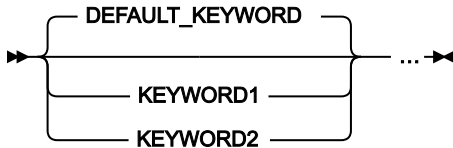


フラグメント

構文図を読みやすくするために、構文のセクションまたはフラグメントを分けて示すことがあります。



fragment_name



第 I 部. ZDT/CICS での作業

第 1 章. ZDT/CICS の概要

ZDT/CICS は、編集、ブラウズ、印刷、CICS® リソース状況の変更を行う強力なユーティリティ機能の集合です。サポートされる CICS リソースは、ファイル、一時ストレージ・キュー、一時データ・キュー、およびデータ・テーブルです。適切な権限を持つユーザーは、CICS リソースの状況を変更することもできます。ZDT/CICS は、Z Data Tools の大部分の機能を CICS 環境に取り込みます。

ZDT/CICS は、HCL Z Common Components を使用して、ISPF パネルに似た機能のパネルを CICS 上に表示します。ZDT/CICS パネルでは、オプションの選択、パラメーター、コマンド、プログラム機能 (PF) キーの指定を行うことで、一般的な機能の要求を単純化できます。ZDT/CICS パネルは、情報表示と編集に、フルスクリーン形式を提供します。

ZDT/CICS によって提供される主な機能は次の通りです。

- CICS リソースを表示または編集する機能。
- CICS リソースをリストし、その状況と属性を変更する機能。
- ISPF を必要とせずに、ZDT/CICS の下で Z Data Tools (Base) を実行する機能。これには、ZDT/CICS の下で実行するときに、ZDT/CICS リソースに対して Z Data Tools Base ツールとユーティリティを使用する機能が含まれます。
- ISPF を必要とせずに、ZDT/CICS の下で Z Data Tools IMS Component (ZDT/IMS) を実行する機能。

サポートされる CICS リソースは次のとおりです。

- ファイル (VSAM およびデータ・テーブルのみ)
- 一時ストレージ・キュー
- 一時データ・キュー

第 2 章. Z Data ToolsCICS® のシステム要件

ZDT/CICS は以下をサポートします。

- CICS® Transaction Server for z/OS® バージョン 5.1
- CICS® Transaction Server for z/OS® バージョン 5.2
- CICS® Transaction Server for z/OS® バージョン 5.3
- CICS® Transaction Server for z/OS® バージョン 5.4
- CICS® Transaction Server for z/OS® バージョン 5.5

使用している CICS® のバージョンによって ZDT/CICS 内で違いがある場合は、本書では、これらの違いを示す説明文の始めと終りを識別する標識によって、強調表示しています。

第3章. ZDT/CICS 入門

この章は、新規のユーザーが ZDT/CICS パネルで操作する際に使用する ユーザー・インターフェースや一般的な方法を理解するのに役立つように構成されています。

ZDT/CICS の使用を開始

ZDT/CICS を起動できます。

- バッチ・ジョブを実行依頼する方法
- 直接的な方法 (ZDT/CICS が ZCC サーバー サーバーに接続するように構成されている場合)

ZDT/CICS を開始するには、Z Data Tools のトランザクション名を入力します。

```
HFM userid (invocation options)
```

別の CICS® アプリケーションから ZDT/CICS を実行するには、このコマンドを以下のようにコーディングします。

```
EXEC CICS LINK PROGRAM('HFM3CICS') COMMAREA('HFM userid (invocation options)')
```

各部の意味は以下のとおりです。

HFM

- トランザクション呼び出しの場合、これは Z Data Tools のデフォルトのトランザクション名です。



注: デフォルトのトランザクション名「HFM」は、ローカル標準または他の理由により、インストール中にサイトで変更されていることもあります。この値を変更する場合には、HFM3POPT オプション・モジュールも変更して、(BACKGROUND) オプションが機能するように、現在のトランザクション ID を反映する必要があります。

- コーディングしたコマンドの場合 (別の CICS アプリケーションからの実行時)、これは必須で、COMMAREA の先頭 2 文字でなければなりません。

userid

オプションです。それぞれの ZDT/CICS ユーザーは、MVS ユーザー ID と、パスワード (次のパネルで) を入力する必要があります。ユーザー ID を指定しなければ、次のようになります。

- CESN を使用してサインオンしており、製品が *DEFAULT=SIGNON または *PASSWORD=REMEMBER の指定でインストールされている場合、ユーザー ID は、デフォルトである、そのサインオンで使用したユーザー ID になります。
- サインオンをしていなければ、ログオンのパネルが表示される前にユーザー ID の入力を求められません。

invocation options

このオプションを使用すると、ZDT/CICS の呼び出し方法を指定できます。括弧で囲み、スペースで区切って指定します。

START=BATCH

バッチ・ジョブを実行依頼することによって ZDT/CICS を呼び出します。このオプションを指定する必要があるのは、インストール・オプションが START=TASK に設定されているときに、それをオーバーライドしたい場合のみです。

START=TASK

直接的に (非バッチで) ZDT/CICS を呼び出します。このオプションを指定する必要があるのは、インストール・オプションが START=BATCH に設定されているときに、それをオーバーライドしたい場合のみです。

BACKGROUND

非端末処理をバックグラウンド・タスクで実行するように ZDT/CICS に指示します。

HFM トランザクションに対して有効なユーザー ID が指定されると、ZDT/CICS は、「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネルを表示します。このログオン・パネルには、以下の 2 つの形式があります。

- バッチ呼び出しパネルは、ログオン時に `START=BATCH` が有効な場合に表示されます。これは ZDT/CICS を呼び出すバッチ・ジョブを実行依頼します。
- 非バッチ呼び出しパネルは、ログオン時に `START=TASK` が有効な場合に表示されます。



注: 「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネルは、各ユーザーが初めて HFM トランザクションを入力したときに表示されます。以下のすべての条件が当てはまる場合、以降の HFM トランザクション呼び出し時にログオン・パネルをバイパスできます。

- `*PASSWORD=REMEMBER` インストール・オプションが指定されている。
- CICS に既に署名している。
- HFM トランザクションの呼び出し時にユーザー ID が省略されている。

1. 「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネルの「**Password (パスワード)**」入力フィールドに、パスワードを入力します。

「**Password (パスワード)**」入力フィールドは、通常、「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネルで、詳細を入力する必要のある唯一のフィールドです (入力フィールドはすべて事前に入力されています)。これが当てはまる場合は、ステップ [9 ページ 16](#) に進んでください。

2. MVS ユーザー ID の現在のパスワードを変更するには、「**New Password (新規パスワード)**」フィールドに新しいパスワードを入力します。新しいパスワードは、システムのパスワード規則に従っている必要があります。新しいパスワードが妥当であれば、確認のために新しいパスワードを再度入力するよう要求されます。同じパスワードを再度入力すると、新しいパスワードは受け入れられます。

(非バッチ呼び出しのみ。) 100 文字までのパスフレーズを入力できます。

3. (バッチ呼び出しのみ。)

必要であれば、「**Node (ノード)**」フィールドに、ジョブを実行するノードを指定します。指定されたマシン上でジョブを実行するために、ジョブ・カードの後ろに `/*ROUTE XEQ node.user` ステートメントが追加されます。

4. (バッチ呼び出しのみ。)

必要であれば、「**Procedure (プロシージャ)**」フィールドに、使用しているシステムで Z Data Tools を実行するプロシージャ名を指定します。これは、アクティブ・プロシージャ・ライブラリーから使用可能でなければなりません。インストールのデフォルト・プロシージャは、`HFM3CICB` です。

5. 必要であれば、「**Profile data set (プロファイル・データ・セット)**」フィールドに、以降の呼び出しで使用するために、セッション情報を保管するプロファイル・データ・セットの名前を指定します。ユーザー ID には、指定されたデータ・セットを作成および更新するためのアクセス権がなければなりません。そうでないと、バッチ・ジョブは失敗します。データ・セットが存在しなければ、バッチ・プロシージャがデータ・セットを作成します。データ・セットが存在すれば、それは、LRECL が 80 の固定ブロック区分データ・セットでなければなりません (可能であれば、PDSE が望ましい)。

6. 必要であれば、「**Prefix (接頭部)**」フィールドに、Z Data Tools セッションで引用符に囲まれていないデータ・セットを指定するときに、高位修飾子として使用する接頭部を指定します。引用符で囲まれていないデータ・セット名に接頭部を付けない場合は、このフィールドは空白のままにします。

7. (バッチ呼び出しのみ。)

必要であれば、「**Jobcard (ジョブ・カード)**」入力フィールド行で、実行依頼されるジョブのジョブ・カードの詳細を編集します。

ジョブ・カードは、ジョブが実行依頼されるときに置換される次の変数を使用できます。

&TERM

現在の端末 ID (1 から 4 文字) に置換されます。

&USER

現在の MVS ユーザー ID (1 から 7 文字) に置換されます。



注:

- a. 変数はピリオドで終わることができます。このピリオドも置換の間に削除されます。
- b. ジョブ・カードは固有であって、それが即時に実行されるクラスに割り当てられる必要があります。

8. (非バッチ呼び出しのみ。)

「**Port (ポート)**」フィールドは、ZCC サーバーとの接続に使用されたポート番号を示します。

「**Host name (ホスト名)**」フィールドは、ZCC サーバーが実行されているシステムの名前を示します。空白の場合、ZDT/CICS は現行システムのホスト名を取得して使用します。

9. ZDT/CICS を呼び出すバッチ・ジョブを実行依頼するには、Enter キーを押します。

ジョブが実行依頼されると、ログオンのパネルは、ジョブが開始して応答するまで 20 秒間待ちます。ジョブが応答しない場合、「Job not responding」メッセージが発行されます。ジョブの状況を確認する必要があります。そして、F5 を押して、さらに 20 秒間待機するか、あるいは、何らかの変更をして Enter キーを押して、ジョブを再度実行依頼します。ジョブが応答しない場合は、「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」でエラー・メッセージ番号を探して、詳細情報を取得します。

ZDT/CICS は、「ZDT/CICS Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」を表示します。

10. 「View (表示)」(オプション 1)、「Edit (編集)」(オプション 2)、および「Print (印刷)」(オプション 3.2。オプション 3 の「Utilities (ユーティリティ)」から選択)の場合は「CICS Resource (CICS リソース)」を指定する必要があります。「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」で設定する「CICS Resource (CICS リソース)」オプションは、他の機能では使用されません。
11. 強調表示された該当する番号をコマンド行に入力して、オプションを選択します。

例えば、CICS ファイルを編集するには、次のようにします。

- a. 「CICS Resource (CICS リソース)」オプションを「1」(「File (ファイル)」)に設定します。
- b. コマンド行に「2」(「Edit (編集)」)を入力します。
- c. Enter キーを押します。

関連トピック

[\[Z Data Tools for CICS Logon \(ログオン\)\] パネル ページ 111](#)

[\[Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)\] パネル ページ 122](#)

ご使用の ZDT/CICS バージョンの検査

ZDT/CICS の完全バージョン情報を表示するには、いずれかのパネルのコマンド行に VER を入力します。現行の ZDT/CICS のバージョン番号と各 Z Data Tools コンポーネントの PTF 番号が、ウィンドウに表示されます。また、ウィンドウには、ZDT/CICS が APF 許可されているかどうかも示されます。

図 3. 現在の ZDT/CICS バージョン番号と PTF 情報を表示しているウィンドウ

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS                Primary Option Menu

HCL Z Data Tools Version x Release x Modification x
CICS Component
(not APF authorized)

Service Levels of installed components

English      Base      IMS      Db2      CICS      HFI
xxxxxxx     xxxxxxx  xxxxxxx  xxxxxxx  xxxxxxx  xxxxxxx
Japanese     xxxxxxx  xxxxxxx  xxxxxxx  xxxxxxx  xxxxxxx

PF 1=HELP      2=TOP      3=END      4=RETURN   5=BOTTOM   6=LOCATE
PF 7=UP        8=DOWN     9=PRINT    10=LEFT    11=RIGHT   12=CRETRIEV

Command ==> ver
F1=Help      F3=Exit      F4=CRetrieV F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel
    
```

関連トピック

[VER 基本コマンド ページ 73](#)

接続されている CICS システムのレベルの確認

接続されている CICS システムのレベルを表示するには、いずれかのパネルのコマンド行に VERCICS を入力します。接続されている各 CICS システムの現在のレベルが、ウィンドウに表示されます。

VERCICS コマンドは、ローカルおよび接続された CICS 領域上の ZDT/CICS のバージョン、PTF、レベル情報を照会します。次に、取得された情報が、実行中の Z Data Tools バッチ・ジョブのバージョン、PTF、レベルと比較され、結果が表示されます。Z Data Tools バッチ・ジョブと異なる ZDT/CICS 値も強調表示されます。

バージョン、PTF、またはレベルの相違は、ダウン・レベル・インスタンスで使用できないサービスが原因となって、失敗を引き起こす場合があります。相違が発生する理由として、ZDT/CICS インスタンスにメンテナンスが適用されていないこと、または、メンテナンスが適用された後に、ZDT/CICS プログラムが CICS 領域でリフレッシュされなかったことが考えられます。

図 4. 接続されている CICS システムのレベルを表示しているウィンドウ

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS                                Primary Option Menu
                                         CICS Levels
-----
HCL Z Data Tools Version x Release x CICS Component
Current PTF: V8GAD4B      Level: 2

  Connected ZDT/CICS levels
  Sysid   Applid   Version   PTF       Level
  -----
  xxxxx   xxxxxxxx  xxxxx    xxxxxxxx  x
  xxxxx   xxxxxxxx  xxxxx    xxxxxxxx  x
  xxxxx   xxxxxxxx  xxxxx    xxxxxxxx  x

Command ==>
F1=Help    F3=Exit    F4=CRetriev F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel

F12=Cancel

```

上の例では、すべて同じレベルの2つの接続されている CICS 領域があります。レベルまたはバージョンが異なれば、これらの値は赤で強調表示されます。予期しないエラーを避けるため、すべての接続されているシステムが、同じレベルの Z Data Tools を実行していることを確認してください。

接続されているシステムでプログラム HFM3LVL が使用不可であれば、テキスト「LOAD ERROR condition」が表示されます。この場合、接続されている CICS 領域に HFM3LVL をロードできることを確認して、VERCICS コマンドを再実行します。

関連トピック

[VERCICS 基本コマンド ページ 74](#)

ZDT/CICS の終了

「Primary Options Menu (基本オプション・メニュー)」パネルから ZDT/CICS を終了するには、次のいずれかを行います。

- 「Exit」機能キー (F3) を押します
- コマンド行に「x」(または「EXIT」または「END」)を入力します
- アクション・バーから、**「Process (処理)」** > 「Exit from (終了)」を選択します

ZDT/CICS 内の任意のパネルからアプリケーションを終了するには、以下の通りにします。

- コマンド行に「=x」(または「=EXIT」または「=END」)を入力します。

ZDT/CICS インターフェースの使用

ZDT/CICS インターフェースは、Z Common Components を使用した ISPF モデルをベースにしています。タスクを実行するには、該当するパラメーターを指定して機能进行处理します。使いやすいパネルを使用して、機能を選択し、パラメーター情報を提供できます。

パネルからパネルへの移動

ZDT/CICS 中のパネル間の移動は、ISPF の下での場合と同じ方法で行うことができます。つまり、メニュー・パネルから、コマンド行に該当するメニュー・オプション番号を入力することによって、処理パネルを立ち上げます。ZDT/CICS は「Primary Options Menu (基本オプション・メニュー)」パネルを使用して、特定の機能または機能グループに関連する処理パネルへのアクセスを提供しています。場合によっては、「Primary Options Menu (基本オプション・メニュー)」の 1 つのオプションから別のメニュー・パネルに進み、そこから必要な処理パネルを選択できるものもあります。

メニュー構造をよく知っている場合は、メニュー・オプションのフル・パスを入力して、必要なパネルに直ちにジャンプできます。例えば、「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルから 3.2 と入力すると、「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルの 1 つに移動します。このように相対パスを入力することで、本来なら 1 つ 1 つ通らなければならない中間のパネルを「飛び越える」ことができます。

また、オプション番号の前に等号 (=) を付けることで、メニュー構造をナビゲートしなくても、ZDT/CICS のいずれかのパネルから他のパネルへジャンプすることもできます。等号を使用することによって、ZDT/CICS は、現在の位置からではなく「Primary Options (基本オプション)」メニューから、ナビゲーションを開始するように指示されます。例えば、「Utility Functions (ユーティリティ機能)」パネル上にあるときに、コマンド行に 2 を入力すると「Print CICS File Entry (CICS ファイルの印刷項目の入力)」パネル (現行メニューのオプション 2) が表示されますが、=2 と入力すると「Edit CICS File Entry (CICS ファイルの編集項目の入力)」パネル (「Primary Options Menu (基本オプション・メニュー)」パネルのオプション 2) が表示されます。

パネルにアクセスするには、以下の方法の 1 つを選択してください。

- 必要であれば、「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルに戻り (「Exit」機能キー (F3) を 1 回以上押して)、コマンド行にメニュー・オプション番号を入力して Enter キーを押します。必要な処理パネルが表示されるまで、ネストされたそれぞれのメニューを繰り返します。
- 等号と、それに続けて必要なパネルへのフルのメニュー・パスを各メニュー・レベルをピリオドで区切って入力し、Enter キーを押します。

それぞれのパネルを終了するには、次のいずれかを行います。

- 「Exit」機能キー (F3) を押します。
- コマンド行に END と入力して、Enter キーを押します。

パネルに表示しきれない情報の表示

多くの ZDT/CICS パネルには、1 つの画面で見ることができるとは多くは情報があります (特に、80x24 のディスプレイで実行している場合)。このような場合、メッセージ (More: +) がパネルの右上隅に表示されます。

図 5. 「More (続く)」メッセージが表示されたパネルの例

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Print CICS File Entry Panel	More: +
Input CICS VSAM File:		
File name		
Sysid		
Start key		key or slot
Skip count		number of records to be skipped
Print count ALL		number of records to be printed
:		

パネルをスクロールダウンするには、以下の方法のいずれかを選択します。

- 「Forward」機能キー (F8) を押します (これにより、デフォルトのスクロール移動量 (通常は、一度に 1 画面ずつ) でスクロールダウンします)。
- コマンド行に「DOWN」を入力します (このコマンドにより、デフォルトのスクロール移動量 (通常は、一度に 1 画面ずつ) でスクロールダウンします)。

パネルの先頭にスクロールして戻るには、次のいずれかの方法を選択します。

- 「Backward」機能キー (F7) を押します (これにより、デフォルトのスクロール移動量 (通常は、一度に 1 画面ずつ) でスクロールアップします)。
- コマンド行に「UP」を入力します (このコマンドにより、デフォルトのスクロール移動量 (通常は、一度に 1 画面ずつ) でスクロールアップします)。

関連トピック

[「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」パネル ページ 122](#)

ロング・ネーム用のスクロール可能入力および表示フィールド

一部の ZDT/CICS パネルには、一度に表示できる値より長い値を入力または表示できるスクロール可能フィールドがあります。

ZDT/CICS パネルには、以下の 2 つのタイプのスクロール可能フィールドがあります。

入力フィールド

「Browse (参照)」、「Edit (編集)」、または「View (表示)」入力パネル上の開始位置などの情報を入力できる「ZDT/CICS」パネル上のフィールド。

表示フィールド

実行されたアクションの結果として情報を表示する、ZDT/CICS パネルのフィールド。

スクロール可能フィールドの入力フィールドの終わりの後には、以下のいずれかの文字が使用されます。

+

正符号。フィールドを右側にスクロールできることを示します。

-
負符号。フィールドを左側にスクロールできることを示します。

+
正符号と負符号。フィールドを右側または左側にスクロールできることを示します。

パネルに表示される入力フィールドの長さが、入力する値にとって十分でない場合は、以下のいずれかを実行できます。

- (カーソル位置を入力フィールドに配置した状態で) 「Right」機能キー (F11) を使用するか RIGHT 基本コマンドを入力して、値を入力しながら順に右方へスクロールします。
- 「Expand」機能キー (F4) を押すか (使用可能な場合)、EXPAND 基本コマンドまたは ZEXPAND 基本コマンドを入力して、フィールド全体に入力できるか、フィールド全体を表示できるポップアップ・ウィンドウを表示する。

拡張ポップアップ・ウィンドウでは、HEX OFF および HEX ON のコマンドを発行することによって、文字と 16 進のデータ表示を切り替えることができます。

スクロール可能入力フィールドでのデータの削除

スクロール可能入力フィールドとして表示されているフィールド内の全データを削除する場合は、表示されているデータのみでなく、実際に全データを間違いなく削除するよう注意してください。

フィールド削除キーの組み合わせを使用してデータを削除する場合、ZDT/CICS は、現在表示されているデータしか削除しません。フィールドに含まれるデータが表示内容より多い場合は、表示されていないデータが未削除のままになります。

i ヒント: スクロール可能入力フィールドのデータを削除する前に、「Expand」機能キー (F4) を押すか、EXPAND 基本コマンドを入力することによって、最初にフィールドの内容全体を表示します。その後で、フィールド削除キーの組み合わせを使用すると、フィールド内の全データを一度に削除できます。

スクロール可能フィールドでの作業について詳しくは、「対話式システム生産性向上機能 (ISPF) ダイアログ開発者 ガイドとリファレンス」の『スクロール可能フィールドの LOCATE 基本コマンド』のセクションを参照してください。

コマンドの発行

ZDT/CICS パネル内で基本コマンドまたは接頭部コマンドを使用して、ZDT/CICS にアクションを実行するように指示できます。

ZDT/CICS パネルのコマンド行に基本コマンドを入力します。これらのパネルの多くでは、最もよく使用される基本コマンドが、プログラマブル機能キーまたは PF キーとも呼ばれる機能キーに割り当てられています。

ほとんどの基本コマンドは複数のパネルで使用できますが、特定のパネルに限定されるものもあります。複数のパネルで使用できるコマンドでも、使用されるコンテキストによって動作が異なる場合があります。

接頭部コマンドは、ほとんどのパネルで提供される接頭部フィールドと、「Edit (編集)」パネルの接頭部域に入力します。一般に、接頭部コマンドは 1 つのパネルにのみ使用が限定され、操作の詳細は個々のパネルに記述されています。

関連トピック

ZDT/CICS 基本コマンド ページ 71

[Edit Entry (編集項目の入力)] パネル ページ 99

リソース名の指定

各機能の詳細を記述する前に、CICS リソースを Z Data Tools に指定する方法を説明する必要があります。ZDT/CICS は、CICS リソースを処理するために特定の機能を提供します。これらは、CICS 限定の機能としてみなされます。

CICS 限定のリソース名を入力する場合、次が適用されます。

Resource name (リソース名)

- 1 から 8 文字のファイル名
- 1 から 16 文字の一時ストレージ・キュー
- 1 から 4 文字の一時データ・キュー

リソース名は SYSID および POOLNAME (TS キューのみ) と一緒に使用され、一致するリソースのリストを形成します。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

CICS 一時ストレージおよび一時データ・キュー名には、大文字と小文字の両方が使用されている場合があります。したがって、ZDT/CICS インターフェース全体を通して、これらのリソース・タイプのリソース名入力フィールドには大/小文字の区別があります。

また、CICS 一時ストレージ・キュー名には、印刷不能文字が含まれる場合があります。TS キュー名を 16 進表記で表示または入力するには、キュー名入力フィールド上にカーソルを持っていき、EXPAND 基本コマンド (または同等の機能キー) を入力します。拡張ポップアップ・パネル内から HEX ON コマンドを入力し、16 進値を表示および入力します。

SYSID (システム ID)

デフォルト値はブランクです。このフィールドは、リソースが入っている CICS システムの ID を含みます。ブランク値の場合は、デフォルトのローカル・システムになります。完全修飾または総称の SYSID を入力できます。総称の SYSID では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。



注: ZDT/CICS は、次の場合は、ZDT/CICS が実行されている領域以外の領域が所有する CICS リソースを処理できます。

- ZDT/CICS が実行されている現行領域と、リソースを所有するリモート領域との間のアクティブ接続がアクティブであり、かつ、
- ZDT/CICS プログラム HFM3CICS が、そのリモート領域で使用可能である

リモート CICS リソースを処理するには、ZDT/CICS パネルで、そのリソースを所有する SYSID を指定する必要があります (総称でよい)。リモート・リソースに対するローカル CICS 領域でのリモート定義



は、ZDT/CICS は必要としません。また、別の領域が所有するリモート CICS リソースについて SYSID 値をブランクに指定すると、「not found」条件になります。

詳細は、Z Data Tools カスタマイズ・ガイド を参照してください。

TS Pool name (TS プール名)

(TS データ共用のみ) デフォルト値はブランクです。このフィールドは 共用一時ストレージ・プールおよび一時ストレージ処理の プール名の指定に使用され、そのプール名はプールを管理する一時ストレージ・サーバーにシッパされます。完全修飾のプール名または総称プール名を入力できます。総称プール名では、単一文をを表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

SYSID 値と TS プール名を指定すると、どちらかに一致するキューのリストが生成され、そこから処理に合ったキューを選択できます。

リソース選択リストは、次のいずれかの場合に生成されます。

- 総称リソース名が入力された
- 総称 SYSID 値が入力された
- 総称プール名が入力された (一時ストレージのみ)
- プール名と SYSID 値の両方が指定された (一時ストレージのみ)

データ・セットおよびメンバー名の指定

一部の ZDT/CICS パネルでは、コピーブックまたはテンプレートで使用するデータ・セットを指定する必要があります。データ・セットが PDS、あるいは、CA-Panvalet または他の外部ライブラリーである場合、メンバー名も指定する必要があります。

図 6. データ・セット名指定のフィールド

```

:
Copybook or Template:
Data set name . . . _____
Member . . . . . _____ Blank or pattern for member list
:
    
```

コピーブックまたはテンプレートを指定するには、次のようにします。

1. **「Data set name (データ・セット名)」** フィールドに、完全修飾データ・セット名または名前パターンを入力します。名前には、メンバー名または名前パターンを括弧で囲んで組み込むことができます。メンバーをここで指定する場合は、関連した **「Member (メンバー)」** フィールドは空でなければなりません。

コピーブックの場合、これは CA-Panvalet ライブラリーの名前、または Library Management System Exit を使用してアクセスされる外部ライブラリーの名前にすることができます。

データ・セット名を引用符で囲まない場合は、デフォルトの高位修飾子 (HLQ) が使用されます。HLQ は、「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネルの **「Prefix (接頭部)」** フィールドで指定されます。

パターンを入力すると、パネルが処理されたときに、ZDT/CICS はそのパターンに一致するデータ・セットのリストを表示します。

パターンには、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、1 つの修飾子内の 1 つ以上の数の文字を表すアスタリスク (*) を含めることができます。2 つのアスタリスク (**) は任意の数の修飾子内の任意の数の文字を表します。

パフォーマンスを改善するために、データ・セット名はできるだけ修飾してください。

2. 「**Data set name (データ・セット名)**」フィールドに、区分データ・セット (PDS) の名前、または CA-Panvalet または他の外部ライブラリー の名前を (括弧で囲んだメンバー名または名前パターンは組み込まずに) 指定した場合、「**Member (メンバー)**」フィールドに名前または名前パターンを入力します。

メンバー名パターンは、メンバー名に有効な任意の文字と、次の 2 つの特殊パターン文字とで構成することができます。

アスタリスク (*)

任意の数の文字を表します。必要な数のアスタリスクがメンバー名のどこに表示されても構いません。例えば、*d* と入力すると、名前に「d」が含まれるデータ・セットのすべてのメンバーのリストが表示されます。

パーセント記号 (%)

単一文字を表す置き換え文字。パーセント記号は、メンバー名の任意の場所に必要な数だけ指定できます。例えば、**** と入力すると、名前の長さが 4 文字のデータ・セットのすべてのメンバーのリストが表示されます。

以下のいずれかのアクションを実行する場合、つまり

- ・ 「**Data set name (データ・セット名)**」フィールドに小括弧で囲んだメンバー名または名前パターンを含めず、「**Member (メンバー)**」フィールドを空白のままにするか、「**Member (メンバー)**」フィールドでパターンを指定した場合、
- ・ 「**Data set name (データ・セット名)**」フィールドに小括弧で囲んだメンバー名パターンを含めて、「**Member (メンバー)**」フィールドを空白のままにした場合、

パネルが処理され、データ・セットが指定されるか選択されたときに、ZDT/CICS はメンバー名リストを表示します。

3. 残りのパネル固有のフィールドの入力を完了した後、Enter キーを押して、パネルの機能を処理します。

データ・セット名とメンバー名の両方の指定が完了すると、パネル・アクションは次の段階に進みます。

データ・セット名またはメンバー名にパターンを入力すると、「**Data Set Selection (データ・セット選択)**」パネルが表示され、必要な場合には、その後に「**Member Selection (メンバー選択)**」パネルが表示されます。これらのパネルからの選択が終わると、入力パネルのアクションが次の段階に進みます。

4. 「**Data Set Selection (データ・セット選択)**」パネルが表示されたら、必要なデータ・セットの横にある「**Sel**」フィールドに **s** と入力して、データ・セットを選択します。このリストから、1 つの名前だけを選択できます。
5. 「**Member Selection (メンバー選択)**」パネルが表示されたら、メンバーの隣にある「**Sel**」フィールドに **s** と入力するか、SELECT 基本コマンドによってメンバーを選択し、その後 Enter キーを押します。

コピーブックまたはテンプレートを選択しているため、名前を 1 つだけ選択します。



注:

- a. 接頭部域に入力し、まだ処理されていない値をリセットする場合は、RESET 基本コマンドを使用します。
- b. ディレクトリーを再読み取りし、現行のメンバー・リストを表示する場合は、REFRESH 基本コマンドを使用します。

6. メンバーを選択する際、表示されるメンバーのリストをソートすると便利ことがあります。これを行うには、以下のいずれかのアクションを実行します。

- SORT 基本コマンドを使用して、2 つまでの表示列別に、メンバー・リストをソートします。フィールド名は、列見出しです。例えば、SORT SIZE CREATED は、最初にサイズ別に、次に作成日別に、メンバーのリストをソートします。
- ソートしたい列の列見出しにカーソルを合わせて、Enter キーを押します。



注: メンバーをソートする場合、所定の列の順序 (昇順または降順) は、あらかじめ決められており、ISPF と整合性があります。

データ・セット名パターンの例

以下の例では、USERID 高位修飾子のもとに以下のデータ・セットが存在することを想定しています。

```
USERID.HFM.DATA  
USERID.HFM.TEMPLATES  
USERID.COBOL.COPY  
USERID.COBOL.SOURCE  
USERID.PLI.COPY  
USERID.PLI.SOURCE  
USERID.MISC.DATA.BACKUP  
USERID.WORK
```

例 1

次のパターン (単一アスタリスク) を入力します。

```
'USERID.*'
```

これは、USERID の後ろに 1 レベルの修飾子のみを持つ項目だけを表示します。

```
USERID.WORK
```

例 2

次のパターン (2 個のアスタリスク) を入力します。

```
'USERID.**'
```

USERID という高位修飾子を持つデータ・セットの完全なリストが表示されます。

例 3

次のパターンを入力します。

```
'USERID.*.%%%'
```

これは、次のリスト (3つの修飾子から成り、3レベル目の修飾子が正確に4文字から成るデータ・セットを含む) を表示します。

```
USERID.HFM.DATA
USERID.COBOB.COPY
USERID.PLI.COPY
```

メンバー名またはパターンの指定例

以下の例では、下記のメンバーが、HFMUSER.DATA という名前のデータ・セット内に存在するものと想定しています。

```
DATA1
HFMCDATA
HFMCTAM
HFMCTEM
HFMCTMP
NEWDATA
NEWSTUFF
TEMPA
TEMPB
```

例 1

パネルで次のように入力すると、

```

:
:  Data set name . . . . . HFMUSER.DATA
:  Member . . . . . -----
:

```

全メンバー名のリストが表示されます。

```
DATA1
HFMCDATA
HFMCTAM
HFMCTEM
HFMCTMP
NEWDATA
NEWSTUFF
TEMPA
TEMPB
```

例 2

パネルで次のように入力すると、

```

:
:  Data set name . . . . . HFMUSER.DATA
:  Member . . . . . HFMCT*
:

```

メンバー名リストが表示されます。

```
HFMCTAM
HFMCTEM
HFMCTMP
```

例 3

パネルで次のように入力すると、

```
⋮  
Data set name . . . . . HFMUSER.DATA(NEWDATA)  
Member . . . . . _____  
⋮
```

データ・セット HFMUSER.DATA 内の指定されたテンプレートまたはコピーブック NEWDATA が使用されます。

例 4

入力パネルで次のように入力すると、

```
⋮  
Data set name . . . . . HFMUSER.DATA(TEM*)  
Member . . . . . _____  
⋮
```

メンバー名リストが表示されます。

```
TEMPA  
TEMPB
```

例 5

パネルで次のように入力すると、

```
⋮  
Data set name . . . . . HFMUSER.DATA(*)  
Member . . . . . _____  
⋮
```

全メンバー名のリストが表示されます。

```
DATA1  
HFMCDATA  
HFMCTAM  
HFMCTEM  
HFMCTMP  
NEWDATA  
NEWSTUFF  
TEMPA  
TEMPB
```

引用符で囲まれたストリングの指定

ZDT/CICS インターフェース全体を通して、完全修飾データ・セット名など、引用符で囲まれたストリングを指定しなければならない場合があります。このような箇所では、単に引用符とも呼ばれる二重引用符 (") か、アポストロフィとも呼ばれる一重引用符 (') のいずれかを使用できます。ただし、引用符で囲まれたストリングの開始と終了で、同じ記号を使用する必要があります。例えば次のようになります。

- "fmndata.test1" と 'fmndata.test1' は、両方ともデータ・セットを指定する有効な方法です。
- "fmndata.test1' または 'fmndata.test1" は正しくありません。

ご使用のストリングに、アポストロフィまたは引用符記号を文字として組み込む最も単純な方法は、ストリング区切り文字として、文字として組み込むとは別のほうの区切り文字を使用することです。例えば次のようになります。

```
"it's"  
OR  
'he said, "hello"'
```

ストリングにアポストロフィと引用符が混合して含まれている場合、2つの連続した引用符 (") (引用符で区切られたストリング内の " 文字を表す) か、2つの連続したアポストロフィ (') (一重引用符で区切られたストリング内の ' 文字を表す) を使用します。例えば、"he said, "Take it it's yours." というストリングを検索するには、次のように入力します。

```
FIND 'he said, "Take it it's yours."
```



注: この資料では、引用符または引用という用語を「"」または「'」の意味で使用します。

ZDT/CICS での 16 進値の使用

多くの ZDT/CICS パネルで、10 進値はテキスト文字として、または 16 進値として、表示または入力することができます。10 進値から 16 進値、または 16 進値から 10 進値に素早く変換できるようにするため、ZDT/CICS では 2 つの基本コマンドという形で、簡単なコンバーター・ツールを提供しています。

10 進値を等価の 16 進値に変換するには、次のようにします。

1. いずれかのパネルのコマンド行で、前に `DX` を付けて 10 進値を入力します。

ZDT/CICS はその結果をメッセージとして画面の最下部に表示します。

例えば、ZDT/CICS コマンド行に `DX 10` と入力すると、ZDT/CICS では次のメッセージ・ボックスを表示します。

```
Dec 10 = hex 0000000A
```

16 進値を等価の 10 進値に変換するには、以下のとおりになります。

1. いずれかのパネルのコマンド行で、`XD` と、その後続けて 16 進値を入力します。

ZDT/CICS はその結果をメッセージとして画面の最下部に表示します。

例えば、ZDT/CICS コマンド行に `XD 10` と入力すると、ZDT/CICS では次のメッセージ・ボックスを表示します。

```
Hex 00000010 = dec 16
```

関連トピック

[DX 基本コマンド ページ 71](#)

[XD 基本コマンド ページ 74](#)

ヘルプの使用

ZDT/CICS では、コンテキストに依存したフィールド情報と、チュートリアル用ヘルプの 2 つのレベルのヘルプ情報を提供しています。フィールド・ヘルプ情報は、現在のフィールドについての説明を提供し、入力可能な有効な値または値の範囲をリストします。また、該当する場合は、デフォルトのフィールド値を示します。チュートリアル用ヘルプはコンテキスト依存のヘルプ・システムであり、ZDT/CICS パネルと其中で使用されるプロセスについての詳細説明を提供します。さらに、すべてのエラー・メッセージにフルテキストの説明が関連付けられ、問題の原因を判別するのに役立ちます。

フィールド・ヘルプ情報の表示

フィールド・ヘルプ情報を表示するには、以下のようにします。

1. カーソルをフィールド入力行に置きます。
2. 「Help」機能キー (F1) を押します。ポップアップ・ウィンドウにフィールド・ヘルプ情報が表示されます。

さらに情報が必要な場合は、「Extended Help」機能キー (F5) を押して、現在のパネルのチュートリアル用ヘルプ・ページにアクセスします。

フィールド情報ウィンドウが表示されているときに「Help (ヘルプ)」を押すと、チュートリアル用ヘルプ・システム内の「ヘルプ解説」ページ (つまり、チュートリアル用ヘルプの使用方法を説明するページ) が表示されます。

3. メッセージ、または関連するチュートリアル用ヘルプ・ページの確認が終了したら、「Exit」機能キー (F3) を押して、開始パネルに戻ります。

例えば、[図 7: 「Sysid」フィールドのフィールド・ヘルプ情報 ページ 30](#) は、「Edit CICS File Entry (CICS ファイルの編集項目の入力)」パネルの「**Sysid**」フィールドから F1 を押したときに表示されるメッセージを示しています。

図 7. 「Sysid」フィールドのフィールド・ヘルプ情報

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS                      Edit CICS File Entry Panel

Input CICS VSAM File:
  File name . . . . . _____
  Sysid . . . . . _____
  Start posit _____
  Record limi _____
  Inplace edi _____
  Lock resour _____
  Copybook or Te _____
  Data set na _____
  Member . . _____
  Processing Opt _____
  Copybook/temp _____
  3  1. Above
     2. Previou
     3. None
     4. Create

  Sysid (Default blanks) This field contains the ID of the
  CICS system(s) where the resource resides. A blank value
  will default to the local system. You can enter a fully
  qualified or generic sysid. In a generic sysid use
  the % sign to represent a single character, and an
  asterisk * to represent any number of characters.

  F1=Help      F3=Exit      F4=Resize      F5=Ex-help    F6=Keyshelp
  F7=PrvPage   F8=NxtPage   F10=PrvPage   F11=NxtPage

Command ==>> _
F1=Help      F3
F11=Right    F12=Cancel
    
```

チュートリアル用ヘルプへのアクセス

チュートリアル用ヘルプ・システムは、コンテキストに依存しているとともに、構造的に編成されたヘルプ・システムです。コンテキスト依存のアクセス方式を使用して必要な情報を直接入手するか、または特定の場所でヘルプ・システムに入り、トピック情報について構造内をナビゲートすることができます。

コンテキスト依存のチュートリアル用ヘルプ・ページにアクセスするには、以下のようにします。

1. カーソルをコマンド行に置くか、またはパネル内のフィールド入力行の外の任意の場所に置きます。
2. F1 を押します。現行パネルに関連するチュートリアル用ヘルプ・ページが表示されます。

このようにしてチュートリアル用ヘルプにアクセスしたときに表示される最初のページは、開始したコンテキストに応じて、関連するサブトピックをリストしたメニューのあるメイン・トピック・ページである場合と、サブトピック・ページの場合があります。

3. チュートリアル用ヘルプ・ページをナビゲートして、必要な情報を見つけます (ナビゲーション・コマンドのリストは、下記を参照してください)。
4. 終了したら、「F3」(終了) を押します。ヘルプ・ページの表示を開始したパネルに戻ります。

チュートリアル用ヘルプ・システムは、ZDT/CICS [Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)] に基づいた目次構造で編成されています。目次の中のそれぞれのエントリから、いくつかの関連するサブトピックを持つ、メイン・トピックに進みます。さらに、チュートリアル用ヘルプからの選択されたトピックを、主題ごとにアルファベット順にリストした索引があります。

チュートリアル用ヘルプの中の開始点を選択するには、以下のようにします。

1. パネル・アクション・バーから「Help (ヘルプ)」プルダウン・メニューを選択します。
2. 必要なチュートリアル用ヘルプの入り口点のオプション番号を入力します。これらは、以下のとおりです。

1. Help for help (ヘルプのヘルプ)

チュートリアル用ヘルプ・システムのヘルプ・パネルを表示します。

2. Extended Help (拡張ヘルプ)

現行の ZDT/CICS パネルに関連するチュートリアル用ヘルプ・パネルを表示します (ZDT/CICS パネルから F1 を押すのと同じ)。「Primary Options menu (基本オプション・メニュー)」上では、これは、「Tutorial - Table of Contents (チュートリアル - 目次)」パネルになります。

3. Keys help (キー・ヘルプ)

現行の ZDT/CICS パネル上でアクティブである機能キーについてのヘルプを提供する パネルを表示します。

4. Help index (ヘルプ索引)

ヘルプ索引を表示します。

5. Tutorial (チュートリアル)

「Tutorial - Table of Contents (チュートリアル - 目次)」パネルを表示します。

6. About (製品情報)

ZDT/CICS バージョンおよびリリース情報をポップアップ・ウィンドウに表示します。

7. News about ZDT/CICS (関連ニュース)

現在の ZDT/CICS のバージョン/リリースに関する一般情報を提供するパネルを表示します。

チュートリアル用ヘルプをナビゲートするには、いずれかのチュートリアル・ページで、次のコマンドをコマンド行に入力します。

BACK または B

直前に表示したページまで戻る場合

SKIP または S

現在のトピックをスキップして、次のトピックから続ける場合

UP または U

より高いレベルのトピックのリストを表示する場合

TOC または T

目次を表示する場合

INDEX または I

チュートリアル索引を表示する場合索引が表示されたら、Right (F11) キーおよび Left (F10) キーを使用してリストをスクロールし、カーソルを対象のトピック上に置いて ENTER (Ctrl) を押し、そのトピックを表示します。

代わりに、チュートリアルを表示中に以下のキーを使用することもできます。

ENTER (Ctrl)

トピック内の次のページを表示する場合

HELP (F1)

チュートリアル用ヘルプ・システム内のヘルプ解説ページ (つまり、チュートリアル用ヘルプを使用する方法を記述したページ) を表示する場合

END (F3)

チュートリアルを終了する場合

UP (F7)

より高いレベルのトピック・リストを表示する場合 (UP と入力する代わり)

DOWN (F8)

次のトピックにスキップする場合 (SKIP と入力する代わり)

RIGHT (F11)

トピック内の次のページを表示する場合 (Enter キーを押す代わり)

LEFT (F10)

トピック内の直前のページを表示する場合 (BACK と入力する代わり)



注: リストされたキーは、デフォルトのキー・マッピングです。キー・マッピングはカスタマイズすることができるので、ご使用のシステムでは、これらのキーが異なっている場合があります。

エラー・メッセージの表示

ZDT/CICS がパネルのプロセスを試みたときにエラーが発生した場合、画面の右上に短いテキスト・メッセージが表示されます。このメッセージが表示されているときに F1 を押すと、画面の下部に、そのエラー・メッセージの拡張テキストが表示されます。

図 8: 拡張メッセージを表示している「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネル ページ 33 は、画面の右上隅に短いテキスト・メッセージ「Empty print data set」が表示され、その拡張テキストが画面の下部に太字で表示されているところを示しています。

図 8. 拡張メッセージを表示している「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネル

```

Process  Options  Help
ZDT/CICS                                Utility Functions          Empty print data set

0  DBCS          Set DBCS data format for print
2  Print         Print data
4  List          List resources
5  Printdsn     Browse ZDT/CICS print data set
6  Audit trail  Print audit trail report

Processing Options:
CICS Resource
1  1. File
   2. Temporary Storage
   3. Transient Data

The PRINTDSN print data set HFMUSERHFMCIICS.LIST is empty
Command ==>
F1=Help      F3=Exit      F4=CRetrieiv F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel

```

ZDT/CICS セッションのカスタマイズ

ZDT/CICS の動作が要件に最適になるように、カスタマイズできます。以下のセクションでは、どのように画面レイアウトと機能キー値を変更できるかを説明します。

PF キー説明の表示または非表示

PFSHOW 基本コマンドを使用して (いずれかの ZDT/CICS パネルから)、ZDT/CICS パネルに PF キーの説明を表示したり、非表示にしたりします。

- PF キーの説明を表示するには、コマンド行に `PFSHOW ON` と入力して Enter キーを押します。
- PF キーの説明を非表示にするには、コマンド行に `PFSHOW OFF` と入力して Enter キーを押します。
- PF キーの説明の表示と非表示を切り替えるには、コマンド行に `PFSHOW` と入力して Enter キーを押します。

関連トピック

[PFSHOW 基本コマンド ページ 72](#)

端末特性の変更

SETTINGS 基本コマンドを使用して (いずれかの ZDT/CICS パネルから)、情報が画面に表示される方法に影響するさまざまなオプションと端末特性を変更します。

SETTINGS 基本コマンドを直接入力することも、あるいは、それを「Options (オプション)」プルダウン・メニューから選択することもできます。

SETTINGS 基本コマンドを入力すると、ZDT/CICS は「ZCC Settings (設定)」パネルを表示します。

「ZCC Settings (設定)」パネルで、必要に合わせて Z Common Components 設定を設定します。

Command line at bottom (コマンド行を下部に表示)

[/] を入力して、コマンド行と長メッセージ行をパネルの下部に表示します。このオプションを選択解除すると、コマンド行と長メッセージ行は、パネル定義で指定された位置 (通常、パネルの上部) に表示されます。

Panel display CUA mode (パネルを CUA モードで表示)

[/] を入力して、パネルを CUA モードで表示します。アクション・バーが表示されます。このオプションを選択解除すると、アクション・バーは表示されません。

Tab to action bar choices (タブ・キーでアクション・バー選択に置く)

[/] を入力すると、GUI モードで実行されていない場合に、タブ・キーを押すとカーソルがアクション・バー選択に置かれるようになります。

[/] をブランクに置き換えると、タブ・キーを使用してもカーソルはアクション・バー選択に置かれません。

Graphic border (グラフィック境界線)

アクション・バー分離線または境界線が正しく表示されなければ、グラフィック境界線オプションを選択解除して強制的に点線を表示できます。

Screen format (画面形式)

値 (1 から 3) を入力して、必要な画面形式を指定します。



注: 24x80 (STD) 表示に変更しても、前に DATA または MAX オプションで表示されていた拡張可能なパネルの画面サイズは変更されないこともあります。

Terminal type (端末タイプ)

値 (1 または 2) を入力して、必要な端末タイプを指定します。

関連トピック

[SETTINGS 基本コマンド ページ 73](#)

[ZCC 「設定」 パネル ページ 119](#)

パネル・カラー、輝度、および強調表示の変更

CUAATTR 基本コマンドを使用して (いずれかの ZDT/CICS パネルから)、パネル・カラー、輝度、強調表示を調節します。

CUAATTR 基本コマンドを入力すると、ZDT/CICS は「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネルを表示します。

「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネルで、次のいずれかの値で上書きして、既存の値を変更できます。

Color (カラー)	Intensity (輝度)	Highlight (強調表示)
RED (赤)	HIGH (高)	NONE (なし)
PINK (ピンク)	LOW (低)	BLINK (明滅)
GREEN (緑色)		REVERSE (反転)
YELLOW (黄色)		USCORE (下線)
BLUE (青)		
TURQ (明るい青緑色)		
WHITE (白色)		

デフォルト値に戻すには、フィールドをクリアして、Enter キーを押します。すべてをデフォルト値に戻すには、F2 (「Reset (リセット)」) を押します。

関連トピック

[CUAATTR 基本コマンド ページ 71](#)

[「Change CUA Attributes \(CUA 属性の変更\)」 パネル ページ 85](#)

現在のキー・リスト値の変更

KEYS 基本コマンドを使用して (いずれかの ZDT/CICS パネルから)、キーの現在の機能の表示と変更を行います。

KEYS 基本コマンドを入力すると、ZDT/CICS は「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネルを表示します。

「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネルで、必要に従ってキーの現在の機能を設定します。

関連トピック

[KEYS 基本コマンド ページ 72](#)

[「HFM Keylist Change \(キー・リスト変更\)」パネル ページ 114](#)

デフォルト処理オプションの設定

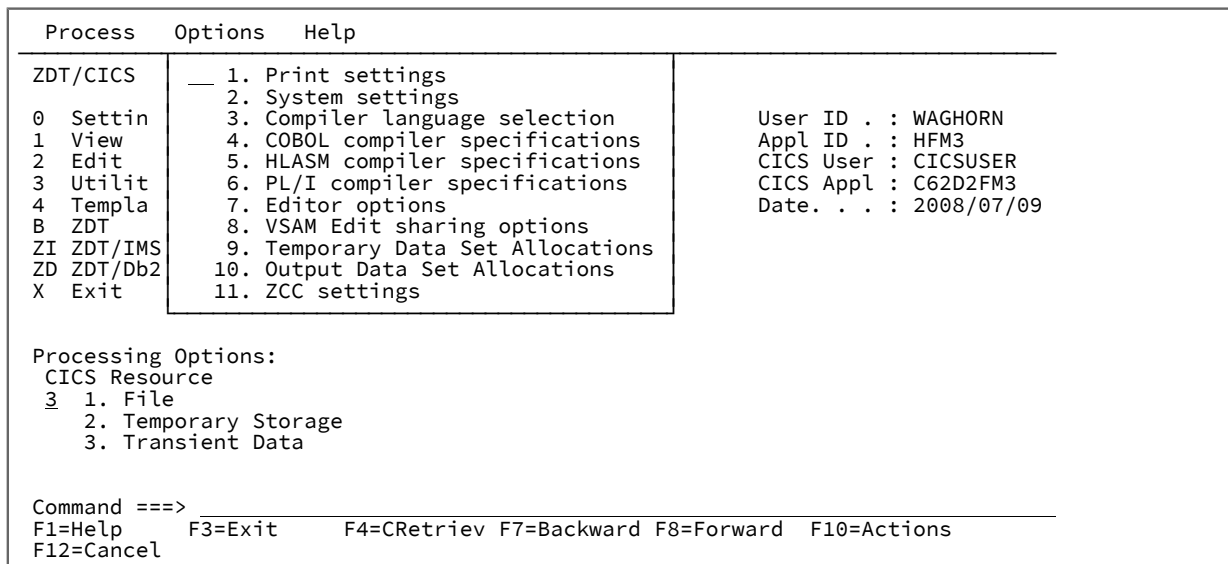
Z Data Tools によって実行される処理オプションの多くでは、ZDT/CICS アプリケーション内から設定可能なデフォルト値が使用されます。これらの値を調整することによって、その動作が要件に最適になるように、ZDT/CICS をカスタマイズできます。これらのオプションの設定値はユーザーの Z Common Components プロファイルに保管され、どのワークステーションを使用するかに関係なく、そのユーザーがログインしたときに呼び出されます。

関連する処理オプション・パネルにアクセスして、これらのデフォルト値を更新できます。

処理オプション・パネルにアクセスするには、以下の方法のいずれかを使用します。

- 「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルから次を行います。
 1. オプション 0 (「設定」) を選択します。「Set Processing Options (処理オプションの設定)」メニュー・パネルが表示されます。
 2. メニューから、必要な処理オプション・タイプを選択します。
- いずれかの ZDT/CICS パネルから、「Options (オプション)」プルダウン・メニューを使用して、必要な処理オプション・タイプを選択します。

図 9. 「Options (オプション)」プルダウン・メニュー



- いずれかの ZDT/CICS パネルのコマンド/オプション行で、等号 (=) を入力し、その後に、必要な処理タイプのオプション番号を入力します。例えば、「Compiler Language Selection (コンパイラ言語の選択)」パネルを表示するには、=0.3 と入力します。

オプションの処理タイプを選択すると、Z Data Tools はそれらのオプションおよびその現行値がリストされているパネルを表示します。これらのオプション・パネルには、すべて以下の注が適用されます。

- オプションの値を変更するには、その現行値の上から重ねて入力します。
- 変更したオプションを保管してパネルを終了するには、「Exit」機能キー (F3) を押します。

変更内容は、以後の ZDT/CICS セッションで使用できるように、Z Common Components ユーザー・プロファイルに保管されます。これは、このオプションをもう一度変更するまで有効となります。

- 変更内容を保管せずにパネルを終了するには、「Cancel」機能キー (F12) を押します。
- パネル上のすべてのオプションをそのインストールのデフォルトにリセットするには、コマンド行に `RESET` を入力します。

関連トピック

[\[Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)\] パネル ページ 122](#)

[\[Set Processing Options \(処理オプションの設定\)\] パネル ページ 131](#)

システム処理オプションの設定

権限があれば、Z Data Tools Base 製品を使用して、「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル (ZDT/CICS 内) で処理オプションを設定します。「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネルでオプションを選択すると、該当する Z Data Tools Base のパネルが表示されます。

例えば、(ZDT/CICS 内の)「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネルで オプション 1 (「Print (印刷)」) を選択すると、Z Data Tools は Z Data Tools Base から「Set Print Processing Options (印刷処理オプションの設定)」パネルを表示します。

「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネルの各処理オプションの情報を探すには、「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の中で、[表 1: Base の「ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」内の、処理オプションを説明したセクション ページ 37](#) に示した該当するセクションを参照してください。

表 1. Base の「ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」内の、処理オプションを説明したセクション

ZDT/CICS の「Set Processing Options(処理オプションの設定)」パネルのオプション	オプションの説明が入っている (Base の)「ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」のセクション
Print	“次から印刷: Z Data Tools”
System	“デフォルト処理オプションの設定”
LANG	“テンプレート処理オプションの設定”
COBOL	“COBOL 処理オプションの設定”
HLASM	“HLASM 処理オプションの設定”
PL/I	“PL/I 処理オプションの設定”
EDIT	“Editor options (エディター・オプション) (オプション 0.6)”

表 1. Base の「ユーザース・ガイドおよびリファレンス」内の、処理オプションを説明したセクション (続く)

ZDT/CICS の「Set Processing Options(処理オプションの設定)」パネルのオプション	オプションの説明が入っている (Base の「ユーザース・ガイドおよびリファレンス」のセクション)
Sharing	“VSAM edit sharing options (VSAM 編集共用オプション) (オプション 0.7)”
Temporary	“Temporary Data Set Allocations (一時データ・セット割り振り) (オプション 0.8)”
Output	“Output Data Set Allocations (出力データ・セット割り振り) (オプション 0.9)”

関連トピック

[「Set Processing Options \(処理オプションの設定\)」パネル ページ 131](#)

CICS リソースに対する Z Data Tools Base 機能の実行

「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルから ZDT オプションを選択すると、CICS 環境で Z Data Tools Base 製品が始動します。CICS 環境で提供される主な機能拡張は、CICS リソースを使用して、Data Set Copy (データ・セット・コピー) や Data Set Compare (データ・セット比較) といった Z Data Tools Base ユーティリティを実行できることです。

Z Data Tools (Base) でのリソース名の指定

Z Data Tools の中の次の機能は (ZDT/CICS 内の「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルのオプション「HFM」)、サポートされる MVS データ・セット名のみならず、1 次データ・セット・フィールドの CICS リソース名も受け入れます



注: 以下のオプションは、ZDT/CICS のメイン・メニューではなく、Z Data Tools (Base) のメイン・メニューからのものです。

機能	オプション
View (表示)	1
Edit (編集)	2
データ作成	3.1
Print (印刷)	3.2
Copy (コピー)	3.3
Find/Change (検索/変更)	3.6
Compare (比較)	3.11

CICS リソース名を MVS データ・セット名と区別するために、CICS リソース名には次の接頭部 (コロンも含めて) が使用されます。

FI:

CICS ファイル

TS:

CICS 一時ストレージ・キュー

TD:

CICS 一時データ・キュー

リソースに続く名前は、上述のリソース名と同じ規則に従います。例えば、`FI:CICSPFI01` を指定できます。



注: Z Data Tools (Base) 機能は、ローカルの CICS リソース (ZDT/CICS が実行されている CICS 領域が所有するリソース) に対してのみ使用できます。

リソース選択リストは、総称リソース名が入力されたときに作成されます。

関連トピック

[\[Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)\] パネル ページ 122](#)

ZDT/CICS での Z Data Tools IMS コンポーネントの実行

ISPF の下で実行される ZDT/IMS 機能と、CICS の下で実行される機能との間で違いはありません。Z Data Tools が IMS に関連する CICS リソースにアクセスしないということは、特に重要です。

ZDT/CICS の下での Z Data Tools Db2 コンポーネントの実行

以下の Z Data Tools Db2 機能は CICS の下での実行時には使用できません。

- ZDT/Db2 オブジェクト機能 (オプション 3.2)。
- ZDT/Db2 ユーティリティ・ジョブ生成 (オプション 3.9)。
- ZDT/Db2 Interactive Db2 (オプション 5)。
- 別の ZDT/Db2 セッションを開始する ZDT/Db2 行コマンド EE、VE、RE。

第 4 章. CICS リソースの表示および変更

CICS ファイルに保管されているデータを表示するには、ZDT/CICS View Utility または ZDT/CICS Edit Utility を使用します。

View Utility (表示ユーティリティ)

View Utility (オプション 1) を使用すると、データを表示し、一時的に変更できますが、変更を保管することはできません。

表示ユーティリティを使用して ZDT/CICS エディターを開始する場合、これは「表示エディター・セッション」(または単に「表示」)中であると呼ばれます。

ISPF 表示と類似の表示機能は、Edit Utility (編集ユーティリティ) と本質的に同じように機能するエディター・セッションを提供しますが、データ・セットに排他的にアクセスする必要はありません。この機能には、データへの一時的変更を保持できるインターフェースがあります。これは、例えば、ライブ・データを変更するリスクを発生させずに変更を評価する場合に役立ちます。

表示エディター・セッションで初めてデータに変更を加えると、ZDT/CICS により、次の警告が表示されます。

```
Save is not possible in a View session. Use Edit if you
want to be able to save changes.
```

エディター・セッションでデータを変更した場合に、「Exit」機能キー (F3) を押して View エディター・セッションを終了すると、ZDT/CICS により、[図 10: データが変更されている場合に、View エディター・セッションを終了するときに表示される警告ポップアップ ページ 40](#) に示されているような警告が表示されます。

図 10. データが変更されている場合に、View エディター・セッションを終了するときに表示される警告ポップアップ

```
----- View Warning -----
SSSSSSSSSSSSSSSS
      You are currently in Data View mode:
      Press Enter to confirm exit from View.  No changes will be
      saved.
      Enter the END or EXIT command to return to View, where you
      can use the CREATE or REPLACE commands to save your
      changes.
      Command ==>
      F1=Help      F3=Exit      F7=Backward F8=Forward
      F12=Cancel

:
At top
Format TABL
+
-4----+----5--
AAAAAAAAAAAAAA
AAAAAAAAAAAAAA
AAAAAAAAAAAAAA
AAAAAAAAAAAAAA
```

Edit Utility (編集ユーティリティ)

Edit Utility (編集ユーティリティ) (オプション 2) では、データの表示と変更 (レコードの挿入、削除、または変更)、および行った変更の保存ができます。

編集ユーティリティを使用して ZDT/CICS エディターを開始する場合、これは「編集エディター・セッション」(または単に「編集」)中であると呼ばれます。

ZDT/CICS Browse

ZDT/CICS Browse を使用すると、CICS データを表示できますが、変更を保管することはできません。

ZDT/CICS エディターをブラウズ・モードで開始する場合、これは「ブラウズ・エディター・セッション」(または単に「ブラウズ」)中であると呼ばれます。

ZDT/CICS リソースのリストから Browse エディター・セッションを開始するには、プレフィックス・コマンド B を入力します。

ブラウズ・エディター・セッションを開始すると、ZDT/CICS に関連する「ZDT/CICS Browse (ブラウズ)」入力パネルが表示されます。

関連する参照先

[表示リストからの ZDT/CICS Browse エディター・セッションの開始 ページ 52](#)

[「Browse Entry \(ブラウズ項目の入力\)」パネル ページ 79](#)

これらの手順は、ZDT/CICS エディターに関して提供されています。ほとんどの場合、これらのアクションを編集または表示のいずれかにおいて実行できます。どちらの場合も、「エディター」という用語が使用されます。同様に、「エディター・セッション」という用語は、View エディター・セッションまたは Edit エディター・セッションのいずれかを示す場合があります。

「View Entry (ビュー項目の入力)」パネルの 1 つを表示するには、「ZDT/CICS Primary Options Menu (基本オプション・メニュー)」パネルからオプション 1 (「View (ビュー)」) を選択します。

「Edit Entry (編集項目の入力)」パネルの 1 つを表示するには、「ZDT/CICS Primary Options Menu (基本オプション・メニュー)」パネルからオプション 2 (「Edit (編集)」) を選択します。

多くの形式の CICS リソースを表示または編集できます。データ・セットの論理ビューを提供するために、コピーブックまたはテンプレートを使用できます。論理ビューは、レコードのフィールド形式を記述します。また、テンプレートは次の目的に使用できます。

- 表示するレコードの選択
- 表示するフィールドの選択
- フィールドの表示方法を示す形式設定

ZDT/CICS エディターはデータをフルスクリーンで表示し、表示されたデータは上書きできます。データは、上下左右にスクロールできます。表示のコマンド・フィールドに基本コマンドを入力して、一般の編集操作を実行できます。また、表示の接頭部域に接頭部コマンドを入力して、レコード単位操作も実行できます。



注: ZDT/CICS エディターが開始されれば、エディターの使用方法 (コマンド、テンプレート使用法、PF キーなど) は、Z Data Tools (Base) の場合と同じです。ブラウザーの使用についての詳細は、Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンスの “Viewing and changing data sets (データ・セット表示と変更)” を参照してください。

関連トピック

[\[Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)\] パネル ページ 122](#)

[\[View Entry \(ビュー項目の入力\)\] パネル ページ 135](#)

[\[Edit Entry \(編集項目の入力\)\] パネル ページ 99](#)

CICS ファイルの編集

View で CICS ファイルを編集するには、以下のようにします。

1. [Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)] パネルの **[1. File (ファイル)]** を選択します。
2. コマンド行で 1 と入力します。
3. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、[View CICS File Entry (CICS ファイルの表示項目の入力)] パネルを表示します。

Edit で CICS ファイルを編集するには、以下のようにします。

1. [Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)] パネルの **[1. File (ファイル)]** を選択します。
2. コマンド行で 2 と入力します。
3. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、[Edit CICS File Entry (CICS ファイルの編集項目の入力)] パネルを表示します。

ブラウズおよび読み取りアクセス権を持つ CICS VSAM ファイルを表示できます。

Edit の場合、CICS VSAM ファイルは更新アクセス権を持つ必要があります。追加および削除属性を持つ KSDS ファイルに対しては、完全編集機能 (挿入/削除) を使用できます。他のすべてのファイルについてはインプレース編集のみ使用できます。つまり、ESDS ファイルには新規レコードを追加でき、RRDS については、スロットを削除したり、空のスロットに新規レコードを挿入したりできます。



注: ローカル CICS 領域によって所有されていない CICS データ・テーブルに対する ZDT/CICS 要求は、常に機能シップを使用します (クロスメモリー・サービスは使用されません)。

BDAM ファイルはサポートされません。

関連トピック

[\[View Entry \(ビュー項目の入力\)\] パネル ページ 135](#)

[\[Edit Entry \(編集項目の入力\)\] パネル ページ 99](#)

一時ストレージの編集

View で一時ストレージを編集するには、以下のようにします。

1. 「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルで、**「2. Temporary Storage (一時ストレージ)」**を選択します。
2. コマンド行で 1 と入力します。
3. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、「View Temporary Storage Entry (一時ストレージの表示項目の入力)」パネルを表示します。

Edit で一時ストレージを編集するには、以下のようにします。

1. 「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルで、**「2. Temporary Storage (一時ストレージ)」**を選択します。
2. コマンド行で 2 と入力します。
3. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、「Edit Temporary Storage Entry (一時ストレージの編集項目の入力)」パネルを表示します。

View で、存在するキューの名前を指定する必要があります。

Edit で、一時ストレージ編集に、既存または新規のキュー名を指定できます。

New queue name (新規キュー名)

新規キュー名を指定すると、キューの場所をメモリーまたは補助ストレージのどちらにするか指定するよう要求されます。編集セッションは、レコードなしで開始され、新規レコードを挿入できます。編集セッションが終わるときに、編集セッションの間に作成されたレコードでキューが作成されます。



注: TS キュー名が既存の TS モデルの接頭部と一致すると、キューは対応するモデルの属性に従って割り振られます。TS キュー名が TS モデルの接頭部と一致しなければ、キューは、補助ストレージ内に割り振られます。

しかし、SYSID がブランクでなければ、TS キューは指定された CICS システム上に定義されます。このとき、一致が存在すればリモート・システムの対応する TS モデルが使用され、一致がなければリモート・システム上の補助ストレージ内に割り振られます。

Existing queue name (既存のキュー名)

ZDT/CICS は、すべてのレコードをメモリーに読み取ろうとします。Edit で、レコードの挿入、削除、変更ができ、終了するときに、ZDT/CICS は、既存のキューを削除し、それを編集セッションからのレコードと置き換えます。他のアプリケーションがキューに対して行った変更はすべて失われます。

View および Edit 機能の他の要素は、「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の中の“データ・セット表示および変更”に記載されています。

関連トピック

[「View Entry \(ビュー項目の入力\)」パネル ページ 135](#)

[「Edit Entry \(編集項目の入力\)」パネル ページ 99](#)

一時データ・キューの編集

View で一時データを編集するには、以下のようになります。

1. 「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルの「**3. Transient Data (一時データ)**」を選択します。
2. コマンド行で 1 と入力します。
3. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、「View Transient Data Entry (一時データの表示項目の入力)」パネルを表示します。

Edit で一時データを編集するには、以下のようになります。

1. 「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルで「**3. Transient Data (一時データ)**」を選択します。
2. コマンド行で 2 と入力します。
3. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、「Edit Transient Data Entry (一時データの編集項目の入力)」パネルを表示します。

次のタイプの一時データ・キューを編集できます。

Intrapartition (区画内)


ZDT/CICS は、キュー全体をメモリーに読み取ります。レコードを編集または削除したり、新しいレコードを挿入できます。

「Edit (編集)」では、終了を確認すると、一時データ・キューの破壊読み出しと復元が行われます。編集セッション中に別のアプリケーションがキューにレコードが追加した場合、これらのレコードは編集セッションのレコードに組み入れられます。

View で終了するときに、読み込まれたすべてのレコードをキューにリストアすることができます。レコードの再書き込みを選択すると、これらのレコードは既存のキューに追加されます。

Extrapartition (区画外)

Edit では、出力用に定義された区画外キューの編集のみを行うことができ、レコードの追加のみが可能です。編集セッションは、レコードなしで開始され、レコードの挿入ができます。完了時に、レコードはキューに追加されます。

 **重要:** キューが後処理 MOD で CICS に定義されなければ、キューのオープンとクローズでそれまでの内容がすべて消去されます。

View では、入力用に定義された区画外キューの表示のみを行うことができます。

Indirect (間接)

関連付けられたキューが上記と同じであれば、編集は、それらのキューに明言されたとおりにサポートされません。

関連トピック

[「View Entry \(ビュー項目の入力\)」パネル ページ 135](#)

[「Edit Entry \(編集項目の入力\)」パネル ページ 99](#)

CICS リソースのロック

ZDT/CICS は標準の CICS サービスを使用して、リソースの更新と変更を行います。ZDT/CICS は、次に説明するように、リソースに対するアクセスの調整を支援するための CICS エンキューを発行することもできます。

ZDT/CICS-generated CICS enqueue (生成 CICS エンキュー)

ZDT/CICS で一時ストレージ・キューまたは一時データ・キューを編集するとき、次のリソース命名規則を使用する CICS エンキューが発行されます。

```
FMLLOCK:xxsysidname
```

各部の意味は以下のとおりです。

xx

TD または TS。編集されるキューのタイプによります。

sysid

キューが存在する CICS システムの ID。ブランクの値は、キューがローカル・システムに存在することを示します。

name

キューの名前。

この CICS エンキューは、同じ領域の複数の ZDT/CICS セッションが同じキューを同時に編集するのを防ぐために、発行されます。

User-specified CICS enqueue (ユーザー指定 CICS エンキュー)

ファイル、TS キュー、または TD キューの編集セッションの間に発行される、1 から 36 文字の CICS エンキュー・リソース名を、次のようにして指定できます。

- 「**Lock resource (リソースのロック)**」フィールドに、[/] を入力する
- 対応する「**Name (名前)**」フィールドに、1 から 36 文字の有効な CICS エンキュー・リソース名を指定する

このユーザー指定 CICS エンキューは、同じような CICS エンキューを発行する ZDT/CICS および他のアプリケーションによってアクセスされる CICS リソースを、さらに調整するために使用できます。このエンキューは、TS キューおよび TD キューの ZDT/CICS 生成 CICS エンキューに加えて発行されます。

ZDT/CICS は、CICS エンキューを**ローカル領域のみ** (ZDT/CICS が実行されている CICS 領域のみ) に発行します。長さが 255 のエンキュー・リソースが使用され、使用されていない部分はスペースが埋め込まれます。

ZDT/CICS がエンキューを発行して「busy (使用中)」の応答を受け取る場合、これは、同じような CICS エンキューが既に別のアプリケーションから発行されたことを示します。そのとき、ZDT/CICS は、メッセージ「CICS resource locked (CICS リソースロック)」を表示して、編集を終了します。アクティブ CICS エンキューの詳細情報を表示するには、F1 を押しします。ZDT/CICS List (リスト) ユーティリティを使用して、CICS エンキューの CICS 属性の詳細をリスト表示することもできます。詳しくは、[CICS エンキューの操作 ページ 54](#)を参照してください。

第 5 章. ZDT/CICS ユーティリティーの処理

「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネルを表示するには、「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルから、オプション 3 (「Utilities (ユーティリティー)」) を選択します。

選択できるユーティリティーのいくつかは、Z Data Tools Base のユーティリティーです。Z Data Tools Base ユーティリティーのオプション番号は、「Z Data Tools (Base) Utilities Functions menu (ユーティリティー機能メニュー)」パネルの同等のオプションと一致します。

「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネルに表示された各ユーティリティーの情報を見つけるには、[表 2: ユーティリティーの説明が入っているセクション ページ 47](#) に示した該当するセクションを参照してください。

表 2. ユーティリティーの説明が入っているセクション

「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネル に表示されたユーティリティー	詳細を示したセクション
0 DBCS	「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の “Set DBCS Format (DBCS 形式の設定)” パネル
2 Print (印刷)	CICS リソースの印刷 ページ 48
4 List (リスト)	CICS リソースのリストの操作 ページ 49
5 PRINTDSN	(印刷出力をフルスクリーン・モードで表示します)
6 Audit trail (監査証跡)	「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の “Print Audit Trail (監査証跡の印刷)” パネル

関連トピック

[「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」パネル ページ 122](#)

[「Utility Functions \(ユーティリティー機能\)」パネル ページ 133](#)

第 6 章. CICS リソースの印刷

「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルの 1 つを表示するには、「ZDT/CICS Utility (ユーティリティー)」パネルからオプション 2 (「Print (印刷)」) を選択します。

ZDT/CICS Print (印刷) ユーティリティーを使用して、選択した形式で CICS リソースを印刷できます。テンプレートまたはコピーブックが提供されていれば、データは、レコードごと、またはフィールドごとに印刷できます。印刷するレコードは、開始キー (VSAM のみ)、スキップと印刷カウントのフィールド、および提供されたテンプレートの中に定義された条件式を使用して選択できます。印刷機能の出力は、SET オプションで制御されます。

CICS リソースを印刷するときに、次の制限があります。

- CICS ファイル: 読み取りおよびブラウザのアクセスを持つ VSAM ファイルのみサポートされます。
- CICS 区画外キューは、INPUT (入力用) でなければなりません。



注: 区画内キューを印刷したあと、キュー項目を復元するように要求されます。

Print (印刷) 機能の他の要素は、「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の中の「Z Data Tools からの印刷」に記載されています。

関連トピック

[「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」パネル ページ 122](#)

[「Print Entry \(印刷項目の入力\)」パネル ページ 125](#)

第7章. CICS リソースのリストの操作

ZDT/CICS は、次の場合に CICS リソースのリストを表示します。

- **「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルで、完全修飾または総称のリソース名を指定したとき。**

「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルを表示するには、「ZDT/CICS Utility (ユーティリティ)」パネルから、オプション 4 (「List (リスト) 」) を選択します。

「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルを使って、指定したリソース名と SYSID に一致するリソースをリストできます。リストされたリソースを変更したり、リストされたファイルまたはエンキューに対して、Edit (編集)、View (表示)、Print (印刷) などの機能を実行したりできます。

Enter キーを押したときに ZDT/CICS によって表示されるリソース選択リストのタイプは、「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルの「**CICS Resource (CICS リソース)**」での選択によって決まります。

- **ZDT/CICS 入力パネルで、CICS リソース名の指定にワイルドカードを使用したとき。**

Enter キーを押したときに ZDT/CICS によって表示されるリソース選択リストのタイプは、ZDT/CICS 入力パネルの「**CICS Resource (CICS リソース)**」での選択によって決まります。



注: ZDT/CICS 入力パネルでワイルドカードを入力した場合、リストされたリソースに対しては、前に表示された ZDT/CICS 入力パネルの機能 (表示、編集、ブラウズ、または印刷) のみ選択できます。

関連トピック

[「Utility Functions \(ユーティリティ機能\)」パネル ページ 133](#)

[「List CICS Resources Entry \(CICS リソースのリスト項目の入力\)」パネル ページ 120](#)

選択リストの中のストリングの検索

表示されているリストの中で、文字ストリングの次のオカレンスを見つけるには、FIND 基本コマンドを使用します。

カーソルが検出されたストリングを含む行の接頭部に置かれ、その行が一番上の行になります。

同じストリングの次の出現箇所を見つけるには、RFIND コマンドを使用するか、引数を付けずに FIND コマンドを入力します。ストリングが見つからなければ、メッセージが表示されます。

検索の開始点、方向、および範囲の制御

検索ストリングの前または後ろに、オプション・パラメーター NEXT、PREV、FIRST、LAST の 1 つを付けて、検索ストリングを修飾できます。パラメーターを付けないか、NEXT パラメーターを付けると、検索は、カーソル位置 (カーソルが表示のデータ域内にある場合)、または表示レコードの最初のレコードの先頭から開始され、末尾に向かってストリングの次のオカレンスを見つける検索が進められます。

FIRST パラメーターを指定すると、検索はリストの先頭から開始され、末尾に向かって進められます。LAST パラメーターを使用すると、検索はリストの最後から開始され、先頭に向かって進められます。PREV パラメーターを指定すると、検索は、カーソル位置 (カーソルが表示のデータ域内にある場合)、または表示レコードの最初のレコードの先頭から開始され、先頭に向かってストリングの次のオカレンスを見つける検索が進められます。

関連トピック

[FIND 基本コマンド ページ 74](#)

[RFIND 基本コマンド ページ 77](#)

現在の基本ソート順序列の検索

現在の基本ソート順序列で、指定されたストリングのオカレンスを検索するには、LOCATE 基本コマンドを使用します。ストリングの構文は、LOCATE 基本コマンドのターゲット列と整合している必要があります。LOCATE コマンドは、等しい列の値または最も近い列の値 (ソート順序によってより小さいか、より大きい値) のいずれかをディスプレイの上部に配置します。

関連トピック

[LOCATE 基本コマンド ページ 76](#)

印刷不能文字のあるキュー名の表示

CICS 一時ストレージ・キュー名には、印刷不能文字が含まれている場合があります。「CICS Temporary Storage Selection List (CICS 一時ストレージ選択)」パネルにリストされたキュー名の 16 進値を表示するには、HEX ON を入力します。16 進値を抑止するには、HEX OFF を入力します。



注: このコマンドをサポートするのは TS キュー選択リストのみです。

図 11.16 進フォーマットで表示されたキュー名 ページ 50 は、16 進フォーマットで表示されたキュー名の例を示しています。

図 11.16 進フォーマットで表示されたキュー名

Process	Options	Help							
ZDT/CICS	CICS Temporary Storage Selection List								Row 1 of 2
Queue	Loc	Items	Size	Max	Min	Tran	Last	Sys	Pool
SAMP - -	AUX	2	128	64	64	CECI	67		
ECDD440344444444									
2147013400000000									
SAMP2é -	AUX	3	192	64	64	CECI	8		
ECDDF54344444444									
2147211200000000									
**** End of data									

関連トピック

[「CICS Temporary Storage Selection List \(CICS 一時ストレージ選択リスト\)」パネル ページ 94](#)

[HEX 基本コマンド ページ 75](#)

現在の選択リストの最新表示

現在の選択リストを最新表示するには、REFRESH 基本コマンドを使用します。

関連トピック

[REFRESH 基本コマンド ページ 76](#)

リソースの属性の変更

CICS リソース・リストまたは対応する属性のパネルで、下線が引かれている値は、フィールドを上書きして Enter キーを押すと変更できます。

例えば、CICS ファイル選択リストから VSAM ファイルを閉じるには、オープンとなっている状況列に「c」を入力し Enter キーを押します。

ZDT/CICS を通して要求される属性の変更は、すべて SET CICS コマンドを発行することで実行されます。そのため、すべての CICS の制限に従っている必要があります。

関連トピック

[ZDT/CICS パネルおよびフィールド ページ 79](#)

表示リストからの項目の選択

表示リストから項目を選択するには、SELECT 基本コマンドを使用します。SELECT 基本コマンドは、指定されたパターンまたはリソース名と一致するリソース名に対して、S 接頭部コマンドと同等の処理を行います。

▶ Select — *resource_name_pattern* ◀

resource_name_pattern

リストのリソース名との突き合わせに使用されるリソース名またはパターン。

例

SELECT TDM1

TDM1 と呼ばれるリソースを選択します。

S*

すべてのリソースを選択します。

SA*

「A」で始まるすべてのリソースを選択します。

S*Z

文字「Z」で終わるすべてのリソースを選択します。

関連トピック

[SELECT 基本コマンド ページ 77](#)

表示リストからの ZDT/CICS Browse エディター・セッションの開始

表示リストから Browse モードで ZDT/CICS エディターを開始するには、ブラウズしたいリソースに対して、プレフィックス・コマンドの B を入力します。ZDT/CICS では関連する「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネルが表示されます。

関連トピック

[「Browse Entry \(ブラウズ項目の入力\)」パネル ページ 79](#)

CICS 選択リストのソート

CICS 選択リストをソートするには、SORT 基本コマンドを使用します。行コマンド・フィールドと「Status (状況)」列を除いて、選択リストに表示された中の 2 つのフィールドによって CICS 選択リストをソートできます。次のフィールド名以外は、フィールド名は列見出し値です。

- 「File Selection List (ファイル選択リスト)」の「Data set name (データ・セット名)」フィールドには「Dsn」を使用します。
- 「Enqueue Selection List (エンキュー選択リスト)」の「Resource name (リソース名)」フィールドには「Resource」を使用します。

ソート・シーケンスは、文字値の列は昇順で、数値の列は降順です。SORT 基本コマンドは、単一列に対しても、列見出しにカーソルを置いて Enter キーを押すことで呼び出すことができます。

例 1. File Selection List (ファイル選択リスト)

次の例は、ファイル・リストをデータ・セット名 (dsn) でソートし、同じデータ・セット名の中ではタイプ (type) でソートする方法を示しています。

```
COMMAND ==> sort dsn type
  File      Data set name      Type  Sys
ACCTFIL    HFM.CICS.ACCTFILE    VSAM
ACCTNAM    HFM.CICS.ACCTNAME    KSDS
ACINUSE    HFM.CICS.ACTINUSE    PATH
```

例 2. Temporary Storage Selection List (一時ストレージ選択リスト)

次の例は、一時ストレージをサイズ (size) の降順でソートし、同じサイズの中ではキュー名 (queue) の昇順にソートする方法を示しています。

```
COMMAND ==> sort size queue
Queue Loc  Items      Size  Max
FMT3  AUX    20         2560  128
FMT5  AUX    10         1280  128
FMT1  AUX    10         1280  128
FMT2  AUX    10         1280  128
FMT4  AUX    10         1280  128
```

例 3. Transient Data Selection List (一時データ選択リスト)

次の例は、一時データ・キュー・リストをタイプ (Type) でソートし、同じタイプの中では後処理 (dsp) でソートする方法を示しています。

```
COMMAND ==> sort Typ dsp
Queue Typ DDname  Dsp
CXRF  EXT DFHCXRF  MOD
FM01  EXT FM01     SHR
FM02  EXT FM02     SHR
FM03  EXT FM03     SHR
FM04  EXT FM04     SHR
```

例 4. Enqueue Selection List (エンキュー選択リスト)

次の例では、エンキュー選択リストを、タスク (task) の降順にソートし、同じタスクの中ではリソース名 (resource) の昇順にソートする方法を示しています。

```
COMMAND ==> sort task resource
Resource name (first 36 characters)  Task
ENQUEUE2                            0001177
ENQUEUE4                            0001177
ENQUEUE1                            0001176
ENQUEUE3                            0001176
ENQUEUE5                            0001176
```

関連トピック

[SORT 基本コマンド ページ 77](#)

第 8 章. CICS エンキューの操作

このセクションでは、ZDT/CICS のエンキュー・リストとタスク・ページ機能について説明します。

呼び出しと実行

編集セッションで、ZDT/CICS 生成またはユーザー指定の CICS エンキューが発行されようとする、ZDT/CICS は、使用中状態を受け取り、[図 12: 「使用中状態」のメッセージが表示された編集パネルの例](#) ページ 54 に示すメッセージが表示されます。

図 12. 「使用中状態」のメッセージが表示された編集パネルの例

```
Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS          Edit Temporary Storage Entry Pa      CICS resource locked
                                     More:  +
Input Temporary Storage Queue:
Queue name . . . . . _____
Sysid . . . . . _____
Pool name . . . . . _____
Start position . . . . . _____      Record number
Record limit . . . . . _____      Record sampling _
Inplace edit . . . . . _____      Prevent inserts and deletes
Lock resource . . . . . _____      Name _____
Copybook or Template:
Data set name . . . . . _____
Member . . . . . _____      Blank or pattern for member list
Processing Options:
Copyboo
3. 1. A      CICS enqueue resource 'RESOURCE' is already active. The
   2. P      active enqueue was issued by transaction 'HFM' and
   3. N      userid 'CICSUSER'.
   4. C
Command ==> _____
F1=Help      F3=Exit      F4=Expand      F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right    F12=Cancel
```

長メッセージを表示するには、「Help」機能キー (F1) を押します。

メッセージには、アクティブ CICS エンキューに関連付けられたユーザー ID とトランザクション、および、ZDT/CICS セッションのエンキュー発行を妨げている同名のエンキュー・リソース名が示されます。

CICS エンキューの詳細情報を表示するには、次のようにします。

1. 「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネルで「**List (リスト)**」オプション (3.4) を選択して、「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルを表示します。
2. 「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルで、次を行います。
 - a. 「**Resource name (リソース名)**」入力フィールドに、詳細情報を表示する CICS エンキュー・リソースの名前を指定します。
 - b. 「Processing Options (処理オプション)」リストから、オプション 4 の「**Enqueue (エンキュー)**」を選択します。
 - c. Enter キーを押します。

ZDT/CICS は、「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネルに、指定されたリソース名と一致するすべてのアクティブ CICS エンキューのリストを表示します。

関連トピック

[「Utility Functions \(ユーティリティー機能\)」パネル ページ 133](#)

[「List CICS Resources Entry \(CICS リソースのリスト項目の入力\)」パネル ページ 120](#)

[「CICS Enqueue Selection List \(CICS エンキュー選択リスト\)」パネル ページ 89](#)

追加の CICS 属性の表示

CICS エンキューに関連する CICS 属性をさらに表示するには、「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネルに表示されたエンキューに A または S 接頭部コマンドを入力して、「CICS Enqueue Resource (CICS エンキュー・リソース)」パネルを表示します。

関連トピック

[「CICS Enqueue Selection List \(CICS エンキュー選択リスト\)」パネル ページ 89](#)

[「CICS Enqueue Resource \(CICS エンキュー・リソース\)」パネル ページ 86](#)

CICS タスクのパーズ

リソースをロックしている CICS エンキューを発行したタスクをパーズするには、次のようにします。

1. 「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネルにリストされたエンキューに、P または F 接頭部コマンドを入力します。

ZDT/CICS は、タスクに対して、それぞれ、SET TASK PURGE または SET TASK FORCEPURGE CICS コマンドを発行します。



注:

1. パージ不可と定義されたタスク (「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネルの **Prge (パーズ)** に「NO」と表示) に、P 接頭部コマンド (SET TASK PURGE) は発行できません。
2. パージ不可と定義されたタスクに、F 接頭部コマンド (SET TASK FORCEPURGE) を発行できます。最初の PURGE または FORCEPURGE を発行する前に、ZDT/CICS はパーズしてよいかを確認するための警告パネルを表示します。

パーズが 1 つ以上のタスクに正常に発行されると、ZDT/CICS は、「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネルの項目を「*** PURGE ISSUED ***」に変更します。これは、タスクが正常にパーズされたことを示すものではありません。パーズ・コマンドが正常に発行されたことのみを示すものです。



ページ・コマンドが失敗すると、ZDT/CICS は、「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」の項目を「*** PURGE ERROR ***」に変更し、CICS によって戻された条件と RESP2 値をパネルの下部に表示します。

3. タスクに PURGE または FORCEPURGE を発行すると、タスクは終了します。したがって、1 つ以上のタスクをページしたあとは、REFRESH コマンドを発行して、すべてのアクティブ CICS エンキューの現在のリストを生成してください。

関連トピック

[「CICS Enqueue Selection List \(CICS エンキュー選択リスト\)」パネル ページ 89](#)

第9章. メッセージ

ZDT/CICS メッセージは4つのカテゴリに分けられます。これらのメッセージはZDT/CICSによって生成され、処理が成功したことを確認するか、エラーを知らせるために表示されます。



注: Z Common Components の下でメッセージ番号を表示するには、MSGID コマンドを発行します。

ZDT/CICS レベル確認のメッセージ

これらのメッセージは、最初にZDT/CICSを入力し、CICSレベルに関する情報を表示するときに表示されます。ZDT/CICSレベル検査メッセージの前に「HFM BB」とメッセージ番号が付きます。

ZDT/CICS ログオン・メッセージ

ZDT/CICSのログオン画面に発行されるメッセージです。

ZDT/CICS メッセージ・ログのメッセージ

ZDT/CICSメッセージ・ログに書き込まれるメッセージです。

デフォルトのZDT/CICSメッセージ・ログは、SYSOUTクラスAへの一時データ・キューHFMMとして定義されます。しかし、これは、インストールの間にオプション・モジュールで変更されている可能性もあります。

ZDT/CICS インターフェースのメッセージ

これらのメッセージは、ZDT/CICSセッションの間にエラーが検出されたときに表示されます。F1(ヘルプ)キーを押すと、これらのメッセージの詳細情報を取得できます。

CICSコマンド(例えばINQUIRE FILE)を発行したあとでZDT/CICSがエラーを検出すると、機能、および戻された条件とresp2値をリストしたメッセージ1172が生成されます。詳細は、「CICS Application Programming Reference」または「CICS System Programming Reference」を参照して、条件とresp2値を調べてください。

リソースI/Oの実行でZDT/CICSがILLOGIC条件を受け取ると、VSAM戻りコードとエラー・コードを示したメッセージ0063が表示されます。詳細は、「DFSMS Macro Instructions for Data Sets」の中の、VSAM機能のリストされたVSAM戻りコードとエラー・コードを参照してください。



注: メッセージHFM1172IとHFM0063Iについても「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」に説明されています。

ZDT/CICSログオンおよびメッセージ・ログのメッセージの前には、「HFMCA」とメッセージ番号が付きます。

番号付きメッセージの形式

Z Data Tools メッセージ

番号の付いたZDT/CICSレベル確認のメッセージの形式は次の通りです。

Z Data Toolsメッセージの構文

HFMBB*nnn* message text

HFMBB

メッセージが Z Data Tools から出るかどうかを示します。

nnn

メッセージ番号。

ZDT/CICS メッセージ

番号の付いた ZDT/CICS メッセージの形式は次の通りです。

ZDT/CICSメッセージの構文

HFMC*A**nnn* message text

HFMC*A*

メッセージが ZDT/CICS から出るかどうかを示します。

nnn

メッセージ番号。

Z Data Tools メッセージ

以下のメッセージは、バッチ・ジョブが CICS から初めて呼び出されたときに発行されることがあり、そのジョブを実行依頼した CICS 領域が、同じレベルの Z Data Tools で実行されているのを確認したことを示します。

HFMBB252

No storage to obtain CICS buffer to query CICS levels

Explanation: レベル検査の実行に必要な十分なメモリがありません。

User response: 実行依頼されたバッチ・ジョブに対して使用可能な領域サイズを増やしてください。

HFMBB253

CICS level inquiry failed to run successfully rc = *rc*

Explanation: レベル照会のコマンドの処理で、内部エラーが発生しました。

User response: HCL サポートに連絡してください。

HFMBB254

You are running a higher level of Z Data Tools in the batch job than in at least one of the connected CICS regions. This could lead to failures due to services being unavailable. Use the command VERCICS to verify the current levels of Z Data Tools for CICS that are running and ensure all regions with a lower level are upgraded appropriately.

Explanation: このメッセージは、バッチ・ジョブと ZDT/CICS 間のバッファ・レイアウトの不一致を示しています。この原因は、おそらく、ZDT/CICS のインスタンスの中でメンテナンスの適用が為されていないものがあるためです。この不一致が解決されないと、重大エラーが発生する場合があります。

User response: VERCICS コマンドを使用して、接続されたすべての CICS 領域上の ZDT/CICS のレベルを表示してください。実行中の Z Data Tools バッチ・ジョブから、低いレベルで実行されているすべてのインスタンスを除去してください。レベルの相違が発生する理由として、ZDT/CICS インスタンスにメンテナンスが適用されていないこと、または、メンテナンスが適用された後に、ZDT/CICS プログラムが CICS 領域でリフレッシュされなかったことが考えられます。

HFMBB255

CICS level inquiry failed with cond=CICS *condition code*

Explanation: 接続された CICS 領域の中で、プログラム HFM3LVL のロードが失敗しました。CICS 条件コードは *condition code* です。

User response: これは、通常、接続された CICS 領域で HFM3LVL にアクセスできないというインストールの問題を示しています。DFHRPL を調べて、Z Data Tools ライブラリーの中で HFM3LVL が使用可能であることを確認する必要があります。

HFMBB256

Warning - PTF mismatch

Explanation: 接続された 1 つまたは複数の CICS 領域のバッチ・ジョブと ZDT/CICS において、異なるメンテナンス・レベルの Z Data Tools を実行しています。これは、1 つまたは複数の領域内の ZDT/CICS が下位レベルにあるため、最新レベルのメンテナンスによって提供される、問題に対するすべての使用可能なサービスや解決が含まれていない場合があることを示します。

User response: VERCICS コマンドを使用して、接続されたすべての CICS 領域上の ZDT/CICS の PTF レベルを表示してください。実行中の Z Data Tools バッチ・ジョブから、異なる PTF レベルで実行されているすべてのインスタンスを除去してください。PTF レベルの相違が発生する理由として、ZDT/CICS インスタンスにメンテナンスが適用されていないこと、または、メンテナンスが適用された後に、ZDT/CICS プログラムが CICS 領域でリフレッシュされなかったことが考えられます。

HFMBB257

CICS level inquiry was unable to load HFM3LVL

Explanation: バッチ・ジョブは、モジュール HFM3LVL をロードできませんでした。

User response: HFM3LVL がバッチ・ジョブによってロード可能であることを確認してください。

ZDT/CICS ログオンおよびメッセージ・ログのメッセージ

次のメッセージは、ZDT/CICS のログオン画面またはメッセージ・ログに発行されるメッセージです。

HFMC A000

Z Data Tools ended

Explanation: Z Data Tools for CICS が終了しました。

User response: Z Data Tools for CICS が思いがけなく終了した場合、詳細は、Z Data Tools バッチ・アドレス・スペースを開始するために実行依頼されたジョブの出力を参照してください。

HFMCA001

Password required

Explanation: 指定されたユーザー ID のパスワードが入力されませんでした。

User response: 「Password (パスワード)」フィールドに、指定されたユーザー ID の現在のパスワードを入力してください。

HFMCA002

Confirm new password

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力された新規パスワードは、確認を必要とします。

User response: 「New Password (新規パスワード)」フィールドに、指定されたユーザー ID の新規パスワードを再度入力してください。

HFMCA003

Re-enter new password

Explanation: 新規パスワードの処理でエラーが発生しました。

User response: 「New Password (新規パスワード)」フィールドに、指定されたユーザー ID の新規パスワードを再度入力してください。

HFMCA004

Invalid password

Explanation: 指定されたユーザー ID の、無効または許可されていないパスワードが入力されました。

User response: 「Password (パスワード)」フィールドに、指定されたユーザー ID の現在のパスワードを入力してください。

HFMCA005

Password has expired

Explanation: 指定されたユーザー ID の現在のパスワードは有効期限が切れています。

User response: 「New Password (新規パスワード)」フィールドに、指定されたユーザー ID の新規パスワードを入力してください。

HFMCA006

Invalid new password

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力された新規パスワードは、システムのパスワード要件を満たしません。

User response: 「New Password (新規パスワード)」フィールドに、指定されたユーザー ID の受け入れられる新規パスワードを入力してください。

HFMCA007

Userid is revoked

Explanation: 指定されたユーザー ID は取り消されています。**User response:** セキュリティー管理者に連絡して、指定されたユーザー ID が取り消された理由を確認してください。

HFMCA008

Procedure name required

Explanation: 「Procedure (プロシージャー)」入力フィールドが空白のままになっています。**User response:** 「Procedure (プロシージャー)」入力フィールドに、1 から 8 文字の有効な Z Data Tools プロシージャー名を指定してください。詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。

HFMCA009

Profile data set name required

Explanation: 「Profile data set (プロファイル・データ・セット)」入力フィールドが空白のままになっています。**User response:** 「Profile data set (プロファイル・データ・セット)」入力フィールドに、1 から 44 文字の有効なプロファイル・データ・セット名を指定してください。詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。

HFMCA010

Invalid profile data set name

Explanation: 「Profile data set (プロファイル・データ・セット)」入力フィールドに入力されたデータ・セット名が、標準 MVS データ・セット名の規則に従っていません。**User response:** 「Profile data set (プロファイル・データ・セット)」入力フィールドに、1 から 44 文字の有効なプロファイル・データ・セット名を指定してください。詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。

HFMCA011

Jobcard required

Explanation: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドの最初の行が空白のままになっています。そこには、JOB JCL ステートメントと有効なジョブ名が入っていなければなりません。**User response:** 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドに、有効なジョブ・カードを指定してください。詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。

HFMCA012

Jobname requires //

Explanation: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドに指定されたジョブ・カード内のコメント行以外の行が、「//」で始まっていません。

User response: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドで、JCL 規則に従って、コメント行以外の行の先頭に「//」を指定してください。

HFMCA013

Invalid jobname

Explanation: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドに指定されたジョブ名が、JCL 規則に従っていません。

User response: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドの最初の行に、有効なジョブ名を指定してください。

HFMCA014

Jobname too long

Explanation: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドに指定されたジョブ名が、8 文字を超えています。

User response: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドの最初の行に、有効なジョブ名を指定してください。

HFMCA015

Invalid jobcard, JOB statement required

Explanation: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドに指定された最初の行に、必須の JOB JCL ステートメントが入っていません。

User response: 「Jobcard (ジョブ・カード)」入力フィールドに、有効なジョブ・カードを指定してください。詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。

HFMCA016

Job *jobname* not responding

Explanation: *jobname* アドレス・スペースを開始するジョブ Z Data Tools が実行依頼されましたが、割り振られた時間内に応答を受け取りませんでした。ジョブは、キューに入れられたか、失敗した可能性があります。このメッセージと一緒に、メッセージ HFMCA019 も発行されます。

User response: ジョブ *jobname* の出力を見て、ジョブが応答しない理由を示したエラー・メッセージがないかどうか調べてください。ジョブ・ログが見つからなければ (これは ZDT/CICS ジョブが開始しなかったことを示します)、CICS 開始 JCL の中で HFMRDR DD ステートメントが正しく定義されていることと、使用しているシステムに十分なイニシエーターがあることを確認してください。詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。

バッチ・ジョブが失敗するかキューに入れられる理由としてよくあるのは、以下のものです。

- ZDT/CICS プロシージャーの中のライブラリーの 1 つにアクセスするための十分な権限がない。システム・ログでセキュリティ・メッセージを確認してください。
 - TCP/IP が CICS 領域でアクティブではない。ジョブ・ログの中の TCP/IP エラー・メッセージを調べて、TCP/IP が CICS 領域でアクティブであることを確認してください。
 - ジョブ名が重複している。ZDT/CICS ジョブ・カード入力フィールドに別のユーザーが同じジョブ名を指定していないか、あるいは、前の ZDT/CICS ジョブがまだアクティブのままになっていないかを確認してください。
-

HFMCA017

Job *jobname* submitted

Explanation: Z Data Tools アドレス・スペースを開始するジョブ *jobname* が実行依頼されました。

User response: なし。

HFMCA018

Profile READ error, COND:*cond*, RESP2: *resp2*

Explanation: プロファイル・データ・セットから読み取ろうとして、Z Data Tools がエラーを検出しました。CICS は条件 *cond* と *resp2* 値 *resp2* を戻しました。このプロファイル・データ・セットは、ZDT/CICS ログオン画面にデータを設定するために使用されます。代わりに ZDT/CICS デフォルト値が使用されています。

User response: 詳細は、「CICS Application Programming Reference」の中で、READ FILE API の条件と *resp2* 値を調べてください。

HFMCA019

Press F5 to wait another 20 seconds, ENTER to resubmit

Explanation: Z Data Tools は、Z Data Tools アドレス・スペースを開始するバッチ・ジョブを処理依頼しましたが、応答を受け取っていません。ジョブは、キューに入れられたか、失敗した可能性があります。このメッセージと一緒に、メッセージ HFMCA016 も発行されます。

User response: F5 を押してバッチ・ジョブからの応答をさらに 20 秒待つか、ENTER キーを押してバッチ・ジョブを再実行依頼してください。メッセージ HFMCA016 に表示されたジョブの出力を見て、ジョブが応答しない理由を示したエラー・メッセージがないかどうか調べてください。

HFMCA020

Sockets error

Explanation: Z Data Tools は TCP/IP ソケット・インターフェースのエラーを検出しました。このメッセージと一緒に、メッセージ HFMCA021 も発行されます。

User response: メッセージ HFMCA021 に表示された機能のエラー・コードを「IP CICS ソケット・ガイド」の中で検索して、詳細を調べてください。

HFMCA021

FUNCTION:*function*, ERROR CODE:*error_code*, RETURN CODE: *return_code*

Explanation: リストされた機能の呼び出しを発行するときに、Z Data Tools は TCP/IP ソケット・インターフェースのエラーを検出しました。このメッセージと一緒に、メッセージ HFMCA020 も発行されます。

User response: リストされたソケット機能のエラー・コードを「IP CICS ソケット・ガイド」の中で検索して、詳細を調べてください。

HFMCA022

Internal reader error, RESOURCE:*resource*, FUNCTION: *function*

Explanation: Z Data Tools が内部読み取りプログラムの処理中にエラーを検出しました。Z Data Tools は、内部読み取り機能を使用して、Z Data Tools アドレス・スペースを呼び出すバッチ・ジョブを実行依頼します。*function* は、Z Data Tools が内部読み取りプログラムに対して実行しようとした操作です。*resource* は、内部読み取りプログラムに対して定

義された、OPEN、WRITE、CLOSE 機能によって使用される一時データ・キューの名前です。ENQ および DEQ 機能の場合、*resource* は Z Data Tools によって使用されるエンキュー・リソース名です。このメッセージと一緒に、戻された条件と resp2 値を含むメッセージ HFMCA023 も発行されます。

User response: リストされた機能の、メッセージ HFMCA023 に表示された条件とエラー・コードを「CICS Application Programming Reference」の中で検索して、詳細を調べてください。

HFMCA023

COND:*condition*, RESP2: *resp2*

Explanation: Z Data Tools は内部読み取りプログラムの処理でエラーを検出しました。CICS によって戻された *condition* および *resp2* 値が表示されます。このメッセージと一緒に、リソース名と、エラーを検出した機能を含むメッセージ HFMCA022 も発行されます。

User response: メッセージ HFMCA022 にリストされた機能の条件とエラー・コードを「CICS Application Programming Reference」の中で検索して、詳細を調べてください。

HFMCA024

Internal reader incorrectly defined, RESOURCE: *resource*

Explanation: 一時データ・キュー・リソースが内部読み取りプログラムに誤って定義されています。Z Data Tools は、内部読み取り機能を使用して、Z Data Tools アドレス・スペースを呼び出すバッチ・ジョブを実行依頼します。

User response: 内部読み取りプログラムに一時データ・キューを適切に定義してください。詳細は、Z Data Tools カスタマイズ・ガイドを参照してください。

HFMCA025

Password successfully changed

Explanation: 指定されたユーザー ID のパスワードが正常に変更されました。

User response: なし。

HFMCA026

Unknown return code in ESMRESP from external security manager

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、外部のセキュリティー・マネージャーから ESMRESP に不明な戻りコードを戻しました。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA027

The CICS external security manager interface is not initialized

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、CICS 外部セキュリティー・マネージャー・インターフェースが初期化されていないことを示すエラー条件を戻しました。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA028

The external security manager is not responding

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、CICS 外部セキュリティ・マネージャー・インターフェースが応答していないことを示すエラー条件を戻しました。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA029

The USERID field contains a blank character in an invalid position

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、ユーザー ID フィールドで、無効な位置にブランク文字が含まれていることを示すエラー条件を戻しました。

User response: 有効なユーザー ID を指定するか、セキュリティ管理者に連絡してください。

HFMCA030

Unknown INVREQ value when validating password

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、不明な INVREQ resp2 値を戻しました。

User response: HCL サポートに連絡してください。

HFMCA031

The USERID is not known to the external security manager

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、指定されたユーザー ID が、外部セキュリティ・マネージャーから認識されていないことを示すエラー条件を戻しました。

User response: 有効なユーザー ID を指定するか、セキュリティ管理者に連絡してください。

HFMCA032

Unknown condition received from password validation

Explanation: 指定されたユーザー ID の、入力されたパスワードを検証する CICS 要求は、不明な条件を戻しました。

User response: HCL サポートに連絡してください。

HFMCA033

Abend during job submission

Explanation: Z Data Tools が、Z Data Tools アドレス・スペースを開始するバッチ・ジョブを内部読み取りプログラムに実行依頼しようとして、異常終了が検出されました。

User response: 異常終了の原因の詳細情報は、CICS ログおよびシステム・ログを参照してください。

HFMCA034

The change password request failed during SECLABEL processing

Explanation: 指定されたユーザー ID のパスワードを変更する CICS 要求は、SECLABEL 処理の間に、パスワードの変更要求が失敗したことを示すエラー条件を戻しました。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA035

The user is revoked in the connection to the default group

Explanation: 指定されたユーザー ID のパスワードを変更する CICS 要求は、ユーザーがデフォルト・グループとの関連付けを取り消されたことを示すエラー条件を戻しました。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA036

NOTAUTH condition received from change password request

Explanation: 指定されたユーザー ID のパスワードを変更する CICS 要求は、ユーザーが許可されていないことを示すエラー条件を戻しました。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA037

**** Z Data Tools for CICS has ended ****

Explanation: Z Data Tools for CICS が終了しました。

User response: なし。

HFMCA038

Invalid userid, re-enter

Explanation: 無効なユーザー ID を入力しました。ユーザー ID に間違っただ文字が含まれているか、外部セキュリティー・マネージャーによって認識されていません。

User response: 有効なユーザー ID を入力してください。

HFMCA039

Userid not authorized to issue INQUIRE command

Explanation: CICS コマンド・セキュリティーによって、ユーザー ID は CICS 領域で INQUIRE コマンドを発行できませんでした。使用しているユーザー ID に、ZDT/CICS を実行する INQUIRE コマンドを発行する権限がなければなりません。

User response: セキュリティー管理者に連絡してください。

HFMCA040

Connection tdqueue error, RESOURCE:*resource*, FUNCTION: *function*

Explanation: Z Data Tools は、接続一時データ・キューの処理でエラーを検出しました。Z Data Tools は、このキューを読み取り (指定された場合)、リモート・リソースの処理のために ZDT/CICS がインストールされている、接続された CICS 領域の APPLID リストを取得します。*function* は、Z Data Tools がキューに対して実行しようとした操作です。*resource* は、HFM3POPT の CONN オプションで、ZDT/CICS に定義された一時データ・キューの名前です。

User response: リストされた機能の、メッセージ HFMCA023 に表示された条件とエラー・コードを「CICS アプリケーション・プログラミング・リファレンス」の中で検索して、詳細を調べてください。

HFMCA041

Connection tdqueue incorrectly defined, RESOURCE: *resource*

Explanation: 接続一時データ・キューは間違っていて定義されています。Z Data Tools は、このキューを読み取り (指定された場合)、リモート・リソースの処理のために ZDT/CICS がインストールされている、接続された CICS 領域の APPLID リストを取得します。*resource* は、HFM3POPT の CONN オプションで、ZDT/CICS に定義された一時データ・キューの名前です。このリソースは、区画外 (80 バイトを超えないレコード長を持った入力 tdqueue) として定義する必要があります。

User response: 接続一時データ・キューを正しく定義してください。詳細は、「Z Data Tools カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

HFMCA042

Trace requested, message log error, RESOURCE:*resource*, FUNCTION *function*

Explanation: ZDT/CICS トレースを要求しましたが、ZDT/CICS メッセージ・ログとして定義された一時データ・キューでエラーが検出されました。ZDT/CICS トレースはデータをメッセージ・ログに書き込むため、ZDT/CICS ではこのリソースのエラーが解決されるまでトレースを実行できません。*function* は、Z Data Tools がキューに対して実行しようとした操作です。*resource* は、HFM3POPT の MSGL オプションでメッセージ・ログとして ZDT/CICS に定義された一時データ・キューの名前です。ZDT/CICS メッセージ・ログの詳細は、「Z Data Tools カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

User response: リストされた機能の、メッセージ HFMCA0023 に表示された条件とエラー・コードを「CICS アプリケーション・プログラミング・リファレンス」の中で検索して、詳細を調べてください。

HFMCA043

CICS socket interface abend, interface may not be started

Explanation: ZDT/CICS は、CICS ソケット・インターフェースの呼び出しで異常終了を検出しました。CICS ソケット・インターフェースは、HFM バッチ・アドレス・スペースと通信する必要があります。異常終了の原因として、CICS 領域で CICS ソケット・インターフェースが開始されていないことが考えられます。

User response: EZAO CICS トランザクションを実行して (使用可能な場合) 状況を表示し、CICS ソケット・インターフェースを開始してから、ZDT/CICS トランザクションを再実行してください。

HFMCA065

hh:mm:ss.ms trace message

Explanation: ZDT/CICS の初期化中に要求されたさまざまなトレース情報です。

User response: なし。

HFMCA999

Z Data Tools/CICS problem - message *nnnn* not found in table

Explanation: Z Data Tools for CICS は、メッセージ表の中でメッセージ番号 *nnnn* を見つけることができません。これは、おそらく Z Data Tools エラーです。

User response: HCL サポートに連絡してください。

HFMCA060

mm/dd/yy hh:mm:ss Z Data Tools for CICS started by USER:*userid*, FACILITY: *facility*

Explanation: ZDT/CICS セッションは、示された日時に CICS 領域で開始されました。ZDT/CICS トランザクションは、リストされた *userid* と *facility* によって開始されました。この *facility* (ファシリティ) は、この ZDT/CICS セッションの間にメッセージ・ログに書き込まれる後続のすべてのメッセージにも書き込まれます。

User response: なし。

HFMCA061

mm/dd/yy hh:mm:ss Z Data Tools for CICS ended, USER:*userid*, FACILITY:*facility*, RC: *rc*

Explanation: ZDT/CICS セッションは、示された日時に CICS 領域で終了しました。戻りコードは *rc* です。ZDT/CICS トランザクションは、もともと、リストされた *userid* と *facility* によって開始されました。

User response: 戻りコードが 0 でない場合、検出されたエラーの説明については、前のメッセージを参照してください。

HFMCA062

mm/dd/yy hh:mm:ss Failure loading options module, COND:*condition*, RESP2:*resp2*, FACILITY: *facility*

Explanation: ZDT/CICS は、オプション・モジュール HFM3POPT をロードできませんでした。プログラムをロードしようとして、CICS は、リストされた *condition* と *resp2* 値を戻しました。

User response: 使用しているシステムが ZDT/CICS のデフォルト値を受け入れ、そのためオプション・モジュールを定義およびインストールしなかった場合は、このメッセージは無視してください。そうでない場合は、LOAD PROGRAM API の *condition* と *resp2* 値を「CICS Application Programming Reference」で検索して、詳細を調べてください。オプション・モジュール HFM3POPT の詳細は、Z Data Tools カスタマイズ・ガイドを参照してください。

HFMCA063

mm/dd/yy hh:mm:ss Failure loading message module, COND:*condition*, RESP2:*resp2*, FACILITY: *facility*

Explanation: 英語以外の言語が、ZDT/CICS オプション・モジュールで指定されました。しかし、ZDT/CICS は、指定された言語のメッセージ・モジュールをロードできませんでした。

User response: LOAD PROGRAM API の *condition* と *resp2* 値を「CICS Application Programming Reference」で検索して、詳細を調べてください。多文化サポートについて詳しくは、Z Data Tools カスタマイズ・ガイドを参照してください。

HFMCA064

mm/dd/yy hh:mm:ss Failure starting verify transaction, COND:condition, RESP2:resp2, FACILITY: facility

Explanation: ZDT/CICS は、入力されたユーザー ID が有効かどうかを検証するトランザクションを開始しようとした。そのトランザクションは、リストされた *condition* と *resp2* 値で失敗しました。デフォルトの ZDT/CICS 検証トランザクションは HFMV ですが、これは、インストールの間にオプション・モジュールで変更された可能性もあります。

User response: START API の *condition* と *resp2* を「CICS Application Programming Reference」で検索して、詳細を調べてください。ユーザー ID 検証トランザクション (HFMV) の詳細は、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイドを参照してください。

第 II 部. ZDT/CICS 参照

第 10 章. ZDT/CICS 基本コマンド

本章では、さまざまな ZDT/CICS パネルで使用できる基本コマンドの構文とパラメーターについて説明します。

パネルのコマンド行に基本コマンドを入力します。

構文で複数オペランドの指定が可能な場合には、オペランド間の区切り文字にブランクまたはコンマを使用できます。

例えば、次は、両方とも正しいコマンドの指定です。

```
SORT DSN TYPE  
SORT DSN,TYPE
```

基本コマンドは、次の 2 つのカテゴリーでリストされています。

一般基本コマンド

コマンド行がある任意の場所から発行できるコマンド。[一般基本コマンド ページ 71](#) を参照してください。

選択リスト基本コマンド

オプション 3.4 で表示されるか、機能入力パネルで汎用 CICS リソース名を指定するときに表示される、CICS リソース選択リストに適用されるコマンド。[選択リスト基本コマンド ページ 74](#) を参照してください。

一般基本コマンド

CUAATTR 基本コマンド

CUAATTR 基本コマンドは、「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネルを表示します。このパネルを使用して、パネル・エレメントのカラー、輝度、および強調表示属性を変更できます。

構文

▶ CUAATTR ▶

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能

関連するタスク

- ・ [パネル・カラー、輝度、および強調表示の変更 ページ 35](#)

DX 基本コマンド

DX コマンドは、10 進数を等価の 16 進数に変換します。

構文

▶ DX — *decimal_value* ▶

使用箇所

このコマンドは、どの ZDT/CICS パネルでも入力できます。

関連するタスク

[ZDT/CICS での 16 進値の使用 ページ 29](#)

KEYS 基本コマンド

KEYS 基本コマンドは、「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネルを表示します。このパネルを使用して、キーの現在の機能の表示と変更を行います。

構文

▶▶ KEYS ▶▶

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能

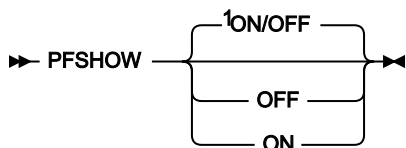
関連するタスク

- [現在のキー・リスト値の変更 ページ 35](#)

PFSHOW 基本コマンド

PFSHOW 基本コマンドを使用して、PF キーの説明の表示と非表示の切り替えを行います。

構文



注:

¹ パラメーターが指定されていない場合: 現在の設定が ON であれば、OFF を指定してこのコマンドを発行したように動作します。現在の設定が OFF であれば、ON を指定してこのコマンドを発行したように動作します。

ON

PF キーの説明を表示します。

OFF

PF キーの説明を非表示にします。

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能

関連するタスク

- [PF キー説明の表示または非表示 ページ 33](#)

SETTINGS 基本コマンド

SETTINGS 基本コマンドは、「ZCC Settings (設定)」パネルを表示します。このパネルを使用して、情報が画面に表示される方法に影響するさまざまなオプションと端末特性を変更できます。



注: Z Data Tools のパネルでは、CICS から実行するときに ISPF SETTINGS のオプションでこのコマンドが発行されます。

構文

▶- SETTINGS -▶

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能

関連するタスク

- [端末特性の変更 ページ 34](#)

VER 基本コマンド

VER コマンドは、ZDT/CICS のリリースと PTF レベルを表示し、ZDT/CICS が APF 許可であるかどうかを示します。

VER コマンドがご使用のサイトの ISPF コマンド・テーブルに既に存在する場合は、LVL 同義語を使用して同じタスクを実行することができます。

構文

▶- VER -▶
LVL

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能

関連するタスク

- [ご使用の ZDT/CICS バージョンの検査 ページ 17](#)

VERCICS 基本コマンド

VERCICS コマンドは、接続されている CICS システムのレベルを表示します。

構文

▶ VERCICS ◀

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能

関連するタスク

- [接続されている CICS システムのレベルの確認 ページ 18](#)

XD 基本コマンド

XD コマンドは、16 進数を等価の 10 進数に変換します。

構文

▶ XD — *hexadecimal_value* ◀

使用箇所

すべてのパネル上で使用可能。

結果

関連するタスク

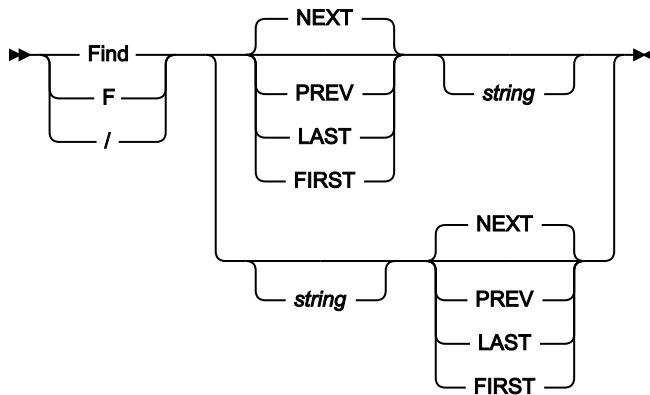
- [ZDT/CICS での 16 進値の使用 ページ 29](#)

選択リスト基本コマンド

FIND 基本コマンド

FIND 基本コマンドは、通常、選択リストの中で文字ストリングの次のオカレンスを見つけます。

構文



string

検索文字列。次のいずれかを指定できます。

- 一重引用符で開始または終了せず、空白またはコンマを含まない文字文字列。文字列の大/小文字は無視されます。同一文字の英大文字表記と小文字表記は一致します。例えば、「Mixed」は「MIXED」と一致します。
- 引用符で囲まれた文字文字列。この文字列には、空白とコンマを入れることができます。文字列の大/小文字は無視されます。
- 「C」と、その後引用符で囲まれた文字文字列 (C'Frog')、または、引用符で囲まれた文字文字列と、その後「c」 ('Frog'C)。この文字列には、空白とコンマを入れることができます。文字列は (大文字/小文字も含めて) 完全に一致しなければなりません。
- 「X」と、その後引用符で囲まれた 16 進数文字列 (X'C1C2')。

使用箇所

選択リストで使用可能。

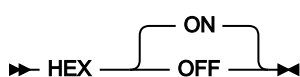
関連するタスク

- [選択リストの中の文字列の検索 ページ 49](#)

HEX 基本コマンド

Temporary Storage Selection リストを表示する場合は、HEX 基本コマンドを使用して、一時ストレージ・キュー名に含まれる表示不能文字の 16 進値を表示します。

構文



ON

データの 16 進数表記を縦方向に表示します (1 バイト当たり 3 行)。

OFF

データを文字形式で表示します。

使用箇所

- ・ [「CICS Temporary Storage Selection List \(CICS 一時ストレージ選択リスト\)」パネル ページ 94](#)

関連するタスク

- ・ [印刷不能文字のあるキュー名の表示 ページ 50](#)

LOCATE 基本コマンド

LOCATE 基本コマンドでは、現在の基本ソート順序列で、指定されたストリングのオカレンスを検索します。

構文

▶▶ LOCATE ◀◀

使用箇所

選択リストで使用可能。

関連するタスク

- ・ [現在の基本ソート順序列の検索 ページ 50](#)

REFRESH 基本コマンド

REFRESH 基本コマンドは、現在の選択リストを、一致する CICS リソースから取ってきた新しい選択リストと取り替えます。

構文

▶▶ REFRESH ◀◀

使用箇所

すべての選択リストで使用可能。

関連するタスク

- ・ [現在の選択リストの最新表示 ページ 51](#)

RFIND 基本コマンド

RFIND 基本コマンドは、直前の FIND 基本コマンドによって実行された検索を繰り返します。

構文

▶▶ RFIND ◀◀

カーソルがデータ域内にある場合、RFIND は、カーソル位置より後ろにある次の *string* の出現箇所を検出します。カーソルがデータ域の外にある場合、RFIND は、*string* の最初の出現箇所を検出します。このコマンドを発行するとカーソルはデータ域に残るため、そのあとで「RFIND」機能キー (F5) を押すと *string* のそれぞれの出現箇所に簡単に移動できます。ただし、コマンド行で RFIND コマンドを入力する場合、次の出現箇所を検出するには、*string* の最後の出現箇所にカーソルを置き直してから Enter キーを押す必要があります。

使用箇所

すべての選択リストで使用可能。

関連するタスク

- [選択リストの中のストリングの検索 ページ 49](#)

SELECT 基本コマンド

SELECT 基本コマンドは、表示リストから項目を選択します。

構文

▶▶ Select — *resource_name_pattern* ◀◀

使用箇所

すべての選択リストで使用可能。

関連するタスク

- [表示リストからの項目の選択 ページ 51](#)

SORT 基本コマンド

SORT 基本コマンドは、行コマンド・フィールドと「Status (状況)」列を除いて、CICS 選択リストに表示された中の 2 つのフィールドによって CICS 選択リストをソートします。

構文

▶▶ SORT ◀◀

使用箇所

すべての選択リストで使用可能。

関連するタスク

- [CICS 選択リストのソート ページ 52](#)

第 11 章. ZDT/CICS パネルおよびフィールド

これらのトピックでは、ほとんどの ZDT/CICS パネルをリストします。ほとんどの場合、パネル内に各フィールドの定義があり、該当する場合は各入力フィールドの有効な値の範囲が示されています。

ブラウズ、編集、表示、印刷、リストの CICS 入力パネルには、CICS システムの VTAM アプリケーションを表示するコマンド行の後に **Applid** という名前のフィールドがあります。CICS アプリケーション ID を記述する HFMCIICS DD が ISPF セッションに割り振られている場合、総称名を指定して、CICS システムのリストを表示できます。詳細については、*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド を参照してください。



注: **Applid** フィールドを変更できるのは、ISPF の下で ZDT/CICS が実行されている場合のみです。

「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネル

「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネルを使用して、ブラウズするリソースの名前を入力します。また、これらのパネルを使用して、データ・セットの論理ビューを記述するコピーブックまたはテンプレートの名前も指定します。

3つの異なる「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネルがあります。ZDT/CICS が表示する「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネルのタイプは、選択した「**CICS Resource (CICS リソース)**」によって異なります。

表 3. 「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネル

CICS リソース	表示される「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネル
ファイル	「Browse CICS File Entry (CICS ファイルのブラウズ項目の入力)」パネル
一時ストレージ	「Browse Temporary Storage Entry (一時ストレージのブラウズ項目の入力)」パネル
一時データ	「Browse Transient Data Entry (一時データのブラウズ項目の入力)」パネル

次に各「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネルを示します。その後、3つのパネルに出現する入力フィールドをすべてリストします。3つのすべてのパネルに共通していない入力フィールドについては、どのパネルのフィールドであるかを示しています。

パネルとフィールドの定義

図 13. 「Browse CICS File Entry (CICS ファイルのブラウズ項目の入力)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS Browse CICS File Entry Panel		
Input CICS VSAM File:		
File name	_____	
Sysid	_____	
Start position	_____	
Record limit	_____	Record sampling _
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Start position type	Enter "/" to select option
3 1. Above	- 1. Key	- Edit template _ Type (1,2,S)
2. Previous	2. RBA	- Include only selected records
3. None	3. Record number	
4. Create dynamic		
Command ===> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

図 14. 「Browse Temporary Storage Entry (一時ストレージのブラウズ項目の入力)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS Browse Temporary Storage Entry Panel		
Input Temporary Storage Queue:		
Queue name	_____	(Case sensitive)
Sysid	_____	
Pool name	_____	
Start position	_____	Record number
Record limit	_____	Record sampling _
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Enter "/" to select option	
3 1. Above	- Edit template	_ Type (1,2,S)
2. Previous	- Include only selected records	
3. None		
4. Create dynamic		
Command ===> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

図 15. 「Browse Transient Data Entry (一時データのブラウズ項目の入力)」 パネル

```

  Process  Options  Help
  -----
ZDT/CICS          Browse Transient Data Entry Panel

Input Transient Data Queue:
  Queue name . . . . . _____ (Case sensitive)
  Sysid . . . . . _____
  Start position . . _____ Record number
  Record limit . . . _____ Record sampling _
Copybook or Template:
  Data set name . . _____
  Member . . . . . _____ Blank or pattern for member list
Processing Options:
Copybook/template      Enter "/" to select option
 3 1. Above             _ Edit template _ Type (1,2,S)
   2. Previous         _ Include only selected records
   3. None
   4. Create dynamic

Command ==> _____ Applid _____
F1=Help      F3=Exit      F4=Expand      F7=Backward F8=Forward  F10=Left
F11=Right    F12=Cancel

```

File name (ファイル名) (CICS リソース: ファイルのみ)

ブラウズするファイルの名前 (1 から 8 文字)。これと「**Sysid (システム ID)**」が組み合わされて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

キュー名 (CICS リソース: 一時ストレージ・スペースのみ)

ブラウズする一時ストレージ・キューの名前 (1 から 16 文字)。これは、「**Sysid (システム ID)**」および「**Pool name (プール名)**」と組み合わされて使用され、一致するリソースのリストを生成します。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

CICS 一時ストレージ・キュー名には、大/小文字混合文字や印刷不能文字が含まれる場合があります。したがって、この入力フィールドには大/小文字の区別があります。

TS キュー名の 16 進値を表示または入力するには、フィールド上にカーソルを持っていき、EXPAND 基本コマンド (または同等の機能キー) を入力します。拡張ポップアップ・パネル内から HEX ON コマンドを入力し、16 進値を表示および入力します。

キュー名 (CICS リソース: 一時データのみ)

ブラウズする一時データ・キューの名前 (1 から 4 文字)。これと「**Sysid (システム ID)**」が組み合わされて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

CICS 一時データ・キュー名には、大/小文字混合文字が含まれる場合があります。したがって、この入力フィールドには大/小文字の区別があります。

Sysid (システム ID)

リソースが存在する CICS システムの ID。ブランク値の場合は、デフォルトのローカル・システムになります。

完全修飾または総称の Sysid を入力できます。総称 Sysid では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

プール名 (CICS リソース: 一時ストレージ・スペースのみ)

共用一時ストレージ・プールおよび一時ストレージ処理の TS プール名で、プールを管理する一時ストレージ・サーバーにシップされます。

完全修飾のプール名または総称プール名を入力できます。総称プール名では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

Sysid 値と TS プール名を指定すると、どちらかに一致するキューのリストが生成され、そこから処理に合ったキューを選択できます。

Start position (開始位置)

ブラウズするデータ・セットの初期開始位置。初期表示は、指定したレコードの位置です。

デフォルトは、データ・セットの先頭です。負のレコード番号を入力して、ファイルの終わりからのレコード数を示すこともできます。例えば、ファイルの最終レコードのみを表示する場合は、開始点として -1 と入力します。

「Start position (開始位置)」フィールドの形式は、選択した開始位置のタイプに応じて、数値または文字のどちらかになります。VSAM KSDS キー値として、先行ブランク、埋め込まれたブランク、末尾ブランク、コンマ、または引用符が含まれる値を入力する場合は、引用符で値を囲む必要があります。引用符で囲み、前に X または x を付けて、16 進数ストリングを入力することもできます (例えば、x'c1c2')。

このフィールドはスクロール可能であり、EXPAND 基本コマンド (または同等の機能キー) で拡張できます。 [ロング・ネーム用のスクロール可能入力および表示フィールド ページ 21](#) を参照してください。

他のすべてのデータ・セット形式では、有効な符号なしの数値を入力しなければなりません。

開始位置をファイルの終わりからのレコード数として指定するには、負のレコード番号を入力します。例えば、ファイルの最終レコードのみを表示するには、開始位置 -1 を入力します。

開始位置を指定する場合、「処理オプション」に「**開始位置タイプ**」も指定する必要があります。指定しなければ、Z Data Tools は「Start position (開始位置)」フィールドに指定した値がレコード番号であると想定します。

VSAM - KSDS: Key value (キー値)

キーが一致しない場合、指定した値より大きいキーを持つレコードが指定されます。キー値がデータ・セットの最後のレコードより大きい場合は、「Position not found」条件が戻されません。

VSAM - ESDS: RBA (相対バイト・アドレス) 値

RBA が一致しない場合、指定した値より大きい RBA を持つレコードが指定されます。RBA 値がデータ・セットの最後のレコードの値より大きい場合は、「Position not found 位置が見つかりません」条件が戻されます。

VSAM - RRDS: スロット値

データ・セット内の最後に使用されたスロットよりスロット番号が大きい場合は、「Position not found」条件が戻されます。

キュー --- 一時ストレージと一時データ

キューの場合、開始位置はレコード番号です。指定されたレコード番号がキュー内のレコード数より大きい場合は、「Position not found」条件が戻されます。

Record limit (レコード制限)

このフィールドでは、データ・セットから取得するレコードの数 (開始点または先頭からの数) を制限するので、編集または表示できる範囲がデータ・セットの一部だけに絞られます。レコード制限にキーワード "MEMORY" を使用して、取り出されるレコードの数を使用可能な仮想ストレージに十分に収まる数に制限できます。

デフォルトの開始位置は、データ・セットの先頭です。

Record Sampling (レコード・サンプリング)

データ・セット上でレコード・サンプリングを実行するかどうかを指示します。このオプションを選択すると、ZDT/CICS は「Record Sampling (レコード・サンプリング)」パネルを表示します。

Copybook or Template (コピーブックまたはテンプレート)

データの形式設定に使用するテンプレートまたはコピーブックのデータ・セット名およびメンバー名。



注: コピーブックの場合、これは CA-Panvalet ライブラリーの名前、または Library Management System Exit を使ってアクセスされるライブラリーの名前にすることができます。

Copybook/template usage (コピーブック/テンプレートの使用法)

データの論理ビューに、テンプレートを使用するかどうかを指示します。

1

パネルで指定されたテンプレートを使用します (あるいは指定されたコピーブックをコンパイルしてテンプレートにしてから、それを使用します)。

2

最後にデータ・セットに関連付けられたテンプレートを使用します。

3

この機能で論理ビューは使用しません。論理ビュー

4

動的テンプレートを作成します。動的テンプレート

Start position type (開始位置タイプ)(CICS リソース: ファイルのみ)

「Start position (開始位置)」フィールドに入力された値を ZDT/CICS が解釈する方法を決定します。「Start position type (開始位置タイプ)」が指定されていない場合、ZDT/CICS は、値をレコード番号とみなします。

1. KEY

データ・セットが VSAM KSDS、VSAM AIX®、または VSAM PATH であるときにのみ有効です。

2. RBA

データ・セットが CICS VSAM ESDS であるときにのみ有効です。

3. Record Number (レコード番号)

デフォルトです。サポートされているデータ・セットのすべてのタイプに有効です。

Edit template (テンプレートの編集)

テンプレートを使用する前に編集するかどうかを指示します。テンプレートは、形式、選択、データ作成属性、および出力コピー・テンプレートの再形式設定情報を変更する必要があるときに編集します。

Type (1,2,S) (タイプ (1、2、S))

実行する編集のタイプ。

以下のいずれかの値を指定できます。

1

最初にフィールド別に「Record Identification Criteria (レコード ID 基準)」を編集します。

2

最初にフィールド別に「Record Selection Criteria (レコード選択基準)」を編集します。

S

拡張コピーブック選択機能を使用してテンプレートのソース定義を編集します。

動的テンプレートを編集する場合、このオプションは無視されます。

Include only selected records (選択したレコードのみを組み込む)

ZDT/CICS エディター・セッションがストレージ内 (レコード制限 “MEMORY” を使用) であるか、「Record Sampling (レコード・サンプリング)」を選択している場合、編集またはブラウズ・セッションにはテンプレート処理で選択されたレコードのみが組み込まれます。

テンプレートが使用されていない場合、このオプションによって ZDT/CICS エディター・セッションの操作が変更されることはありません。

Use I/O exit (I/O 出口を使用)

圧縮または暗号化されたデータ・セットにユーザー I/O 出口を指定できます。

このオプションには2つのフィールドがあります。このオプションを選択するには、「Use I/O exit (I/O 出口を使用)」の左側にあるフィールドに「/」を入力します。これを選択すると、このフィールド・ラベルの右側にあるフィールドで、使用する出口を指定できます。



1. このフィールドが表示されるのは、Z Data Tools がオプション **USEIOX=ENABLE** を指定してインストールされ、かつ **「Exit enabled (出口使用可能)」** フィールド (「Set System Processing Options (システム処理オプションの設定)」パネル内) が YES に設定されている場合のみです。これらのオプションのいずれかにデフォルトが指定された場合は、「Use I/O exit (I/O 出口を使用)」の右側のフィールドにそれが表示されます。
2. I/O 出口は、使用中のデータ・セットを処理するためにのみ、使用できます。データ・セットの形式設定に使用しているコピーブックやテンプレートを処理するために使用することはできません。

親パネル

- [「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」](#) パネル ページ 122 (コマンド行で DSB と入力する場合)
- CICS リソースのリストで B プレフィックス・コマンドを使用する場合

子パネル

次に表示されるパネルは、「Browse CICS File Entry (CICS ファイルのブラウズ項目の入力)」パネルで選択したオプションによって異なります。

関連するタスク

- [CICS リソースの表示および変更 ページ 40](#)

「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネル

「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネルを使用して、パネル・カラー、輝度、および強調表示を調整します。

パネルとフィールドの定義

図 16. 「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」 パネル

```

Change CUA Attributes
-----
Command ==> -----
Change color, intensity, and highlighting attributes for panel elements.
Press F3 (Exit) to save changes or F12 (Cancel) to exit without saving.
Press F2 (Reset) to restore CUA defaults.

Panel Element          Color          Intensity     Highlight
-----
AB Selected Choice     YELLOW        LOW           NONE
AB Separator Line     BLUE          LOW           NONE
AB Unavailable Choices BLUE          LOW           NONE
AB Unselected Choices WHITE         HIGH          NONE
Action Message Text   RED           HIGH          NONE
Background Panel Border BLUE          HIGH          NONE
Caution Text         YELLOW        HIGH          NONE
Choice Entry Field    TURO         LOW           USCORE
Column Heading        BLUE          HIGH          NONE
Descriptive Text      GREEN        LOW           NONE
Emphasized Text       TURO         HIGH          NONE
Error Emphasis        YELLOW        HIGH          REVERSE

F1=Help  F2=Reset  F3=Exit  F7=Backward  F8=Forward  F12=Cancel
    
```

親パネル

- 任意の ZDT/CICS パネル。

子パネル

- なし。

関連するタスク

- [パネル・カラー、輝度、および強調表示の変更 ページ 35](#)

「CICS Enqueue Resource (CICS エンキュー・リソース)」 パネル

「CICS Enqueue Resource (CICS エンキュー・リソース)」 パネルを使用して、選択されたエンキューの追加の CICS 属性を表示します。このパネルのフィールドは変更できません。

パネルとフィールドの定義

図 17. 「CICS Enqueue Resource (CICS エンキュー・リソース)」パネル

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS  CICS Enqueue Resource FMLOCK:TS  TEST

General
ENQ resource name  FMLOCK:TS  TEST

Resource length . 255
Duration . . . . . 2454
Enqfails . . . . . 0
Enscope . . . . .
Network UOW . . . . . ..AUIBMQXP.TCPS1355^5.!V...
Program . . . . . HFM3CICS
Purgeability . . . . . Not purgeable
Relation . . . . . OWNER
State . . . . . ACTIVE
Sysid . . . . .
Task . . . . . 0000241
Transaction . . . . . HFM
Type . . . . . EXECENQ
UOW . . . . . BE5FF5425AE5FD02
Userid . . . . . SAMPLEID
Qualifier . . . . .

Qualifier length . 0

Command ==>
F1=Help      F3=Exit      F4=CRetriev F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel

```

ENQ resource name (ENQ リソース名)

エンキュー・ロックに関連付けられたリソース名 (1 から 255 文字)。

Resource length (リソース名の長さ)

エンキュー・リソース名の長さ。

Duration (期間)

エンキューが現在の状態になってからの経過秒数。

Enqfails (エンキュー失敗)

保持されたエンキューの場合、エンキューが最後に獲得されて以降、このリソースに 試行されて失敗したエンキューの数。

Enscope (エンキュー・スコープ)

エンキューがシスプレックス有効範囲を持っている場合、この CICS 領域によって発行されたシスプレックス全体にわたるエンキュー要求に限定するために使用された 4 文字の名前が戻されます。それが領域有効範囲を持っている場合、ブランクが戻されます。

Network UOW (ネットワーク UOW)

エンキューを発行した UOW のネットワーク全体の LU6.2 ID (1 から 27 文字)。

Program (プログラム)

「Transaction (トランザクション)」フィールドに指定された トランザクションを実行するタスクによって呼び出される最初のプログラムの名前 (1 から 8 文字)。

Purgeability (パージ可能性)

エンキューを発行した UOW に関連付けられたタスクを、CICS がパージできるかどうか。

Relation (関係)

戻されるデータが、エンキューの所有者またはエンキューを待機しているタスク に関連するかどうか。

State (状態)

エンキューの状態。

Sysid (システム ID)

エンキューが存在する CICS システムのシステム ID。ブランク値は、エンキューがローカル・システムに存在することを示します。

Task (タスク)

エンキューを発行した UOW に関連付けられたタスクの番号。

Transaction (トランザクション)

エンキューを発行した UOW に関連付けられたトランザクションの ID (1 から 4 文字)。

タイプ

エンキューのリソースのタイプ。

UOW

エンキューを発行した UOW のローカル ID (16 文字)。

Userid (ユーザー ID)

「Task (タスク)」フィールドに指定されたタスクに関連付けられたユーザーの ID (1 から 8 文字)。

Qualifier (修飾子)

エンキューに関連付けられたリソースをさらに特定する修飾子 (0 から 255 文字)。オプション。

Qualifier length (修飾子の長さ)

オプションの修飾子の長さ。

親パネル

- ・ [「CICS Enqueue Selection List \(CICS エンキュー選択リスト\)」](#) パネル ページ 89

子パネル

- ・ なし。

関連するタスク

- [CICS エンキューの操作 ページ 54](#)

「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネル

「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネルは、前のパネルで指定されたリソース名とシステム ID 値に一致するすべての CICS エンキューを表示します。標準のスクロールが適用され、列のすべてをソートできます。次のタスクも実行できます。

- CICS エンキューに関連する属性を表示します (A または S 接頭部コマンド)
- 選択された CICS エンキューを発行したタスクに、PURGE を発行します (P 接頭部コマンド)
- 選択された CICS エンキューを発行したタスクに、FORCEPURGE を発行します (F 接頭部コマンド)

パネルとフィールドの定義

図 18. 「CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト)」パネル

Process	Options	Help				
Z Data Tools		CICS Enqueue Selection List			Row 00001 of 00001	
Resource name (first 36 characters)		Task	Tran	Program	User	Purg +
* _____		_____	* _____	* _____	* _____	* _____
_ FMLOCK:TS TS02		165	ZDT	HFM3CICS	CICSUSER	NO
**** End of data ****						
Command ==> _____ Scroll PAGE						
F1=Help		F3=Exit	F4=CRetriev	F5=RFind	F7=Backward	F8=Forward
F10=Left		F11=Right	F12=Cancel			

接頭部域 (最初の列)

接頭部域を使用して、次のコマンドを入力できます。

A

「CICS Enqueue Resource (CICS エンキュー・リソース)」パネルを表示します。そこから、指定された CICS リソース、CICS ファイル、または CICS エンキューに関連付けられた CICS 情報を、表示および変更できます。一時データ区画内および区画外のみ。

F

選択された CICS エンキューを発行したタスクに、FORCEPURGE を発行します。CICS エンキューのみ。

P

CICS ファイルまたはキューの印刷機能が呼び出されます。オプション 3.4 のみ。

CICS エンキューの場合、選択された CICS エンキューを発行したタスクに、PURGE が発行されます。

S

エンキューの場合、A (Attributes (属性)) 接頭部コマンドが代用されます。他の機能選択リストの場合、これは、呼び出し機能のリソースを選択します。

Resource Name (リソース名)

エンキュー・ロックに関連付けられたリソース名の最初の 36 文字。完全なリソース名は、255 文字を含むことができ、A 接頭部コマンドを入力して表示できます。

Task (タスク)

エンキューを発行した UOW に関連付けられたタスクの番号。

Tran (トランザクション)

エンキューを発行した UOW に関連付けられたトランザクションの ID (1 から 4 文字)。

Program (プログラム)

「Tran (トランザクション)」フィールドに指定されたトランザクションを実行するタスクによって呼び出される最初のプログラムの名前 (1 から 8 文字)。

User (ユーザー)

「Task (タスク)」フィールドに指定されたタスクに関連付けられたユーザーの ID (1 から 8 文字)。

Purge (パージ)

エンキューを発行した UOW に関連付けられたタスクを、CICS がパージできるかどうか (Purgeability (パージ可能性))。

SYS (システム)

エンキューが存在する CICS システムのシステム ID。ブランク値は、エンキューがローカル・システムに存在することを示します。

親パネル

- [「List CICS Resources Entry \(CICS リソースのリスト項目の入力\)」](#) パネル ページ 120
- CICS リソース名を指定するときにワイルドカードを使用する、いずれかの ZDT/CICS 入力パネル。

子パネル

- [「CICS Enqueue Resource \(CICS エンキュー・リソース\)」](#) パネル ページ 86

関連するタスク

- CICS エンキューの操作 ページ 54

「CICS File Selection List (CICS ファイル選択リスト)」パネル

「ZDT/CICS File Selection List (ファイル選択リスト)」パネルは、前のパネルで指定されたファイル名とシステム ID 値に一致するすべてのファイルを表示します。標準のスクロールが行われ、「Status (状況)」列以外のいずれの列もソートできません。次のタスクも実行できます。

- ファイルのオープンとクローズを行い、様々なファイル属性を変更します。
- データ・セット名に関連付けられたカタログ情報を表示します。
- ファイルに対して、さまざまな Z Data Tools 機能呼び出します。

パネルとフィールドの定義

図 19. 「CICS File Selection List (CICS ファイル選択リスト)」パネル

Process	Options	Help

Z Data Tools	CICS File Selection List	Row 00001 of 00002
File	Data Set Name	Type O E R U A B D SY +
MO*	*	* P N E P D R E * _
		E A A D D O L
_ MODEL	HFM.REGTEST.CICS.MODELS.KSDS	KSDS O E R _ _ B _
_ MODELS	HFM.REGTEST.RFM0029.MODELS.KSDS	KSDS O E R _ _ B _
****	End of data ****	
Command ==> _____ Scroll PAGE		
F1=Help	F3=Exit	F4=CRetriev F5=RFind F7=Backward F8=Forward
F10=Left	F11=Right	F12=Cancel

接頭部域 (最初の列)

接頭部域を使用して、次のコマンドを入力できます。

A

ZDT/CICS は「File Information (ファイル情報)」パネルを表示します。そこから、指定された CICS リソース、CICS ファイル、または CICS エンキューに関連付けられた CICS 情報を、表示および変更できます。一時データ区画内および区画外のみ。

B

CICS ファイルに対して BROWSE コマンドを実行します。オプション 3.4 のみ。

E

CICS ファイルに対して EDIT コマンドを実行します。オプション 3.4 のみ。

I

z/OS® データ・セットが CICS リソースに関連付けられていれば、CICS リソースに対して INFO コマンドを実行します。このコマンドは、データ・セットの詳細を表示し、VSAM 項目については、統計および割り振り情報も表示します。

S

オプション 3.4 の場合、ファイルおよびキューに対しては E (Edit (編集)) 接頭部コマンドが代用されます。エンキューの場合、A (Attributes (属性)) 接頭部コマンドが代用されます。他の機能選択リストの場合、これは、呼び出し機能のリソースを選択します。

P

CICS ファイルまたはキューの印刷機能が呼び出されます。オプション 3.4 のみ。

CICS エンキューの場合、選択された CICS エンキューを発行したタスクに、PURGE が発行されます。

V

CICS リソースに対して VIEW コマンドを実行します。オプション 3.4 のみ。

X

z/OS® データ・セットが CICS リソースに関連付けられていれば、CICS リソースに対して EXTENTS コマンドを実行します。このコマンドは、データ・セットの統計およびエクステンション情報を表示します。

ファイル

CICS ファイル名 (1 から 8 文字)。

Data set name (データ・セット名)

関連付けられた z/OS® データ・セットの名前 (使用可能な場合)。

タイプ

関連付けられた z/OS® データ・セットのタイプ。クローズしたファイルの場合、値は VSAM または BDAM です。VSAM ファイルがオープンであれば、「**Type (タイプ)**」には、VSAM ファイルのタイプを記述する KSDS、ESDS、AIX、PATH、RRDS、VRDS 値が含まれます。CICS データ・テーブルの場合、「**Type (タイプ)**」には TABL が含まれます。

Status

CICS ファイル属性と、ファイルの現在の状況を示します。状況は、上書きして Enter キーを押すと、変更できます。

Ope

オープン状況は、文字を「O」(オープン)または「C」(クローズ)で上書きして、変更できません。

Ena

使用可能状況は、表示された文字を「E」(使用可能)または「D」(使用不可)で上書きして、変更できます。「U」状況は、ファイルに対してクローズが発行されたことがある場合にのみ表示されます。

Rea

このフィールドは、値「R」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、表示された文字に「R」を入力して状況を設定するか、ブランクにしてファイルに対する読み取りを使用不可にします。



注: 読み取り状況は、ブラウズ (**BRO**)、更新 (**UPD**)、および削除 (**DEL**) もクリアされたときにのみクリアできます。

Upd

このフィールドは、値「U」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、表示された文字に「U」を入力して状況を設定するか、ブランクにしてファイルに対する更新を使用不可にします。

Add

このフィールドは、値「A」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、表示された文字に「A」を入力して状況を設定するか、ブランクにしてファイルに対する ADD (追加) を使用不可にします。

Bro

このフィールドは、値「B」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、表示された文字に「B」を入力して状況を設定するか、ブランクにしてファイルに対する BROWSE (ブラウズ) を使用不可にします。

Del

このフィールドは、値「D」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、表示された文字に「D」を入力して状況を設定するか、ブランクにしてファイルに対する DELETE (削除) を使用不可にします。

Sys

そこでファイルが定義された CICS システムのシステム ID。

親パネル

- [「List CICS Resources Entry \(CICS リソースのリスト項目の入力\)」パネル ページ 120](#)
- CICS リソース名を指定するときにワイルドカードを使用する、いずれかの ZDT/CICS 入力パネル。

子パネル

- [「File Information \(ファイル情報\)」パネル ページ 106](#)

関連するタスク

「CICS Temporary Storage Selection List (CICS 一時ストレージ選択リスト)」パネル

「CICS Temporary Storage Selection List (CICS 一時ストレージ選択リスト)」パネルを使用して、一致する一時ストレージ・キューをすべてリストします。

パネルとフィールドの定義

図 20. 「CICS Temporary Storage Selection List (CICS 一時ストレージ選択リスト)」パネル

Process	Options	Help								
Z Data Tools				CICS Temporary Storage Selection List					Row 00001 of 00002	
Queue	Loc	Items	Size	Max	Min	Tran	Last	SYS	Pool	
*	*					*		*	*	
- TS01	AUX	1	128	128	128	HFM	666			
- TS02	AUX	1	128	128	128	HFM	567			
**** End of data		****								
Command ==>										
F1=Help	F3=Exit	F4=CRetriev	F5=RFind	F7=Backward	F8=Forward	Scroll PAGE				
F10=Left	F11=Right	F12=Cancel								

接頭部域 (最初の列)

接頭部域を使用して、次のコマンドを入力できます。

B

CICS キューに対して BROWSE コマンドを実行します。

D

一時ストレージ・キューを削除するか、一時データ区画内キューのすべての項目を削除します。

E

CICS キューに対して EDIT コマンドを実行します。

P

一時ストレージ・キューを印刷します。

S

単一の CICS キューを選択して、現在の機能によって処理されている名前を戻します。

V

CICS リソースに対して VIEW コマンドを実行します。

Queue (キュー)

CICS キュー ID (1 から 16 文字)。

Loc (場所)

一時ストレージ・キューの場所:

AUX

一時ストレージ・キューは、CICS 一時ストレージ VSAM データ・セット内にあります。

MAIN (メイン)

一時ストレージ・キューは、主ストレージ内にあります。

Items (項目)

現在、このキューにある項目の数。

Size (サイズ)

キューのすべての項目の長さの合計。

Max

キュー内の最大の項目の長さ。

Min (最小)

キュー内の最小の項目の長さ。

Tran (トランザクション)

キューを作成したトランザクションの ID。

Last (間隔)

キューが最後に参照されてからの経過秒数。

SYS (システム)

そこでファイルが定義された CICS システムのシステム ID。

Pool (プール)

共用 TS プール名。非共用プールの場合、これはブランクです。

親パネル

- [「List CICS Resources Entry \(CICS リソースのリスト項目の入力\)」](#) パネル ページ 120
- CICS リソース名を指定するときにワイルドカードを使用する、いずれかの ZDT/CICS 入力パネル。

子パネル

- なし。

関連するタスク

- [印刷不能文字のあるキュー名の表示 ページ 50](#)

「CICS Transient Data Queue Selection List (CICS 一時データ・キュー選択リスト)」パネル

「CICS Transient Data Queue Selection List (CICS 一時データ・キュー選択リスト)」パネルは、前のパネルで指定されたキュー名とシステム ID 値に一致するすべてのキューを表示します。標準のスクロールが行われ、Status (状況) の列以外のすべての列をソートできます。次のタスクも実行できます。

- オープン、クローズ、および様々なキュー属性の変更を行います。
- 区画外データ・セットのカタログ情報を表示します。
- キューに対して、さまざまな Z Data Tools 機能呼び出します。

パネルとフィールドの定義

図 21. 「CICS Transient Data Queue Selection List (CICS 一時データ・キュー選択リスト)」パネル

Process	Options	Help																							
Z Data Tools												CICS Transient Data Queue Selection List										Row	00001	of	00051
Queue	Type	SYS	INDQ	Tran	Term	User	Trig	Items	DDNam	DSP	O	E	I	O	+										
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*										
																	E A P T K								
— CADL	IND		CSSL																						
— CAD0	IND		CSSL																						
— CAIL	IND		CSSL																						
— CCPI	IND		CSSL																						
— CCSE	IND		CCSO																						
— CCS0	EXT								COU	SHR	O	E		0											
— CCZM	IND		CSSL																						
— CDBC	IND		CSSL																						
— CDB2	IND		CSSL																						
— CDUL	IND		CSSL																						
— CEJL	IND		CSSL																						
— CESE	EXT								CEEMSG	MOD	O	E		0											
— CES0	EXT								CEEOUT	MOD	O	E		0											
— CIE0	IND		CSSL																						
Command ==>												Scroll PAGE													
F1=Help	F3=Exit		F4=CRetriev		F5=RFind		F7=Backward		F8=Forward																
F10=Left	F11=Right		F12=Cancel																						

接頭部域 (最初の列)

接頭部域を使用して、次のコマンドを入力できます。

A

指定された CICS リソース、CICS ファイル、または CICS エンキューに関連付けられた CICS 情報を、表示および変更します。一時データ区画内および区画外のみ。

B

CICS TD キューに対して BROWSE コマンドを実行します。

D

CICS リソースを削除します。

E

CICS キューに対して EDIT コマンドを実行します。

I

z/OS データ・セットが CICS リソースに関連付けられていれば、CICS リソースに対して INFO コマンドを実行します。このコマンドは、データ・セットの詳細を表示し、VSAM 項目については、統計および割り振り情報も表示します。

P

CICS リソースを印刷します。

S

オプション 3.4 の場合、ファイルおよびキューに対しては E (Edit (編集)) 接頭部コマンドが代用されます。エンキューの場合、A (Attributes (属性)) 接頭部コマンドが代用されます。他の機能選択リストの場合、これは、呼び出し機能のリソースを選択します。

V

CICS リソースに対して VIEW コマンドを実行します。

X

z/OS データ・セットが CICS リソースに関連付けられていれば、CICS リソースに対して EXTENTS コマンドを実行します。このコマンドは、データ・セットの統計およびエクステンション情報を表示します。

Queue (キュー)

CICS キュー ID (1 から 4 文字)。

タイプ

キューのタイプ:

IND (間接)

間接キュー

EXT (区画)

区画外キュー

INT

区画内キュー

SYS (システム)

そこでファイルが定義された CICS システムのシステム ID。

INDQ (間接キュー)

(間接) 間接キューが指すキュー名 (1 から 4 文字)。他のタイプのキューの場合、この列はブランクです。

Tran (トランザクション)

(区画内) CICS がキューを処理するタスクを自動的に開始するときに実行されるトランザクション (1 から 4 文字)。この列は、区画内キューにのみ使用され、他のタイプのキューの場合は保護されています。トランザクション ID は、有効な CICS トランザクション文字で上書きできます。

TERM (端末)

(区画内) キューに関連付けられた端末またはセッション (1 から 4 文字)。ファシリティーが端末であれば、この値を有効な端末 ID で上書きできます。この列は、端末ファシリティーの区画内キューにのみ使用されます。

User (ユーザー)

(区画内) キューに関連付けられたユーザー ID (1 から 8 文字)。ファシリティーが端末でなければ、この値を有効なユーザー ID で上書きできます。この列は、端末ファシリティーでない区画内キューにのみ使用されます。

Trig (トリガー)

(区画内) キューがこの項目数に到達すると自動トランザクション開始 (ATI、automatic transaction initiation) が発生する項目数。この値は有効な数で上書きできます。

Items (項目)

(区画内) 現在、このキューにある項目の数。

DDNam (DD 名)

(区画外) 区画外キューの DD 名。

DSP

(区画外) 区画外データ・セットの後処理。

OPE

(区画外) オープン状況は、文字を「O」(オープン) または「C」(クローズ) で上書きして、変更できます。

ENA

使用可能状況は、表示された文字を「E」(使用可能) または「D」(使用不可) で上書きして、変更できます。このフィールドは区画外および区画内キューにのみ使用されます。

INP (入力)

(区画外) 区画外データ・セットが入力用にオープンであることを示します。

OUT

(区画外) 区画外データ・セットが出力用にオープンであることを示します。

BCK (後方)

(区画外) キューが入力用に定義され、逆方向に読み取られることを示します。

EMP (空またはフル)

(区画外) CICS が、キューについて、空 (E) またはフル (F) の状況を検出したことを示します。

親パネル

- [「List CICS Resources Entry \(CICS リソースのリスト項目の入力\)」](#) パネル ページ 120
- CICS リソース名を指定するときにワイルドカードを使用する、いずれかの ZDT/CICS 入力パネル。

子パネル

- [「Extrapartition Queue \(区画外キュー\)」](#) パネル ページ 103
- [「Intrapartition Queue \(区画内キュー\)」](#) パネル ページ 116

関連するタスク

「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネル

「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルを使用して、編集するリソースの名前を入力します。また、これらのパネルを使用して、データ・セットの論理ビューを記述するコピーブックまたはテンプレートの名前も指定します。

3つの異なる「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルがあります。ZDT/CICS が表示する「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルのタイプは、「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」 パネルで選択した「CICS Resource (CICS リソース)」によって異なります。

表 4. 「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネル

CICS リソース	表示される「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネル
ファイル	「Edit CICS File Entry (CICS ファイルの編集項目の入力)」 パネル
一時ストレージ	「Edit Temporary Storage Entry (一時ストレージの編集項目の入力)」 パネル
一時データ	「Edit Transient Data Entry (一時データの編集項目の入力)」 パネル

「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルは、「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」 パネルとほとんど同じですが、さらに次のオプションが追加されています。

- **Inplace edit (インプレース編集)**
- **Lock resource (リソースのロック)**
- **Name (名前)**
- **Create audit trail (監査証跡の作成)**

次に各「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルを示します。その後、上記の追加された4つの入力フィールドの説明が続きます。このパネルのフィールドについては、[「Browse Entry \(ブラウズ項目の入力\)」](#) パネル ページ 79のフィールド定義を参照してください。

パネルとフィールドの定義

図 22. 「Edit CICS File Entry (CICS ファイルの編集項目の入力)」 パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Edit CICS File Entry Panel	
Input CICS VSAM File:		
File name	_____	
Sysid	_____	
Start position	_____	
Record limit	_____	Record sampling _____
Inplace edit	_____	Prevent inserts and deletes _____
Lock resource	_____	Name _____
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Start position type	Enter "/" to select option
3 1. Above	1. Key	— Edit template Type (1,2,S)
2. Previous	2. RBA	— Include only selected records
3. None	3. Record number	— Create audit trail
4. Create dynamic		
Command ==> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

図 23. 「Edit Temporary Storage Entry (一時ストレージの編集項目の入力)」 パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Edit Temporary Storage Entry Panel	
Input Temporary Storage Queue:		
Queue name	_____	(Case sensitive)
Sysid	_____	
Pool name	_____	
Start position	_____	Record number
Record limit	_____	Record sampling _____
Inplace edit	_____	Prevent inserts and deletes _____
Lock resource	_____	Name _____
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Enter "/" to select option	
3 1. Above	— Edit template	Type (1,2,S)
2. Previous	— Include only selected records	
3. None	— Create audit trail	
4. Create dynamic		
Command ==> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

図 24. 「Edit Transient Data Entry (一時データの編集項目の入力)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Edit Transient Data Entry Panel	
Input Transient Data Queue:		
Queue name	_____	(Case sensitive)
Sysid	_____	
Start position	_____	Record number
Record limit	_____	Record sampling _
Inplace edit	_____	Prevent inserts and deletes
Lock resource	_____	Name _____
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Enter "/" to select option	
3 1. Above	_____	Edit template _ Type (1,2,S)
2. Previous	_____	Include only selected records
3. None	_____	Create audit trail
4. Create dynamic		
Command ==> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

Inplace edit (インプレース編集)

このオプションを選択すると、編集セッションでレコードの挿入と削除ができません。

キューに対してインプレース編集が選択されていないければ、ZDT/CICS は、データの再書き込みができるように補助ファイルを使用します。

次を使用する場合は「**Inplace edit (インプレース編集)**」を選択する必要があります。

- セグメント化レコード・タイプのデータ・セット (選択したテンプレートに示されたとおりに)
- レコード・サンプリング
- “MEMORY” のレコード制限
- NOREUSE として定義された VSAM データ・セット

Lock resource (リソースのロック)

編集セッションの間に、対応する「**Name (名前)**」フィールドに指定されたエンキュー・リソース名で CICS エンキューが発行されます。エンキューは、ZDT/CICS を実行しているローカル・システム上で発行されます。

TS および TD キューを編集するとき、ZDT/CICS は、ロックの設定にかかわらず発生する CICS エンキューも発行します。エンキューは、ZDT/CICS を実行しているローカル・システム上で発行されます。これにより、同じシステム上の複数の ZDT/CICS インスタンスによる TS または TD キューに対する同時更新アクセスが防止されます。ZDT/CICS は、以下の命名規則を内部で生成された CICS エンキュー・リソース名:

FMLLOCK:xxsysidname に対して使用します。各部の意味は以下のとおりです。

xx

TD または TS。

sysid

リソースが存在する CICS システムの ID。ブランクの値は、リソースがローカル・システムに存在することを示します。

name

キューの名前。

Name (名前)

「**Lock resource (リソースのロック)**」フィールドが選択されると、ZDT/CICS は、編集セッションの間にこのフィールドに指定されたリソース名で CICS エンキューを発行します。ZDT/CICS は、使用されていない文字にはすべてブランクが埋め込まれた、リソース長が 255 の CICS エンキューを発行します。

Create audit trail (監査証跡の作成)

編集セッションで正常に行われたすべてのデータ変更の監査報告書を ZDT/CICS が生成するかどうかを決定します。

このオプションの表示は、SAF 規則で制御された監査が有効かどうかによって異なります。「*Z Data Tools* ユーザズ・ガイドおよびリファレンス (DB2 データ用)」に記載されている『SAF 規則で制御された監査』を参照してください。

このオプションを変更できるかどうかは、インストール・オプション (HFM3POPT マクロ内) によって異なります。「**Create audit trail (監査証跡の作成)**」オプションは、次のように扱われます。

- システム管理者が監査ログを強制した場合は、このパネルの「**Create audit trail (監査証跡の作成)**」オプションが無視されます。
- システム管理者が監査ログを強制しなかった場合は、特定の編集タスクに対してこのオプションをオンまたはオフに設定できます。現在の編集セッションの監査報告書を生成するには、オプション入力フィールドに「/」を入力します。

「Audit Trail (監査証跡)」オプションの設定について詳しくは、「*Z Data Tools* カスタマイズ・ガイド」を参照するか、またはシステム管理者に問い合わせてください。

親パネル

- [「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」](#) パネル ページ 122

子パネル

次に表示されるパネルは、「Edit Entry (編集項目の入力)」パネルで選択したオプションによって異なります。

関連するタスク

- [CICS リソースの表示および変更](#) ページ 40

「Extrapartition Queue (区画外キュー)」パネル

「Extrapartition Queue (区画外キュー)」パネルは、関連付けられたキューの CICS 情報を表示します。このパネルからキューの状況を変更できます。

このパネルの状況フィールドを変更でき、また、その他の情報を見ることもできます。状況変更が失敗した場合、CICS コマンド (func=) とエラー・コードが表示されます。このコマンドとエラー・コードについては、「CICS Application Programming Reference」の コマンド・コード・セクションに説明があります。要求が失敗した場合、表示された状況は、キューの現在の状況を表します。

パネルとフィールドの定義

図 25. 「Extrapartition Queue (区画外キュー)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Extrapartition Queue CAFF	
General	Open	Enabled
Status	OPEN	ENABLED
Sysid		
DDname	CAFF	
Disposition	SHR	
Sysout Class	*	
Record Format	V	
Record Length	133	
Blocksize	137	
Attributes	OUTPUT IGNORERR	
Command ==> _____ Scroll <u>CSR</u>		

Open (オープン)

オープン状況は、先頭文字を「O」(オープン)または「C」(クローズ)で上書きして、変更できます。次の状況値が表示されます。

OPEN (オープン)

キューはオープンの状態です

OPENING (オープン処理中)

キューはオープンしているところです

CLOSED (クローズ済み)

キューはクローズの状態です

CLOSING (クローズ処理中)

キューはクローズしているところです

Enabled (使用可能)

使用可能状況は、先頭文字を「E」(使用可能)または「D」(使用不可)で上書きして、変更できます。次の状況値が表示されます。

DISABLED (無効)

キューは使用不可です

DISABLING (無効処理中)

キューは使用不可にされているところです

PENDING (処理待ち)

キューは保留中です

ENABLED (有効)

キューは使用可能です

Sysid (システム ID)

この値は、Z Data Tools が実行されているローカル・システムの場合は空白です。リモート・リソースの接続 ID を表します。

DDname

始動 JCL の中で使用されるデータ・セット名を指す 8 文字の ID (必要があれば空白が埋め込まれます)。

Data set name (データ・セット名)

関連付けられた QSAM データ・セットを示す 1 から 44 文字の名前、または DUMMY データ・セット。

Disposition (後処理)

関連付けられたデータ・セットの後処理は次のとおりです。

MOD

システムは、まず、データ・セットが存在すると仮定します。既存のデータ・セットの場合、MOD によって、データ・セット内の最終レコードの後ろに読み取り/書き込み機構が位置付けられます。読み取り/書き込み機構は、データ・セットが出力用にオープンされるたびに最終レコードの後ろに位置付けられます。システムが DD ステートメントにあるデータ・セットのボリューム情報をカタログの中で見つけることができないか、前のステップからデータ・セットと一緒に渡された場合、システムは、データ・セットがこのジョブ・ステップの中で作成されると仮定します。新規データ・セットの場合、MOD によって、データ・セットの先頭に読み取り/書き込み機構が位置付けられます。

NOTAPPLIC (適用なし)

このオプションは、キューがオープンではないか、キューが区画外キューでないため、適用されません。

OLD

データ・セットは、このジョブ・ステップの前に存在しました。

SHR (共有)

データ・セットは、このジョブ・ステップの前に存在し、他の並行ジョブが読み取ることができます。

Sysout Class (SYSOUT クラス)

関連付けられた SYSOUT データ・セットのクラス属性を示す単一文字。

Record Format (レコード・フォーマット)

FIXED または VARIABLE で、キューが固定長または可変長レコードであることを示します。

Record length (レコード長)

固定長レコードのキューのレコード長(バイト数)、または可変長レコードのキューの最大レコード長。

Blocksize (ブロック・サイズ)

ブロックの長さ。バイトで表し、範囲は 1 から 32767 です。

Attributes (属性)

キューの属性を記述します。

BACKWARD (逆方向)

入力キューは逆方向に読み取られます

INPUT

これは入力キューです

OUTPUT

これは出力キューです

EMPTY

キューは空です

FULL (フル)

キューはいっぱいです

IGNORERR

入出力エラーを引き起こすブロックは受け入れられます

SKIP

入出力エラーを引き起こすブロックはスキップされます

LEAVE (終了)

現在のテープは、データ・セットの論理終わりに位置付けられます

REREAD (再読み込み)

現在のテープは、データ・セットを再処理するために位置付けられます

親パネル

- ・ [「CICS Transient Data Queue Selection List \(CICS 一時データ・キュー選択リスト\)」](#) パネル ページ 96

子パネル

- ・ なし。

関連するタスク

「File Information (ファイル情報)」 パネル

「File Information (ファイル情報)」 パネルを使用して、関連付けられたファイルの CICS ファイル制御情報を表示します。このパネルから、ファイルの状況および様々な属性を変更できます。

パネルとフィールドの定義

図 26. 「File Information (ファイル情報)」 パネル

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS  File Information FMKSDS5

Changeable:      Open      Enabled  Read Update Add Browse Delete
Status . . . . . OPEN      ENABLED  READ UPDATE ADD BROWSE DELETE
Data Set Name . . HFM.CICS.TEST.KSDS.FIXED.RECOVER'
Strings . . . . . 5
Disposition      RLS access          Read Integrity
 1 1. SHR          2 1. Not applicable  1 1. Not applicable
   2. OLD          2. No RLS           2. Consistent
                   3. RLS              3. Repeatable
                   4. Uncommitted

General:
Sysid . . . . .
Type . . . . . KSDS
Key position . . 0
Key length . . . 11
LSR Pool value . 0
Record size . . 80
Journal number . 0
Attributes . . . FWDRECOV RECOV LOCKING

Command ==> _____ Scroll CSR
    
```

Changeable (変更可能)

パネルのこのセクションには、変更できるファイル属性が含まれます。変更を要求するとファイルはクローズし、そのあと、要求した属性変更が行われます。要求が失敗した場合、CICS コマンド (func=) とエラー・コードが表示されます。このコマンドとエラー・コードについては、「CICS Application Programming Reference」に記載されています。要求が失敗した場合、表示された属性は、ファイルの現在の状況を表します。

オープン

オープン状況は、先頭文字を「O」(オープン)または「C」(クローズ)で上書きして、変更できます。次の状況値が表示されます。

OPEN (オープン)

ファイルはオープンの状態です。

OPENING (オープン処理中)

ファイルはオープンされようとしています。

CLOSED (クローズ済み)

ファイルはクローズの状態です。

CLOSING (クローズ処理中)

ファイルはクローズされようとしています。

CLOSEREQ (クローズ要求)

クローズが要求されました。

Enabled (使用可能)

使用可能状況は、先頭文字を「E」(使用可能)または「D」(使用不可)で上書きして、変更できます。次の状況値が表示されます。

DISABLED (無効)

ファイルは使用不可です。

DISABLING (無効処理中)

ファイルは使用不可にされようとしています。

ENABLED (有効)

ファイルは使用可能の状態です。

UNENABLED (使用不可)

ファイルはクローズの状態、使用不可です。

UNENABLING (使用不可処理中)

ファイルは使用不可にされようとしています。

Read (読取り)

このフィールドは、値「READ」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、先頭バイトに「R」を入力して状況を設定するか、フィールドをクリアしてファイルに対する読み取りを使用不可にします。



注: 読み取り状況は、「Browse (ブラウズ)」、「Update (更新)」、「Delete (削除)」もクリアされたときにのみクリアできます。

Update (更新)

このフィールドは、値「UPDATE」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、先頭バイトに「U」を入力して状況を設定するか、フィールドをクリアしてファイルに対する更新を使用不可にします。

Add (追加)

このフィールドは、値「ADD」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、先頭バイトに「A」を入力して状況を設定するか、フィールドをクリアしてファイルに対する追加を使用不可にします。

Browse (参照)

このフィールドは、値「BROWSE」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、先頭バイトに「B」を入力して状況を設定するか、フィールドをクリアしてファイルに対するブラウズを使用不可にします。

Delete (削除)

このフィールドは、値「DELETE」またはブランクのどちらかです。状況を変更するには、先頭バイトに「D」を入力して状況を設定するか、フィールドをクリアしてファイルに対する削除を使用不可にします。

Data Set Name (データ・セット名)

このフィールドは、関連付けられたデータ・セット名を含みます。完全修飾のデータ・セット名または総称データ・セット名を入力できます。総称データ・セット名では、単一文字を表すパーセント (%) 記号と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を修飾子内で使用します。2 個のアスタリスク (**) は任意の数の修飾子を表します。

Strings (ストリング)

このフィールドには、VSAM ファイルに関連付けられたストリング番号値が含まれます。1 から 255 の範囲にある値です。

Disposition (後処理)

選択番号を変更して、後処理を変更できます。

1

DISP=SHR

2

DISP=OLD

RLS Access (RLS アクセス)

選択番号を変更して、RLS アクセス値を変更できます。

- 1
リモートまたは BDAM データ・セットは該当しません。
- 2
データ・セットは RLS モードではアクセスされません。
- 3
データ・セットは RLS モードでアクセスされます。



注: RLS がサポートされない CICS システムでファイルをオープンすると、エラーを受け取る場合があります。

Read Integrity (読み取り健全性)

選択番号を変更して、読み取り健全性を変更できます。

- 1
非 RLS モードでアクセスされる VSAM ファイル、リモート・ファイル、BDAM ファイル、または CFDT ファイルには適用されません。
- 2
Consistent (一貫している)。このファイルの読み取り要求は、一貫した読み取り健全性が条件です (読み取り要求で指定されない限り)。
- 3
Repeatable (反復可能)。このファイルの読み取り要求は、反復可能な読み取り健全性が条件です (読み取り要求で指定されない限り)。
- 4
Uncommitted (未コミット)。このファイルに読み取り健全性はありません。

General (一般):

関連付けられた CICS ファイルに関する次のフィールドの値は、変更できません。

SYSID (システム ID)

Z Data Tools が実行されているローカル・システムの場合はブランクです。リモート・リソースの接続 ID を表します。

タイプ

クローズしたファイルの場合、VSAM または BDAM です。VSAM ファイルがオープンであれば、このフィールドには、VSAM ファイルのタイプを記述する KSDS、ESDS、AIX、PATH、RRDS、VRRDS 値が含まれます。CICS データ・テーブルの場合、「Type (タイプ)」には TABL が含まれます。

Key position (キー位置)

キー長が 0 より大 (keylength > 0) の VSAM ファイルの場合に表示され、キーの開始位置を示します。

Key length (キー長)

キー長が 0 より大 (keylength > 0) の VSAM ファイルの場合に表示され、キー長を示します。

LSR Pool value (LSR プール値)

このファイルに関連付けられた VSAM LSR プールを示す番号です。範囲は 1 から 8 です。

Record size (レコード・サイズ)

可変ファイルの最大レコード・サイズ、または固定ファイルのレコード長。

Journal number (ジャーナル番号)

CICS が自動ジャーナリングに必要な情報を書き込むジャーナルの番号に対応する、1 から 99 までの番号。値 0 は、ファイルに JOURNAL(NO) が指定されることを示します。

Attributes (属性)

次のリテラルが表示されて、ファイルの様々な属性が記述されます。

Emptyreq

再使用可能 VSAM ファイルはオープン時にリセットされます。

ロード

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル、またはそれになるものが、ソース・データ・セットからプリロードされます。

FWDRECOV

ファイルは前方リカバリー可能です。

RECOV

ファイルはリカバリー可能です。

CFTABLE

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル。

CICSTABLE

CICS が保守するデータ・テーブル。

USERTABLE

ユーザーが保守するデータ・テーブル。

KEYED

データは、物理キーによってアドレス指定されます。

CONTENTION

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルは、コンテンション・モデルを使用して更新されます。

LOCKING

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルは、ロック・モデルを使用して更新されます。

EXTENDED

VSAM データ・セットは、拡張相対バイト・アドレッシングを使用します。

Table name (テーブル名)

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに表示され、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル名を表します。

Table pool (テーブル・プール)

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに表示され、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルが存在するカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールの名前を表します。

Max records (最大レコード数)

データ・テーブルに表示され、このファイルのデータ・テーブルが保持できるレコードの最大数を示します。0 の値は、リソースが NOLIMIT で定義されたことを示す場合があります。

親パネル

- ・ [\[CICS File Selection List \(CICS ファイル選択リスト\)\] パネル ページ 91](#)

子パネル

- ・ なし。

[Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)] パネル

[Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)] パネルには、以下の 2 つの形式があります。

バッチ呼び出しパネルは、ログオン時に `START=BATCH` が有効な場合に表示されます。これは ZDT/CICS を呼び出すバッチ・ジョブを実行依頼します。非バッチ呼び出しパネルは、ログオン時に `START=TASK` が有効な場合に表示されます。

パネルとフィールドの定義

図 27. 「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネル - バッチ呼び出し

```

----- Z Data Tools for CICS Logon -----

Enter Logon parameters
Userid . . . . . HFMUSER
Password . . . . .          New Password . . .
Node . . . . . PTHAPD0_    (Machine the job is to be run on)
Procedure. . . . . HFM3CICB (Procedure to run Z Data Tools)
Profile data set . . . HFMUSER.HFI.HFIPROF
Prefix . . . . . HFMUSER_   (Default prefix for data sets)

Jobcard
//FM&TERM.B JOB (,,,,),&USER,
//      MSGCLASS=A,MSGLEVEL=(1,1),CLASS=A
-----
F1=Help  F3=Logoff  F4=Reset  F5=Wait  F6=Default  F12=Cancel
Enter=Submit
    
```

図 28. 「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネル - 非バッチ呼び出し

```

----- Z Data Tools for CICS Logon -----

Enter Logon parameters
Userid . . . . . HFMUSER
Password . . . . .
New Password . . . . .
Profile data set . . . HFMUSER.HFI.HFIPROF
Prefix . . . . . HFMUSER_   (Default prefix for data sets)
Port . . . . . 9999
Host name

F1=Help  F3=Logoff  F4=Reset  F6=Default  F12=Cancel
    
```

Userid (ユーザー ID)

1 から 7 文字の MVS ユーザー ID。バッチ呼び出しでは、これは実行依頼されたジョブの所有者です。これは、Z Data Tools トランザクションを呼び出すときに指定されます。

Password (パスワード)

(バッチ呼び出し。) MVS ユーザー ID の現在のパスワード。ログオン時にパスワードは見えません。

(非バッチ呼び出し。) MVS ユーザー ID の現在のパスワードまたはパスフレーズ。

New Password (新規パスワード)

新規パスワード (MVS ユーザー ID の現在のパスワードを変更する場合)。

(非バッチ呼び出しのみ。) 100 文字までのパスフレーズを入力できます。

Node (ノード)

(バッチ呼び出しのみ。) そこでジョブを実行するマシン・ノード (1 から 8 文字)。指定されたマシン上でジョブを実行するために、ジョブ・カードの後ろに `/*ROUTE XEQ node.user` ステートメントが追加されます。

Procedure

(バッチ呼び出しのみ。) システムで Z Data Tools を実行するためにセットアップされたプロシージャ名 (1 から 8 文字)。デフォルト・プロシージャは HFM3CICB です。

Profile data set (プロファイル・データ・セット)

その後の呼び出しのために、セッション情報の保管に使用するプロファイル・データ・セット。

Prefix (接頭部)

Z Data Tools セッションで引用符で囲まれていないデータ・セットを指定するときに、頭部高位修飾子として使用する 1 から 8 文字の値。

Jobcard (ジョブ・カード)

(バッチ呼び出しのみ。) 実行依頼されるジョブに使用されるジョブ・カード。ジョブ・カードは、ジョブが実行依頼されるときに置換される次の変数を使用できます。

&TERM

現在の端末 ID (1 から 4 文字) に置換されます。

&USER

現在の MVS ユーザー ID (1 から 7 文字) に置換されます。

**注:**

1. 変数はピリオドで終わることができます。このピリオドも置換の間に削除されます。
2. ジョブ・カードは固有であって、それが即時に実行されるクラスに割り当てられる必要があります。

Port (ポート)

(非バッチ呼び出しのみ。) ZCC サーバー への接続に使用したポート番号。この値は、現在ロードされている HFM3POPT オプション・モジュールに定義されています。

Host name (ホスト名)

(非バッチ呼び出しのみ。) ZCC サーバー を実行しているシステムのホスト名。この値は、現在ロードされている HFM3POPT オプション・モジュールに定義されています。ホスト名がブランクの場合、ZDT/CICS は現行システムのホスト名を取得して使用します。

機能キーは次のとおりです。

F1

ヘルプ・パネル。

F3

終了。Z Data Tools を終了し、ログオンのパラメーターを保管します。

F4

リセット。ログオンのパラメーターをセッションの開始時のものに復元します。

F5

(非バッチ呼び出しのみ。) 待機。これを使用して、バッチ・ジョブが応答しないときに、さらに 20 秒待機するよう Z Data Tools に指示します。

F6

デフォルト: ログオンのパラメーターをインストールのデフォルトに変更します。

F12

取り消し。ログオンのパラメーターを保管せずに、Z Data Tools を終了します。

親パネル

- 「CICS Logon (CICS ログオン)」パネル

子パネル

- [「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」パネル ページ 122](#)

関連するタスク

[ZDT/CICS の使用を開始 ページ 14。](#)

「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネル

「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネルを使用して、キーの現在の機能の表示と変更を行います。

パネルとフィールドの定義

図 29. 「HFM Keylist Change (キー・リスト変更)」パネル

```

HFM Keylist HFMKZOED Change
More: +

Keylist Help Panel Name . . . HFMRKZED

Key      Definition      Format  Label
F1 . . . HELP            SHORT  Help
F2 . . . ZOOM            SHORT  Zoom
F3 . . . EXIT            SHORT  Exit
F4 . . . CRETRIEV       LONG   CRetriev
F5 . . . RFIND           SHORT  RFind
F6 . . . RCHANGE        SHORT  RChange
F7 . . . UP              LONG   Up
F8 . . . DOWN           LONG   Down
F9 . . . SWAP           LONG   Swap
F10 . . . LEFT          LONG   Left
F11 . . . RIGHT         LONG   Right
F12 . . . CANCEL        SHORT  Cancel

Command ==>
PF 1=HELP      2=TOP      3=END      4=RETURN   5=BOTTOM   6=LOCATE
PF 7=UP        8=DOWN    9=PRINT   10=LEFT    11=RIGHT   12=CRETRIEV

```

現在のキー・リストの値を、表示された値で変更できます。スクロールアップまたはスクロールダウンして、すべての機能キー値を表示できます。

機能キー変更のパネルに現れるフィールドは次のとおりです。

Keylist help panel name (キー・リスト・ヘルプ・パネル名)

このキー・リストのヘルプ・パネルの名前。

キー

ファンクション・キー

定義

各機能キーに割り当てられたコマンド。

FORMAT

以下のいずれかの値を入力できます。

LONG

機能キー域の長い形式 (LONG) を要求したときにのみ、このキーのラベルを表示することを指示します。「LONG」がデフォルトです。

SHORT

機能キー域の短い形式 (SHORT) または長い形式 (LONG) を要求したときに、このキーのラベルを表示することを指示します。

NO

機能キー域にキーのラベルを表示しないことを指示します。

Label (ラベル)

割り当てられた各機能キーと一緒に表示するラベルを入力します。

親パネル

- 任意の ZDT/CICS パネル。

子パネル

- なし。

関連するタスク

- [現在のキー・リスト値の変更 ページ 35](#)

「Intrapartition Queue (区画内キュー)」パネル

「Intrapartition Queue (区画内キュー)」パネルを使用して、関連付けられたキューの CICS ファイル制御情報を表示します。このパネルからキューの状況を変更できます。

パネルとフィールドの定義

図 30. 「Intrapartition Queue (区画内キュー)」パネル

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS  Intrapartition Queue CSZX

Changeable:      Enabled
Status . . . . . ENABLED
Transaction . . . CZUX
Terminal . . . . .
User . . . . . CICSUSER
Trigger level . . 1
Facility
1 1. No Terminal
  2. Terminal
General:
Sysid . . . . .
Number of items . 0
Attributes . . . NOTRECOVERABLE

Command ==> _____ Scroll CSR
    
```

変更可能フィールド

パネルのこのセクションには、変更できるキュー属性が含まれます。変更を要求すると関連付けられたキューが使用不可になり、そのあと、要求した属性変更が行われます。要求が失敗した場合、CICS コマンド (func=) とエラー・コードが表示されます。このコマンドとエラー・コードについては、「CICS Application Programming Reference」の コマンド・コード・セクションに説明があります。要求が失敗した場合、表示された属性は、キューの現在の状況を表します。

Enabled (使用可能)

使用可能状況は、先頭文字を「E」(使用可能) または「D」(使用不可) で上書きして、変更できます。次の状況値が表示されます。

DISABLED (無効)

キューは使用不可です

DISABLING (無効処理中)

キューは使用不可にされているところです

PENDING (処理待ち)

キューは保留中です

ENABLED (有効)

キューは使用可能です

Transaction (トランザクション)

CICS がキューを処理するタスクを自動的に開始するときに実行されるトランザクション (1 から 4 文字)。トランザクション ID は、有効な CICS トランザクション文字で上書きできます。

Terminal (端末)

キューに関連付けられた端末またはセッション (1 から 4 文字)。ファシリティが端末に設定された場合、この値は有効な端末 ID で上書きできます。

User (ユーザー)

キューに関連付けられたユーザー ID (1 から 8 文字)。ファシリティが端末でなければ、この値を有効なユーザー ID で上書きできます。

Trigger level (トリガー・レベル)

キューがこの項目数に到達すると自動トランザクション開始 (ATI、automatic transaction initiation) が発生する項目数。この値は有効な数で上書きできます。

Facility (ファシリティ)

端末がキューに関連付けられているかどうかを示します。

1

端末はキューに関連付けられていません。

2

端末はキューに関連付けられています。

General (一般)

関連付けられた CICS キューに関する次のフィールドは、変更できません。

Sysid (システム ID)

Z Data Tools が実行されているローカル・システムの場合はブランクです。リモート・リソースの接続 ID を表します。

Number of items (項目数)

現在、このキューにある項目の数。

Attributes (属性)

キューの属性を記述します。

QUEUE (キュー)

UOW は未確定で、待機しています。このキューの UOW によって保留されたロックは、UOW の最終状態が判明するまでアクティブのままです。これは、タスクが「LOCKED」応答を受け取るのではなく、中断状態であることを意味します。UOW の最終状態が判明すると、それが行った変更は、コミットされるかバックアウトされます。その時まで、アクティブ・ロックの1つを必要とする以下のタイプの以降の要求は、どれも待機する必要があります。

READQ

未確定 UOW は、READQ または DELETEDQ 要求を発行しました。

WRITEQ

未確定 UOW は、WRITEQ または DELETEDQ 要求を発行しました。

DELETEDQ

未確定 UOW は、READQ、WRITEQ、または DELETEDQ 要求を発行しました。

REJECT

UOW は未確定で、待機しています。また、このキューの UOW によって保留されたロックは、UOW の最終状態が判明するまで保持されます。最終状態が判明すると、それが行った変更は、コミットされるかバックアウトされます。その時まで、保持されたロックの1つを必要とする以降の要求はどれもリジェクトされ、LOCKED 状態に戻されます。REJECT によって、QUEUE によってトランザクションが待機させられるのと全く同じ環境で LOCKED が発行されることとなります。

WAIT

UOW は待機し、待機中の必要なアクションは、どれも WAITACTION オプションによって決定されます。

NOWAIT

UOW は、待機しません。リカバリー可能リソースに行われた変更は、トランザクション・リソース定義の ACTION (アクション) 属性によって指定されたとおりに、バックアウトまたはコミットされません。

LOGICAL

キューは論理的にリカバリー可能です。

NOTRECOVERABLE

キューはリカバリー可能ではありません。

PHYSICAL

キューは物理的にリカバリー可能です。

親パネル

- ・ [CICS Transient Data Queue Selection List (CICS 一時データ・キュー選択リスト)] パネル ページ 96

子パネル

- ・ なし。

関連するタスク**ZCC 「設定」 パネル**

[ZCC (Z Common Components) Settings (設定)] パネルを使用して、情報が画面に表示される方法に影響するさまざまなオプションと端末特性を変更できます。

パネルとフィールドの定義

図 31. [ZCC (Z Common Components) Settings (設定)] パネル

```

Command ==> _____ ZCC _____
Options:
  Enter "/" to select option
  / Command line at bottom
  / Panel display CUA mode
  / Tab to action bar choices
  - Graphic border

Terminal Characteristics:
  Screen format  2   1. Data   2. Std   3. Max
  Terminal type  1   1. 3270   2. 3270KN
PF  1=HELP      2=TOP      3=END      4=RETURN   5=BOTTOM   6=LOCATE
PF  7=UP        8=DOWN     9=PRINT   10=LEFT    11=RIGHT   12=CRETRIEV

```

Command line at bottom (コマンド行を下部に表示)

コマンド行と長メッセージ行をパネルの下部に表示するかどうかを決定します。

Panel display CUA mode (パネルを CUA モードで表示)

パネルを CUA モードで表示するかどうか、また、アクション・バーを表示するかどうかを決定します。

Tab to action bar choices (タブ・キーでアクション・バー選択に置く)

GUI モードで実行されていない場合に、タブ・キーを押すとカーソルがアクション・バー選択に置かれるかどうかを決定します。

Graphic Border (グラフィック境界線)

アクション・バー分離線または境界線が正確に表示されなければ、強制的に点線を表示できるかどうかを決定します。

Screen Format (画面形式)

画面形式を決定します。サポートされる形式は次のとおりです。

DATA (1)

代替画面サイズは、拡張可能なパネルにのみ使用されます。

STD (2)

常に、24 行 x 80 文字に形式設定されます。

MAX (3)

常に代替画面サイズを使用します。

Terminal Type (端末タイプ)

端末タイプを決定します。サポートされるタイプは次のとおりです。

3270 (1)

端末は、半角カタカナ文字をサポートしません。

3270KN (2)

端末は、半角カタカナ文字をサポートします。

親パネル

- 任意の ZDT/CICS パネル。

子パネル

- なし。

関連するタスク

- [端末特性の変更 ページ 34](#)

「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネル

「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルを使用して、入力した名前、システム ID、および TS プールに一致するリソースをリストします。

パネルとフィールドの定義

図 32. 「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	List CICS Resources Entry Panel	
CICS File, Transient Data, Temporary Storage Queue, or Enqueue Name:		
Resource name . . .	_____	
Sysid	_____	
TS pool name . . .	_____	
Processing Options:		
CICS Resource		
1	1. File	
	2. Temporary Storage (Case sensitive)	
	3. Transient Data (Case sensitive)	
	4. Enqueue	
Command ==> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

Resource name (リソース名)

リソース名 (1 から 36 文字) を指定します。これが「**Sysid (システム ID)**」と組み合わせられて、一致するリソースのリストが生成されます。また、TS キューの「**TS pool name (TS プール名)**」と組み合わせて使用されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

CICS リソース・タイプとして「Temporary Storage (一時ストレージ)」または「Transient Data (一時データ)」が選択されている場合、「**Resource name (リソース名)**」入力フィールドに入力された値には、大/小文字の区別があります。

Sysid (システム ID)

リソースが存在する CICS システムの ID。ブランク値の場合は、デフォルトのローカル・システムになります。

完全修飾または総称の Sysid を入力できます。総称 Sysid では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

TS pool name (TS プール名)

プール名 (TS データ共用のみ) (デフォルトはブランク)。これは 共用一時ストレージ・プールおよび一時ストレージ処理のプール名の指定に使用され、そのプール名はプールを管理する一時ストレージ・サーバーにシッパされます。完全修飾または総称のプール名を入力できます。総称プール名では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。SYSID 値と TS プール名を指定すると、どちらかに一致するキューのリストが生成され、そこから処理に合ったキューを選択できます。

CICS リソース

CICS リソース処理タイプ:

1. File (ファイル)

CICS ファイル

2. Temporary Storage (一時ストレージ)

CICS 一時ストレージ・キュー

3. Transient Data (一時データ)

CICS 一時データ・キュー

4. Enqueue (エンキュー)

CICS エンキュー

親パネル

- [「Utility Functions \(ユーティリティー機能\)」パネル ページ 133](#)

子パネル

- [「CICS File Selection List \(CICS ファイル選択リスト\)」パネル ページ 91](#)
- [「CICS Temporary Storage Selection List \(CICS 一時ストレージ選択リスト\)」パネル ページ 94](#)
- [「CICS Transient Data Queue Selection List \(CICS 一時データ・キュー選択リスト\)」パネル ページ 96](#)
- [「CICS Enqueue Selection List \(CICS エンキュー選択リスト\)」パネル ページ 89](#)

関連するタスク

- [CICS リソースのリストの操作 ページ 49](#)
- [CICS エンキューの操作 ページ 54](#)

「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネル

「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルは、すべての ZDT/CICS 操作の開始点です。

パネルとフィールドの定義

図 33. Z Data Tools 「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」 パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Primary Option Menu	
0	Settings	Set processing options
1	Browse	Browse data
2	Edit	Edit data
3	Utilities	Perform utility functions
4	Templates	Template and copybook utilities
B	ZDT	Z Data Tools
I	ZDT/IMS	Z Data Tools for IMS
D	ZDT/Db2	Z Data Tools for Db2
X	Exit	Terminate ZDT/CICS
User ID . . : JHELVON Appl ID . . : HFM3 CICS User : CICSUSER CICS Appl : C62D2FM3 Date. . . : 2018/12/12		
Processing Options: CICS Resource 1 1. File 2. Temporary Storage 3. Transient Data		
Command ==> _____ F1=Help F3=Exit F4=CRetriev F7=Backward F8=Forward F10=Actions F12=Cancel		

0 Settings (設定)

「Set Processing Options (処理オプションの設定)」 パネルを表示します。

1 Browse (ブラウズ)

「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」 パネルの 1 つを表示します。表示される「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」 パネルのタイプは、「CICS Resource (CICS リソース)」フィールドの設定値によって決まります。

2 Edit (編集)

「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルの 1 つを表示します。表示される「Edit Entry (編集項目の入力)」 パネルのタイプは、「CICS Resource (CICS リソース)」フィールドの設定値によって決まります。

3 Utilities (ユーティリティー)

「Utility Functions (ユーティリティー機能)」 パネルを表示します。

4 Templates (テンプレート)

Z Data Tools Base の「Template Workbench (テンプレート・ワークベンチ)」 パネルを表示します。

B ZDT

Z Data Tools Base の「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」 パネルを表示します。

I ZDT/IMS

Z Data Tools IMS Component の「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」 パネルを表示します。

D ZDT/Db2

Z Data Tools Db2® Component の「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」 パネルを表示します。

X Exit

ZDT/CICS を終了します。

CICS リソース

操作する CICS リソースのタイプを選択します。

1. File (ファイル)

CICS ファイルを操作します。

2. Temporary Storage (一時ストレージ)

CICS 一時ストレージ・キューを操作します。

3. Transient Data (一時データ)

CICS 一時データ・キューを操作します。

「Z Data Tools」および「ZDT」オプションは、ユーザー ID が許可されている場合のみ「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」に現れます。

ISPF の下で ZDT/CICS を実行している場合、変更された「ZDT/CICS Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルが表示されます。

図 34. ZDT/CICS Z Data Tools Primary Option Menu (基本オプション・メニュー) パネル (ISPF を使用する場合)

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Primary Option Menu	
1 View	View data	User ID . . : JHELVON
2 Edit	Edit data	Date. . . . : 2018/12/12
3 Print	Print data	Time.....: 14:17
4 List	List resources	
X Exit	Terminate ZDT/CICS	
Processing Options:		
CICS Resource		
1	1. File	
	2. Temporary Storage	
	3. Transient Data	
Command ==>		
F1=Help	F3=Exit	F4=CRetrie F7=Backward F8=Forward F10=Actions
F12=Cancel		

1 View (表示)

「View Entry」パネルの 1 つを表示します。表示される「View Entry」パネルのタイプは、「CICS Resource (CICS リソース)」フィールドの設定値によって決まります。

2 Edit (編集)

「Edit Entry (編集項目の入力)」パネルの 1 つを表示します。表示される「Edit Entry (編集項目の入力)」パネルのタイプは、「CICS Resource (CICS リソース)」フィールドの設定値によって決まります。

3 Print (印刷)

「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルの 1 つを表示します。表示される「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルのタイプは、「CICS Resource (CICS リソース)」フィールドの設定値によって決まります。

4 List (リスト)

「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネルを表示します。

X Exit

ZDT/CICS を終了します。

CICS リソース

「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネル ページ 122 の定義と同様。

親パネル

「Z Data Tools for CICS Logon (ログオン)」パネル ページ 111

子パネル

- 「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル ページ 131
- 「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネル ページ 79
- 「Edit Entry (編集項目の入力)」パネル ページ 99
- 「Print Entry (印刷項目の入力)」パネル ページ 125
- 「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネル ページ 120
- 「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネル ページ 133
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「Set DBCS Format (DBCS 形式の設定)」パネル
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「Print Audit Trail (監査証跡の印刷)」パネル

関連するタスク

- ZDT/CICS の使用を開始 ページ 14
- Z Data Tools (Base) でのリソース名の指定 ページ 38
- CICS リソースに対する Z Data Tools Base 機能の実行 ページ 38
- ZDT/CICS ユーティリティーの処理 ページ 47

「Print Entry (印刷項目の入力)」パネル

「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルを使用して、印刷するリソースの名前を入力します。また、これらのパネルを使用して、データ・セットの論理ビューを記述するコピーブックまたはテンプレートの名前も指定します。

3 つの異なる「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルがあります。ZDT/CICS が表示する「Print Entry (印刷項目の入力)」パネルのタイプは、前のパネル(「Utility Functions (ユーティリティー機能)」または「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」)で選択した「CICS Resource (CICS リソース)」によって異なります。

表 5. 「Print Entry (印刷項目の入力)」 パネル

CICS リソース	表示される「Print Entry (印刷項目の入力)」 パネル
ファイル	「Print CICS File Entry (CICS ファイルの印刷項目の入力)」 パネル
一時ストレージ	「Print Temporary Storage Entry (一時ストレージの印刷項目の入力)」 パネル
一時データ	「Print Transient Data Entry (一時データの印刷項目の入力)」 パネル

次に各「Print Entry (印刷項目の入力)」 パネルを示します。その後、3つのパネルに出現する入力フィールドをすべてリストします。ほとんどの入力フィールドは、3つのすべてパネルで共通です。3つのすべてのパネルに共通していない入力フィールドについては、どのパネルのフィールドであるかを示しています。

パネルとフィールドの定義

図 35. 「Print CICS File Entry (CICS ファイルの印刷項目の入力)」 パネル

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS          Print CICS File Entry Panel

Input CICS VSAM File:
File name . . . . . _____
Sysid . . . . . _____
Start key . . . . . _____ key or slot
Skip count . . . . . _____ number of records to be skipped
Print count . . . . . ALL _____ number of records to be printed

Copybook or Template:
Data set name . . . . . _____
Member . . . . . _____ (Blank or pattern for member list)

Processing Options:
Print Option  Copybook/template/access  Enter "/" to select option
- 1. Char      3 1. Above                _ Edit template _ Type (1,2,S)
  2. Hex       2. Previous              _ Use proc _____
  3. Sngl      3. None
  4. Tabl     4. Create dynamic          _ Additional print options

Command ==> _____ Applid _____
F1=Help    F3=Exit    F4=Expand  F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel
    
```

図 36. 「Print Temporary Storage Entry (一時ストレージの印刷項目の入力)」パネル

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS          Print Temporary Storage Entry Panel

Input Temporary Storage Queue:
Queue name . . . . . _____ (Case sensitive)
Sysid . . . . . _____
Pool name . . . . . _____
Skip count . . . . . _____ number of records to be skipped
Print count . . . . . ALL _____ number of records to be printed

Copybook or Template:
Data set name . . . . . _____
Member . . . . . _____ (Blank or pattern for member list)

Processing Options:
Print Option  Copybook/template/access  Enter "/" to select option
- 1. Char      3 1. Above                    - Edit template
  2. Hex       2. Previous                - Use proc _____
  3. Sngl      3. None
  4. Tabl      4. Create dynamic      - Additional print options

Command ==> _____ Applid _____
F1=Help      F3=Exit      F4=Expand    F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel

```

図 37. 「Print Transient Data Entry (一時データの印刷項目の入力)」パネル

```

Process  Options  Help
-----
ZDT/CICS          Print Transient Data Entry Panel

Input Transient Data Queue:
Queue name . . . . . _____ (Case sensitive)
Sysid . . . . . _____
Skip count . . . . . _____ number of records to be skipped
Print count . . . . . ALL _____ number of records to be printed

Copybook or Template:
Data set name . . . . . _____
Member . . . . . _____ (Blank or pattern for member list)

Processing Options:
Print Option  Copybook/template/access  Enter "/" to select option
- 1. Char      3 1. Above                    - Edit template
  2. Hex       2. Previous                - Use proc _____
  3. Sngl      3. None
  4. Tabl      4. Create dynamic      - Additional print options

Command ==> _____ Applid _____
F1=Help      F3=Exit      F4=Expand    F7=Backward F8=Forward  F10=Actions
F12=Cancel

```

File name (ファイル名) (CICS リソース: ファイルのみ)

印刷するファイルの名前(1から8文字)。これと「Sysid (システム ID)」が組み合わせられて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号(%)と、任意の数の文字を表すアスタリスク(*)を使用します。

キュー名 (CICS リソース: 一時ストレージ・スペースのみ)

印刷する一時ストレージ・キューの名前(1から16文字)。これと「Sysid (システム ID)」が組み合わせられて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号(%)と、任意の数の文字を表すアスタリスク(*)を使用します。

この入力フィールドには大/小文字の区別があります。

TS キュー名の 16 進値を表示または入力するには、フィールド上にカーソルを持っていき、EXPAND 基本コマンド (または同等の機能キー) を入力します。拡張ポップアップ・パネル内から HEX ON コマンドを入力し、16 進値を表示および入力します。

キュー名 (CICS リソース: 一時データのみ)

印刷する一時データ・キューの名前 (1 から 4 文字)。これと「Sysid (システム ID)」が組み合わせられて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

このフィールドには大/小文字の区別があります。

Sysid (システム ID)

リソースが存在する CICS システムの ID。ブランク値の場合は、デフォルトのローカル・システムになります。

完全修飾または総称の sysid を入力できます。総称 Sysid では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

プール名 (CICS リソース: 一時ストレージ・スペースのみ)

共用一時ストレージ・プールおよび一時ストレージ処理の TS プール名で、プールを管理する一時ストレージ・サーバーにシッパされます。

完全修飾のプール名または総称プール名を入力できます。総称プール名では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

Sysid 値と TS プール名を指定すると、どちらかに一致するキューのリストが生成され、そこから処理に合ったキューを選択できます。

Start key (開始キー) (CICS リソース: ファイルのみ)

VSAM ファイルの開始キーまたはスロット位置。

このフィールドはスクロール可能であり、EXPAND 基本コマンド (または同等の機能キー) で拡張できません。ロング・ネーム用のスクロール可能入力および表示フィールド ページ 21 を参照してください。

Skip count (スキップ・カウント)

処理が始まる前にスキップすべきレコード数。

Print count (印刷カウント)

印刷されるレコード数

Copybook or Template (コピーブックまたはテンプレート): Data set name and Member (データ・セット名およびメンバー)

これらのフィールドは、レコードの選択と印刷出力の形式設定に使用するコピーブックまたはテンプレートを識別します。コピーブックを指定すると、コピーブックはコンパイルされて一時テンプレートが作成されます。この一時テンプレートは、編集が要求されていた場合はオプションで保管できます。

Print Option (印刷オプション)

印刷出力の形式:

Char (文字)

レコードは文字形式で印刷されます。

16 進

レコードは 16 進形式で印刷されます。「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネルの DUMP 処理オプションは、HEX データの印刷方法を決定します。「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル ページ 131 を参照してください。

Sngl

単一レコード・フォーマット (1 行に 1 フィールドが表示されます)。印刷出力の左側には、フィールドまたは見出し名が入ります。右側には、フィールド・タイプに従って形式設定されたフィールド値が入ります。このオプションにはテンプレートが必要です。

この印刷形式では、その他のフィールド情報 (再定義フィールド、フィールド参照番号、フィールド・タイプおよび長さの値、PICTURE 文節、開始位置、構造) が、エディター・オプションに従って印刷できます。数値フィールドは、オプションの指定によって左寄せにできます。

Tabl

表形式 (フィールドは表示全域にわたって印刷されます)。レコードは、列見出しとなるフィールド名または見出し名と、フィールド・タイプに応じて形式設定されたデータを持つ列で表示されます。この形式では、表示は、現行の印刷幅に応じて切り捨てられる場合があります。このオプションにはテンプレートが必要です。

Copybook/template/access (コピーブック/テンプレート/アクセス)

このオプションを使用して、テンプレートを使用するかどうか、あるいはレコードをどのように印刷するかを指定します。

Above (上の指定)

ZDT/CICS は、このパネルで指定されたテンプレートを使用します。(コピーブックを指定すると、Z Data Tools は、使用する前にコピーブックをテンプレートにコンパイルします。)

Previous (直前の指定)

ZDT/CICS は、このリソースの処理に最後に使用したテンプレートを使用します。前にこのデータ・セットにテンプレートを使用していない場合は、メッセージが表示され、テンプレートを使用せずに処理が続行されます。

なし

ZDT/CICS は、テンプレートを使用しません。SNGL および TABL 印刷形式は使用できません。

Create dynamic (動的作成)

ZDT/CICS は、動的テンプレートを作成します。ここで、フィールドおよびフィールド作成属性を定義できます。

Edit template (テンプレートの編集)

ZDT/CICS は、パネルを処理する前に、既に指定したテンプレートを開いて編集できるようにします。



注: テンプレートの使用についての詳細は、Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンスの *“Creating and editing templates (テンプレートの作成と編集)”* を参照してください。

Type (1,2,S) (タイプ (1、2、S))

実行する編集のタイプ。

以下のいずれかの値を指定できます。

1

最初にフィールド別に「Record Identification Criteria (レコード ID 基準)」を編集します。

2

最初にフィールド別に「Record Selection Criteria (レコード選択基準)」を編集します。

S

拡張コピーブック選択機能を使用してテンプレートのソース定義を編集します。

動的テンプレートを編集する場合、このオプションは無視されます。

Use proc (プロシージャを使用)

データの検索および変更には、FIND および CHANGE コマンドを使用するのではなく、データを検索および変更するプロシージャを指定するために、このオプションを使用します。このオプションを選択すると、次のいずれかのアクションを行うことができます。

- 1つのアスタリスク (*) を入力して、1 回限りのプロシージャの作成を選択します。ZDT/CICS で編集パネルが表示され、ここでプロシージャを作成できます。
- 使用するプロシージャが含まれているメンバーの名前を指定します。メンバーは DD 名 HFMEEXEC に割り振られた PDS に属している必要があります。次のいずれかを入力できます。
 - メンバーの名前。
 - 一致するすべてのメンバーをリストするメンバー名パターン (単一の * 以外)。そうすると、**[Sel]** フィールドに **s** と入力して、必要なメンバーを選択できます。メンバー名パターンは、メンバー名に有効な任意の文字と、次の 2 つの特殊パターン文字とで構成することができます。

アスタリスク (*)

任意の数の文字を表します。必要な数のアスタリスクがメンバー名のどこに表示されても構いません。例えば、*d* と入力すると、名前に「d」が含まれるデータ・セットのすべてのメンバーのリストが表示されます。

パーセント記号 (%)

単一文字を表す置き換え文字。パーセント記号は、メンバー名の任意の場所に必要な数だけ指定できます。例えば、%*** と入力すると、名前の長さが 4 文字のデータ・セットのすべてのメンバーのリストが表示されます。



注: このオプションを選択して、「**Use proc (プロシージャーを使用)**」メンバー入力フィールドをリンクにしておくと、Z Data Tools がメンバー名リストを表示します。そうすると、「**Sel**」フィールドに **S** と入力して、必要なメンバーを選択できます。

(Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンスの「Z Data Tools パネルを使用しているときのプロシージャーの指定」も参照してください。)

Additional print options (追加の印刷オプション)

追加の印刷オプションを指定できる「Print Options (印刷オプション)」パネルを表示します。

親パネル

- [「Utility Functions \(ユーティリティー機能\)」パネル ページ 133](#)

子パネル

- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「Print Options (印刷オプション)」パネル

関連するタスク

- [CICS リソースの印刷 ページ 48](#)

「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル

ZDT/CICS 内で使用可能な処理オプションをリストします。オプションを選択すると、該当するオプションのパネルが表示されます。

パネルとフィールドの定義

図 38. 「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	Set Processing Options	
1	Print	Print settings
2	System	System settings
3	Compiler	Language and compiler specifications
4	EDIT	Editor options
5	Sharing	VSAM Edit sharing options
6	Temporary	Temporary Data Set Allocations
7	Output	Output Data Set Allocations
8	Trace	Trace options
Command ==>		
F1=Help F3=Exit F4=CRetriev F7=Backward F8=Forward F10=Actions		
F12=Cancel		

1 Print (印刷)

「Set Print Processing Options (印刷処理オプションの設定)」パネルを表示します

2 System (システム)

「Set System Processing Options (システム処理オプションの設定)」パネルを表示します

3 Compiler (コンパイラー)

「Language and Compiler Specifications (言語およびコンパイラー仕様)」

4 EDIT (編集)

「Edit/Browse Options (編集/ブラウズ・オプション)」パネルを表示します

5 Sharing (共用)

「VSAM Edit Sharing Options (VSAM 編集共用オプション)」パネル

6 Temporary (一時)

「Set Temporary Data Set Allocation Options (一時データ・セット割り振りオプション設定)」パネルを表示します

7 Output (出力)

「Set Output Data Set Allocation Options (出力データ・セット割り振りオプション設定)」パネルを表示します。

8 Trace (トレース)

「Set Trace Options (トレース・オプションの設定)」パネルを表示します

親パネル

- [「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」](#) パネル ページ 122

子パネル

- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*Set Print Options (印刷オプションの設定)*」パネル (オプション 0.1)
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*Language and Compiler Specifications (言語およびコンパイラ仕様)*」パネル
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*Edit/Browse Options (編集/ブラウズ・オプション)*」パネル
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*VSAM Edit Sharing Options (VSAM 編集共用オプション)*」パネル
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*Set Temporary Data Set Allocation Options (一時データ・セット割り振りオプションの設定)*」
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*Set Output Data Set Allocation Options (出力データ・セットの割り振りオプションの設定)*」
- 「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」の「*Set Trace options (トレース・オプションの設定)*」

関連するタスク

- [システム処理オプションの設定 ページ 37](#)
- [デフォルト処理オプションの設定 ページ 36](#)

「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネル

ZDT/CICS 内で使用可能なユーティリティー機能をリストします。オプションを選択すると、該当するユーティリティーの入力パネルが表示されます。

パネルとフィールドの定義

図 39. 「Utility Functions (ユーティリティー機能)」 パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS		Utility Functions
0	DBCS	Set DBCS data format for print
2	Print	Print data
4	List	List resources
5	Printdsn	Browse ZDT/CICS print data set
6	Audit trail	Print audit trail report
7	Websphere MQ	List Websphere MQ managers and queues
Processing Options:		
CICS Resource		
1	1. File	
	2. Temporary Storage	
	3. Transient Data	
Command ==>		
F1=Help	F3=Exit	F4=CRetriev F7=Backward F8=Forward F10=Actions
F12=Cancel		

0 DBCS

「Set DBCS Format (DBCS 形式の設定)」 パネルを表示します

2 Print (印刷)

「Print CICS File Entry (CICS ファイルの印刷項目の入力)」 パネルを表示します

4 List (リスト)

「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」 パネルを表示します

5 PRINTDSN

印刷出力をフルスクリーン・モードで表示します

6 Audit trail (監査証拠)

「Print Audit Trail (監査証拠の印刷)」 パネルを表示します

7 WebSphere MQ

「Websphere MQ Managers (Websphere MQ マネージャー)」 パネルを表示します

WebSphere MQ キューへのアクセスについては、Base の「Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」を参照してください。

親パネル

- [「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」](#) パネル ページ 122

子パネル

- [Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス] の “Set DBCS Format (DBCS 形式の設定)” パネル
- [Print Entry (印刷項目の入力)] パネル ページ 125
- [List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)] パネル ページ 120
- [Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス] の “Print Audit Trail (監査証跡の印刷)” パネル
- “Copybook View and Print (コピーブックの表示および印刷) の入力パネル” (Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス 内)
- [Z Data Tools ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス] の “Websphere MQ Managers (Websphere MQ マネージャー)” パネル

関連するタスク

- ZDT/CICS ユーティリティの処理 ページ 47
- CICS リソースのリストの操作 ページ 49
- CICS エンキューの操作 ページ 54

「View Entry (ビュー項目の入力)」パネル

「View Entry (ビュー項目の入力)」パネルを使用して、編集するリソースの名前を入力します。また、これらのパネルを使用して、データ・セットの論理ビューを記述するコピーブックまたはテンプレートの名前も指定します。



注: Z Data Tools/CICS エディター・セッションで行った変更を保管したい場合は、ZDT/CICS Edit Utility を使用してください。

3つの異なる「View Entry (ビュー項目の入力)」パネルがあります。ZDT/CICS が表示する「View Entry (ビュー項目の入力)」パネルのタイプは、「Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)」パネルで選択した「CICS Resource (CICS リソース)」によって異なります。

表 6. 「View Entry (ビュー項目の入力)」パネル

CICS リソース	表示される「View Entry (ビュー項目の入力)」パネル
ファイル	「View CICS File Entry (CICS ファイル・ビュー項目の入力)」パネル
一時ストレージ	「View Temporary Storage Entry (一時ストレージ・ビュー項目の入力)」パネル
一時データ	「View Transient Data Entry (一時データ・ビュー項目の入力)」パネル

次に各「View (ビュー)」パネルを示します。その後、3つのパネルに出現する入力フィールドをすべてリストします。3つのすべてのパネルに共通していない入力フィールドについては、どのパネルのフィールドであるかを示しています。

パネルとフィールドの定義

図 40. 「View CICS File Entry (CICS ファイル・ビュー項目の入力)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	View CICS File Entry Panel	
Input CICS VSAM File:		
File name	_____	
Sysid	_____	
Start position	_____	
Record limit	_____	Record sampling _
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Start position type	Enter "/" to select option
3 1. Above	- 1. Key	- Edit template _ Type (1,2,S)
2. Previous	2. RBA	- Include only selected records
3. None	3. Record number	
4. Create dynamic		
Command ===> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

図 41. 「View Temporary Storage Entry (一時ストレージ・ビュー項目の入力)」パネル

Process	Options	Help
ZDT/CICS	View Temporary Storage Entry Panel	
Input Temporary Storage Queue:		
Queue name	_____	(Case sensitive)
Sysid	_____	
Pool name	_____	
Start position	_____	Record number
Record limit	_____	Record sampling _
Copybook or Template:		
Data set name	_____	
Member	_____	Blank or pattern for member list
Processing Options:		
Copybook/template	Enter "/" to select option	
3 1. Above	-	Edit template _ Type (1,2,S)
2. Previous	-	Include only selected records
3. None		
4. Create dynamic		
Command ===> _____ Applid _____		
F1=Help	F3=Exit	F4=Expand F7=Backward F8=Forward F10=Left
F11=Right	F12=Cancel	

図 42. 「View Transient Data Entry (一時データ・ビュー項目の入力)」パネル

```

  Process  Options  Help
  -----
ZDT/CICS          View Transient Data Entry Panel

Input Transient Data Queue:
  Queue name . . . . . _____ (Case sensitive)
  Sysid . . . . . _____
  Start position . . . _____ Record number
  Record limit . . . _____ Record sampling _
Copybook or Template:
  Data set name . . _____
  Member . . . . . _____ Blank or pattern for member list
Processing Options:
Copybook/template      Enter "/" to select option
 3 1. Above             _ Edit template _ Type (1,2,S)
   2. Previous         _ Include only selected records
   3. None
   4. Create dynamic

Command ==> _____ Applid _____
F1=Help      F3=Exit      F4=Expand      F7=Backward F8=Forward  F10=Left
F11=Right    F12=Cancel

```

File name (ファイル名) (CICS リソース: ファイルのみ)

ブラウズするファイルの名前 (1 から 8 文字)。これと「**Sysid (システム ID)**」が組み合わされて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

キュー名 (CICS リソース: 一時ストレージ・スペースのみ)

ブラウズする一時ストレージ・キューの名前 (1 から 16 文字)。これは、「**Sysid (システム ID)**」および「**Pool name (プール名)**」と組み合わされて使用され、一致するリソースのリストを生成します。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

キュー名 (CICS リソース: 一時データのみ)

ブラウズする一時データ・キューの名前 (1 から 4 文字)。これと「**Sysid (システム ID)**」が組み合わされて、一致するリソースのリストが生成されます。

完全修飾のリソース名または総称リソース名を入力できます。総称リソースでは、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

Sysid (システム ID)

リソースが存在する CICS システムの ID。ブランク値の場合は、デフォルトのローカル・システムになります。

完全修飾または総称の Sysid を入力できます。総称 Sysid では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

プール名 (CICS リソース: 一時ストレージ・スペースのみ)

共用一時ストレージ・プールおよび一時ストレージ処理の TS プール名で、プールを管理する一時ストレージ・サーバーにシップされます。

完全修飾のプール名または総称プール名を入力できます。総称プール名では、単一文字を表すパーセント記号 (%) と、任意の数の文字を表すアスタリスク (*) を使用します。

Sysid 値と TS プール名を指定すると、どちらかに一致するキューのリストが生成され、そこから処理に合ったキューを選択できます。

Start position (開始位置)

ブラウズするデータ・セットの初期開始位置。初期表示は、指定したレコードの位置です。

デフォルトは、データ・セットの先頭です。負のレコード番号を入力して、ファイルの終わりからのレコード数を示すこともできます。例えば、ファイルの最終レコードのみを表示する場合は、開始点として -1 と入力します。

「Start position (開始位置)」フィールドの形式は、選択した開始位置のタイプに応じて、数値または文字のどちらかになります。VSAM KSDS キー値として、先行空白、埋め込まれた空白、末尾空白、コンマ、または引用符が含まれる値を入力する場合は、引用符で値を囲む必要があります。引用符で囲み、前に X または x を付けて、16 進数ストリングを入力することもできます (例えば、x'c1c2')。

他のすべてのデータ・セット形式では、有効な符号なしの数値を入力しなければなりません。

開始位置をファイルの終わりからのレコード数として指定するには、負のレコード番号を入力します。例えば、ファイルの最終レコードのみを表示するには、開始位置 -1 を入力します。

開始位置を指定する場合、「処理オプション」に「**開始位置タイプ**」も指定する必要があります。指定しなければ、Z Data Tools は「Start position (開始位置)」フィールドに指定した値がレコード番号であると想定します。

VSAM - KSDS: Key value (キー値)

キーが一致しない場合、指定した値より大きいキーを持つレコードが指定されます。キー値がデータ・セットの最後のレコードより大きい場合は、「Position not found」条件が戻されず。

VSAM - ESDS: RBA (相対バイト・アドレス) 値

RBA が一致しない場合、指定した値より大きい RBA を持つレコードが指定されます。RBA 値がデータ・セットの最後のレコードの値より大きい場合は、「Position not found」条件が戻されます。

VSAM - RRDS: スロット値

データ・セット内の最後に使用されたスロットよりスロット番号が大きい場合は、「Position not found」条件が戻されます。

キューー一時ストレージと一時データ

キューの場合、開始位置はレコード番号です。指定されたレコード番号がキュー内のレコード数より大きい場合は、「Position not found」条件が戻されます。

Record limit (レコード制限)

このフィールドでは、データ・セットから取得するレコードの数(開始点または先頭からの数)を制限するので、編集または表示できる範囲がデータ・セットの一部だけに絞られます。レコード制限にキーワード“MEMORY”を使用して、取り出されるレコードの数を使用可能な仮想ストレージに十分に収まる数に制限できます。

デフォルトの開始位置は、データ・セットの先頭です。

Record Sampling (レコード・サンプリング)

データ・セット上でレコード・サンプリングを実行するかどうかを指示します。このオプションを選択すると、ZDT/CICS は「Record Sampling (レコード・サンプリング)」パネルを表示します。

Copybook or Template (コピーブックまたはテンプレート)

データの形式設定に使用するテンプレートまたはコピーブックのデータ・セット名およびメンバー名。



注: コピーブックの場合、これは CA-Panvalet ライブラリーの名前、または Library Management System Exit を使ってアクセスされるライブラリーの名前にすることができます。

Copybook/template usage (コピーブック/テンプレートの使用法)

データの論理ビューに、テンプレートを使用するかどうかを指示します。

1

パネルで指定されたテンプレートを使用します(あるいは指定されたコピーブックをコンパイルしてテンプレートにしてから、それを使用します)。

2

最後にデータ・セットに関連付けられたテンプレートを使用します。

3

この機能で論理ビューは使用しません。論理ビュー

4

動的テンプレートを作成します。動的テンプレート

Start position type (開始位置タイプ)(CICS リソース: ファイルのみ)

「Start position (開始位置)」フィールドに入力された値を ZDT/CICS が解釈する方法を決定します。「Start position type (開始位置タイプ)」が指定されていない場合、ZDT/CICS は、値をレコード番号とみなします。

1. KEY

データ・セットが VSAM KSDS、VSAM AIX、または VSAM PATH であるときにのみ有効です。

2. RBA

データ・セットが CICS VSAM ESDS であるときにのみ有効です。

3. Record Number (レコード番号)

デフォルトです。サポートされているデータ・セットのすべてのタイプに有効です。

Edit template (テンプレートの編集)

テンプレートを使用する前に編集するかどうかを指示します。テンプレートは、形式、選択、データ作成属性、および出力コピー・テンプレートの再形式設定情報を変更する必要があるときに編集します。

Type (1,2,S) (タイプ (1、2、S))

実行する編集のタイプ。

以下のいずれかの値を指定できます。

1

最初にフィールド別に「Record Identification Criteria (レコード ID 基準)」を編集します。

2

最初にフィールド別に「Record Selection Criteria (レコード選択基準)」を編集します。

S

拡張コピーブック選択機能を使用してテンプレートのソース定義を編集します。

動的テンプレートを編集する場合、このオプションは無視されます。

Include only selected records (選択したレコードのみを組み込む)

ZDT/CICS エディター・セッションがストレージ内 (レコード制限 “MEMORY” を使用) であるか、「Record Sampling (レコード・サンプリング)」を選択している場合、編集またはブラウズ・セッションにはテンプレート処理で選択されたレコードのみが組み込まれます。

テンプレートが使用されていなければ、このオプションによって ZDT/CICS エディター・セッションの操作が変更されることはありません。

Use I/O exit (I/O 出口を使用)

圧縮または暗号化されたデータ・セットにユーザー I/O 出口を指定できます。

このオプションには 2 つのフィールドがあります。このオプションを選択するには、「Use I/O exit (I/O 出口を使用)」の左側にあるフィールドに「/」を入力します。これを選択すると、このフィールド・ラベルの右側にあるフィールドで、使用する出口を指定できます。



1. このフィールドが表示されるのは、Z Data Tools がオプション **USEIOX=ENABLE** を指定してインストールされ、かつ「Exit enabled (出口使用可能)」フィールド (「Set System Processing Options (システム処理オプションの設定)」パネル内) が YES に設定されている場合のみです。



これらのオプションのいずれかにデフォルトが指定された場合は、「[Use I/O exit \(I/O 出口を使用\)](#)」の右側のフィールドにそれが表示されます。

2. I/O 出口は、使用中のデータ・セットを処理するためにのみ、使用できます。データ・セットの形式設定に使用しているコピーブックやテンプレートを処理するために使用することはできません。

親パネル

- [「Primary Option Menu \(基本オプション・メニュー\)」](#) パネル ページ 122

子パネル

次に表示されるパネルは、「View Entry」パネルで選択したオプションによって異なります。

関連するタスク

- [CICS リソースの表示および変更](#) ページ 40

特記事項

© Copyright HCL Technologies Limited 2017, 2023

本書は米国 HCL が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

HCL 本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能なオファリングについては、日本 HCL の営業担当員にお尋ねください。本書で HCL 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その HCL 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。製品、プログラムまたはサービスに代えて、HCL の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、HCL 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

2 バイト文字セット (DBCS) 情報についてのライセンスに関するお問い合わせは、お住まいの国の HCL Intellectual Property Department に連絡するか、書面にて下記宛先にお送りください。

HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel

HCL TECHNOLOGIES LTD. およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。HCL は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において HCL 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この HCL 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

HCL は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用できますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、HCL 所定のプログラム契約の契約条項、HCL プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、HCL より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンス・データは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

HCL 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者もしくは公開されているその他のソースから入手したものです。HCL は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求について HCL は検証できません。HCL 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

HCL Z Data Tools の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、HCL に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。したがって HCL は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、保守容易性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。HCL は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. や HCL Ltd. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. 2000, 2016. © Copyright HCL Ltd. 2017, 2023.

プログラミング・インターフェース情報

本書には、プログラムを作成するユーザーが Z Data Tools のサービスを使用するためのプログラミング・インターフェースが記述されています。

商標

HCL、HCL ロゴおよび hcl.com® は、世界の多くの国で登録された HCL Technologies Ltd. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM® または各社の商標である場合があります。

プログラミング・インターフェース情報

この「ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」には、プログラムを作成するユーザーが Z Data Tools のサービスを使用するためのプログラミング・インターフェースが記述されています。

索引

記号

「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」パネル 79
「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」パネル 85
「Edit Entry (編集項目の入力)」パネル 99
「Extrapartition Queue (区画外キュー)」パネル 103
「File Information (ファイル情報)」パネル 106
「Intrapartition Queue (区画内キュー)」パネル 116
「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」パネル 120
「Print Entry (印刷項目の入力)」 125
「Set Processing Options (処理オプションの設定)」パネル 131
「Utility Functions (ユーティリティー機能)」パネル 133
「View Entry (ビュー項目の入力)」パネル 135
一時ストレージ
表示 43
一時データ・キュー
表示 44
印刷、CICS リソース 48
印刷不能文字、HEX 基本コマンド 75
印刷不能文字、表示
最新表示 50
引用符で囲まれたストリング、指定 28
開始
ZDT/CICS
14
基本コマンド
CUAATTR 35, 71
DOWN 21
FIND 74
FORWARD 21
KEYS 35, 72
LOCATE 76
PFSHOW 33, 72
REFRESH 76
RFIND 77
SELECT 77
SETTINGS 34, 73
SORT 77
UP 21
一般 22
機能、
ZDT/CICS
12
検索
基本ソート順列 50
繰り返し 77
検索の繰り返し 77
現在の選択リストの最新表示 51
構文図、見方 vii
最後のページ、スクロール 21
最初のページ、スクロール 21
使用しないでデータを表示する 84, 139
指定 84, 139
終了 19
処理オプション 36
接頭部
リソース名 39
接頭部コマンド
一般 22
端末、特性の変更 34

反復可能項目、構文図 vii
表示

CICS
ファイル 42
リソース 40
一時データ・キュー 44
変数、構文図 vii

数字

10 進 - 16 進コンバーター 29, 71
16 進 - 10 進コンバーター 29, 74

A

APF 許可 17, 73

B

Base 機能、実行 38
BDAM ファイル 42

C

CA-Panvalet 24
CICS
「Enqueue Resource (エンキュー・リソース)」パネル 86
「Enqueue Selection List (エンキュー選択リスト)」パネル 89
「File Selection List (ファイル選択リスト)」パネル 91
「Temporary Storage Selection List (一時ストレージ選択リスト)」パネル 94
「Transient Data Queue Selection List (一時データ・キュー選択リスト)」パネル 96
サポートされるリリース
ZDT/CICS
13
システム要件
ZDT/CICS
13
データ・テーブル 42, 92, 109, 111
ファイル
表示 42
リソース
リスト 49
ロック 45
印刷 48
表示 40
一時ストレージ
表示 43
一時データ・キュー
表示 44
接続されたシステムのレベルの検査 18
接続されているシステムのレベルを確認 74
CICS リソースの参照
see 表示
COBOL、処理オプション 37
CUAATTR 基本コマンド 35, 71

D

DOWN 基本コマンド 21
DX 基本コマンド 29, 71

E

EDIT (編集)、処理オプション 37
EXPAND 基本コマンド 21

F

FI 接頭部 39
FIND 基本コマンド 49, 74
FORWARD 基本コマンド 21

H

HEX 基本コマンド 75
HLASM、処理オプション 37

I

IMS コンポーネント、下で実行
ZDT/CICS
39, 39

K

KEYS 基本コマンド 35, 72

L

LANG (言語)、処理オプション 37
LOCATE 基本コマンド 50, 76

O

Output、処理オプション 38

P

PFSHOW 基本コマンド 33, 72
PK キー、表示または非表示 33
PL/I、処理オプション 37
POOLNAME、指定 23
Primary Option Menu (基本オプション・メニュー) パネル 122
Print (印刷)、処理オプション 37
PTF レベル、表示
ZDT/CICS
17
PTF レベル、表示
ZDT/CICS
73

R

REFRESH 基本コマンド 76
RFIND 基本コマンド 49, 77

S

SELECT 基本コマンド 77
SETTINGS 基本コマンド 34, 73
Sharing (共用)、処理オプション 38
SORT 基本コマンド 77
SYSID、指定 23

T

TD 接頭部 39
Temporary、処理オプション 38
TS
プール名、指定 24
接頭部 39

U

UP 基本コマンド 21

V

VER 基本コマンド 17, 73
VERCICS 基本コマンド 18, 74

X

XD 基本コマンド 29, 74

Z

Z Data Tools
「CICS Logon (CICS ログオン)」パネル 111
Db2、下で実行
ZDT/CICS
39
IMS、下で実行
ZDT/CICS

39
フレーバー vii
接続されている CICS システムのレベル 74
ZCC
「Settings (設定)」パネル
119
ZDT/CICS
インターフェースの使用 20
のカスタマイズ 33
バージョンの確認 17
開始 14
機能キー変更パネル 114
主な機能 12
終了 19, 19
接続された CICS システムのレベルの検査 18
ZDT/CICS
Primary Option Menu (基本オプション・メニュー) パネル
124
ZEXPAND 基本コマンド 21

い

インターフェース、
ZDT/CICS
20

え

エディター・セッション、開始 42
エラー
メッセージ 57
エラー・メッセージ、表示 33

き

キー・リスト値、変更 35
キーワード、構文図 vii

こ

コピーブック
CA-Panvalet ライブラリーに保管 24
CICS リソースの表示 41
コマンド
構文図の見方 vii
コマンド、発行 22

し

システム、処理オプション 37
システム処理オプション 37
システム要件
ZDT/CICS
13

す

スクロール
パネル内での 21, 21
最後のページへの 21
最初のページに 21
スクロール可能フィールド 21
ストリング
引用時に入力 28
区切り文字 28
検索 49

て

データ・セット
情報 92, 97, 106
名
パネルでの指定 24
名前
パターン 26
データ・テーブル 42, 92, 109, 111
テンプレート
CICS リソースの表示 41

使用する前の編集 84, 140

の

の終了
ZDT/CICS
19

は

バージョン、
ZDT/CICS
、確認
17
パネル
「Browse Entry (ブラウズ項目の入力)」 79
「Change CUA Attributes (CUA 属性の変更)」 85
「Extrapartition Queue (区画外キュー)」 103
「Intrapartition Queue (区画内キュー)」 116
「List CICS Resources Entry (CICS リソースのリスト項目の入力)」 120
「Print Entry (印刷項目の入力)」 125
「Set Processing Options (処理オプションの設定)」 131
「Utility Functions (ユーティリティ機能)」 133
CICS Enqueue Selection List (CICS エンキュー選択リスト) 89
CICS File Selection List (CICS ファイル選択リスト) 91
CICS エンキュー・リソース 86
CICS 一時ストレージ選択リスト 94
CICS 一時データ・キュー選択リスト 96
Edit Entry (編集項目の入力) 99
Primary Option Menu (基本オプション・メニュー) 122
View Entry 135
Z Data Tools
CICS ログオン
111
ZCC
設定
119
ZDT/CICS
Primary Option Menu (基本オプション・メニュー)
124
ZDT/CICS
機能キー変更
114
ファイル情報 106
間の移動 20
表示しきれていない情報の表示 20
パネル・カラー、変更 35

ふ

ファイル、CICS
表示 42
プール名、指定 24
フラグメント、構文図 vii
フレーバー、以下に所属
Z Data Tools
vii

へ

ページ
最後へのスクロール 21
最初へのスクロール 21
ヘルプ
アクセス 30
チュートリアル 31

フィールド 30

め

メッセージ
リスト 57
メンバー名
PDS、パネルでの指定 24
パネルでの指定 24
指定 27

ゆ

ユーティリティ
Base
Z Data Tools
47
ZDT/CICS
47

り

リスト、リソース
ストリングの検索 49
ソート 52
の操作 49
検索 50
項目の選択 51, 52
最新表示 51
リストからの項目の選択 51, 52
リストのソート 52
リソース
CICS
ロック 45
表示 40
リストの操作 49
印刷 48
選択リスト 24
名前
Base での指定
Z Data Tools
38
データ・セット名の識別 39
指定
ZDT/CICS
23
リソースの属性
変更 51
リリース、表示
ZDT/CICS
17
リリース、表示
ZDT/CICS
73

ろ

ロック、CICS リソース 45